

えどがわ新世紀デザイン

～共育 協働 安心への道～

江戸川区実施計画

(平成20年度～22年度)



江戸川区

実施計画の策定にあたって

本実施計画は、平成 14 年 7 月に策定した長期計画『えどがわ新世紀
デザイン ～共育 協働 安心への道～』の着実な推進を図ることを目的に、
平成 20 年度～22 年度に計画的に取り組む事業を示したものです。

平成 20 年 3 月

目 次

第1章 実施計画策定の考え方	1～8
1 計画の目的および性格	2
2 計画事業	2
3 計画の期間	2
4 財政収支の推計	3
5 計画の体系	4
第2章 分野別計画	9～160
第1節 未来を担う人づくり	11～34
1 家庭教育の充実	12
2 地域での次代を担う人づくり(地域教育の充実)	16
3 多様な保育サービスの提供	21
4 21世紀にふさわしい学校教育の推進	26
第2節 学びと協働による区民文化づくり	35～50
1 人生を豊かにする生涯学習	36
2 江戸川区の良さを活かしたボランティア活動とコミュニティ活動	38
3 創造性豊かな江戸川文化	41
4 男女共同参画社会の推進	44
5 世界の人々との交流と共生	46
6 安心できる消費生活	49
第3節 いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり	51～86
〔1〕 区民の健康づくりのために	51～62
1 生活習慣病と健康	52
2 心の健康づくり	56
3 生涯スポーツの推進	57
4 感染症と健康危機への対応	59
5 食と住の安全性	61
〔2〕 高齢の人々・障害のある人々のために	64～86
1 高齢の人々の生きがいと健康	64
2 高齢の人々の生活支援	69
3 障害のある人々の生活支援	76
4 福祉のまちづくり	85

第4節 区民参加による環境づくり	87～106
1 環境啓発・環境教育	88
2 資源循環(ごみの減量と資源リサイクル)	91
3 自然との共生・ふれあい	96
4 都市環境問題・有害化学物質への対応	100
5 地球環境への配慮	103
第5節 活力を創造する産業づくり	107～126
1 ものづくり産業の活性化	108
2 商業・生活サービス業の活性化	112
3 情報産業・都市型ビジネスの育成	115
4 都市農業の継承	117
5 伝統的地場産業の継承、発展	119
6 次代の産業を担う人材の育成	121
7 新たなパートナーシップの確立	123
8 働く意欲あふれる環境づくり	124
第6節 区民の暮らしを力づくよく支えるまちづくり	127～160
1 都市基盤の充実・質の向上	128
2 利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備	136
3 地域の魅力を高めるまちづくり	143
4 安全で災害に強いまちづくり	154
第3章 計画の実現のために	161～164
1 信頼と協働による推進	162
2 区民本位で効率的な区政運営	163

第1章 実施計画策定の考え方

1 計画の目的および性格

2 計画事業

3 計画の期間

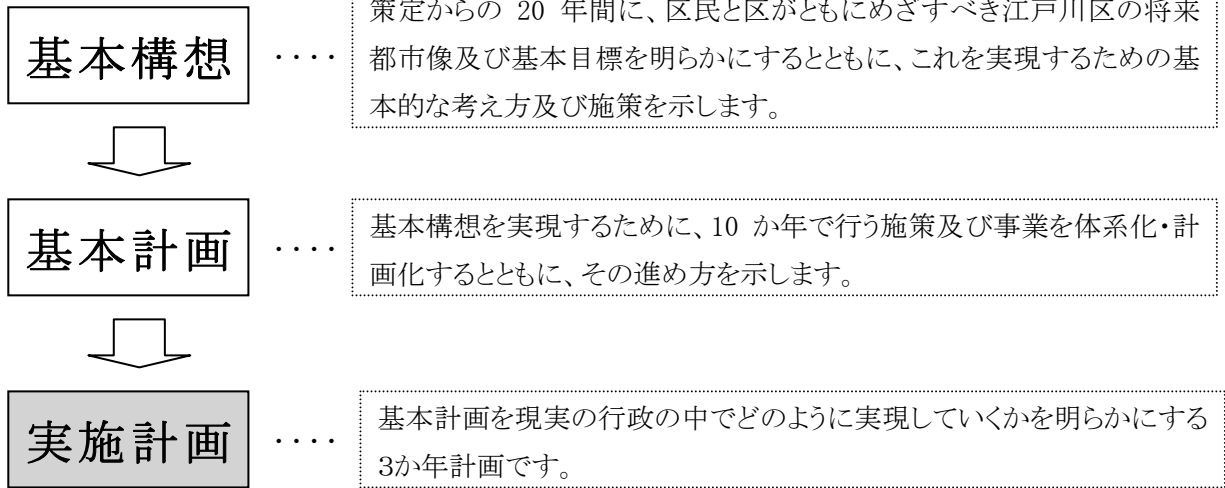
4 財政収支の推計

5 計画の体系

1 計画の目的および性格

この実施計画は、江戸川区長期計画『えどがわ新世紀デザイン』で示された 10 か年の基本計画の着実な推進を目的とし、計画期間における毎年度の予算編成などの区政運営の指針となるものです。

<実施計画の位置づけ>



2 計画事業

この計画では、基本計画の実現を図る主要事業に新たに開始又は拡充する事業を加えて、計画事業化をしました。

維持管理及び内部管理的事業、法令等で事業の内容が細目にわたって定められている事業及び臨時的事業については、計画事業の対象外としました。

計画事業数は、332事業です。

3 計画の期間

平成 20 年度から平成 22 年度までの 3か年とします。

4 財政収支の推計

この計画を実現していくためには、的確な財政見通しが不可欠となります。推計にあたっては、20年度の予算額をベースに、過去の事業規模の推移、今後の計画等を考慮しました。

〔歳入〕

- ① 特別区税は、過去の実績等を考慮して算定しました。
- ② 財政調整交付金は、3か年同水準としました。
- ③ 国・都支出金は、対象事業の計画や推移等を参考に算定しました。
- ④ 特別区債は、3か年同水準としました。
- ⑤ その他については、過去の実績等を基礎に算定しました。

〔歳出〕

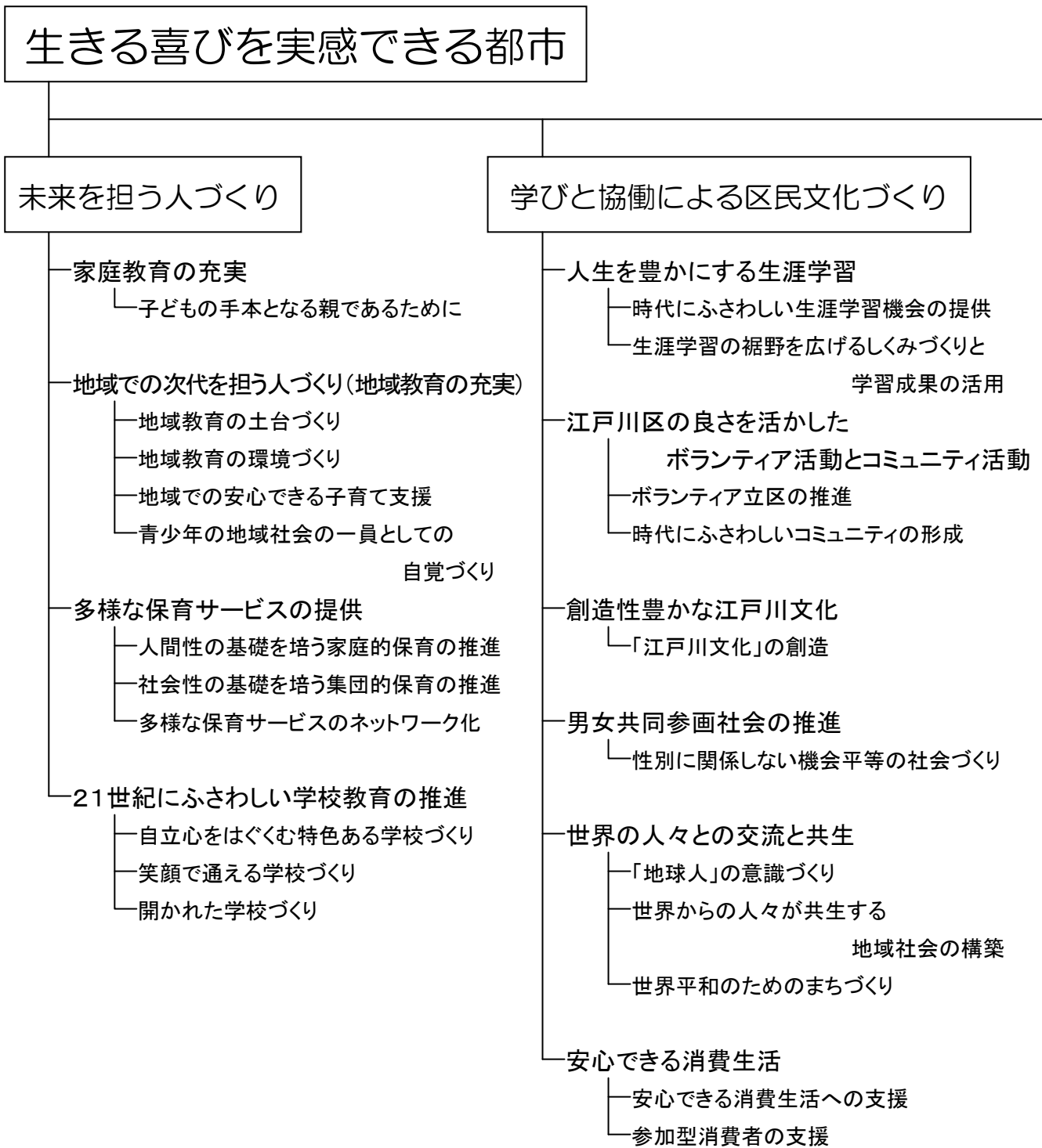
- ① 人件費は、退職者の見込数等を基に算定しました。
- ② 扶助費は、過去の実績等を基に算定しました。
- ③ 公債費は、今後の償還計画に基づき算定しました。
- ④ 一般行政経費等(物件費、維持補修費、補助費など)は、過去の実績等を基に算定しました。
- ⑤ 投資的経費は、都市基盤整備事業を中心に今後の計画を考慮して算定しました。

3か年の財政収支の推計

(単位:百万円・%)

区 分	20年度		21年度			22年度			合 計		
	金 額	構 成	金 額	構 成	増減率	金 額	構 成	増減率	金 額	構 成	
総 額	197,725	100.0	204,127	100.0	3.2	205,286	100.0	0.6	607,138	100.0	
歳 入	特別区税	50,415	25.5	51,724	25.4	2.6	53,061	25.9	2.6	155,200	25.6
	財政調整交付金	87,400	44.2	87,400	42.8	0.0	87,400	42.6	0.0	262,200	43.2
	国・都支出金	34,541	17.5	35,641	17.5	3.2	36,770	17.9	3.2	106,952	17.6
	特別区債	1,500	0.7	1,500	0.7	0.0	1,500	0.7	0.0	4,500	0.7
	その他	23,869	12.1	27,862	13.6	16.7	26,555	12.9	△ 4.7	78,286	12.9
歳 出	人件費	40,282	20.4	39,702	19.5	△ 1.4	38,595	18.8	△ 2.8	118,579	19.5
	扶助費	53,324	27.0	54,741	26.8	2.7	55,609	27.1	1.6	163,674	27.0
	公債費	2,395	1.2	2,155	1.1	△ 10.0	1,835	0.9	△ 14.8	6,385	1.1
	一般行政経費等	75,378	38.1	80,691	39.5	7.0	81,446	39.7	0.9	237,515	39.1
	投資的経費	26,346	13.3	26,838	13.1	1.9	27,801	13.5	3.6	80,985	13.3

5 計画の体系



いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

〔1〕区民の健康づくりのために

- 生活習慣病と健康
 - 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり
 - 区民主役の健康づくりの支援
- 心の健康づくり
 - 心を元気にするためのしくみづくり
- 生涯スポーツの推進
 - 健康スポーツ都市・江戸川の形成
- 感染症と健康危機への対応
 - 感染症対策などの充実
- 食と住の安全性
 - 健康食住の推進

〔2〕高齢の人々・障害のある人々のために

- 高齢の人々の生きがいと健康
 - 「生涯現役」の環境づくり
 - 高齢の人々の健康づくり
- 高齢の人々の生活支援
 - 高齢の人々が安心できる生活支援
 - 介護サービスの充実
- 障害のある人々の生活支援
 - 障害に関する生活支援
 - 障害のある人々の自立的な生活の環境づくり
 - 精神障害のある人々の社会復帰への支援
- 福祉のまちづくり
 - ユニバーサルデザインの促進
 - 心のバリアフリーと福祉ネットワークづくり

区民参加による環境づくり

- 環境啓発・環境教育
 - └区民と自然・地球環境との
関連を学ぶしくみの充実
- 資源循環(ごみの減量と資源リサイクル)
 - └ライフスタイルの見直しによる
ごみの大幅な減量化
 - └資源リサイクルの拡充
- 自然との共生・ふれあい
 - └水と緑でネットワークする
「いのちのオアシス」づくり
 - └自然とのふれあいの拡大
- 都市環境問題・有害化学物質への対応
 - └生活環境の改善と保全
 - └新たな環境汚染問題への対応
- 地球環境への配慮
 - └地球環境を考慮した区民生活の展開

活力を創造する産業づくり

- ものづくり産業の活性化
 - └自立型中小企業の支援
 - └企業間連携と情報化による競争力の強化
 - └ものづくり技術の継承
- 商業・生活サービス業の活性化
 - └新しい商店街への経営革新
- 情報産業・都市型ビジネスの育成
 - └情報産業などの起業・育成支援
 - └新たな都市型ビジネスの育成
- 都市農業の継承
 - └特色ある都市農業の展開
- 伝統的地場産業の継承、発展
 - └江戸川文化としての伝統的地場産業の振興
- 次代の産業を担う人材の育成
 - └学校と地域の連携による産業教育の充実
 - └次代を担う人材育成の支援
- 新たなパートナーシップの確立
 - └産業界の主体性を重視した行政システム
- 働く意欲あふれる環境づくり
 - └働く意欲あふれる環境づくりの推進
 - └多様な就業の場の確保と支援

区民の暮らしを力づくよく支えるまちづくり

—都市基盤の充実・質の向上

- 土地利用と市街地整備の方針
- 区民発意のまちづくりの推進
- 木造密集市街地の改善
- 良好な市街地環境の創出
- 大規模公園予定地の整備
- 地域生活圏と中心核の整備

—利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備

- 道路ネットワークの形成
- 鉄道の整備
- 楽しく快適に移動できる交通
- 情報通信ネットワーク化の推進

—地域の魅力を高めるまちづくり

- 水と緑にあふれる都市環境の充実
- 美しい都市景観づくり
- 住みよく永住できる居住環境づくり
- 歩いて楽しめる個性あるまち
- 安心して生活できるまちづくり

—安全で災害に強いまちづくり

- 防災まちづくり
- 防災体制の充実
- みんなで守るまちづくり

第2章 分野別計画

第1節 未来を担う人づくり

第2節 学びと協働による区民文化づくり

第3節 いきいきとした生活のための

健康・福祉の社会づくり

〔1〕 区民の健康づくりのために

〔2〕 高齢の人々・障害のある人々のために

第4節 区民参加による環境づくり

第5節 活力を創造する産業づくり

第6節 区民の暮らしを力づよく支える

まちづくり

＜ 分野別計画の見方 ＞

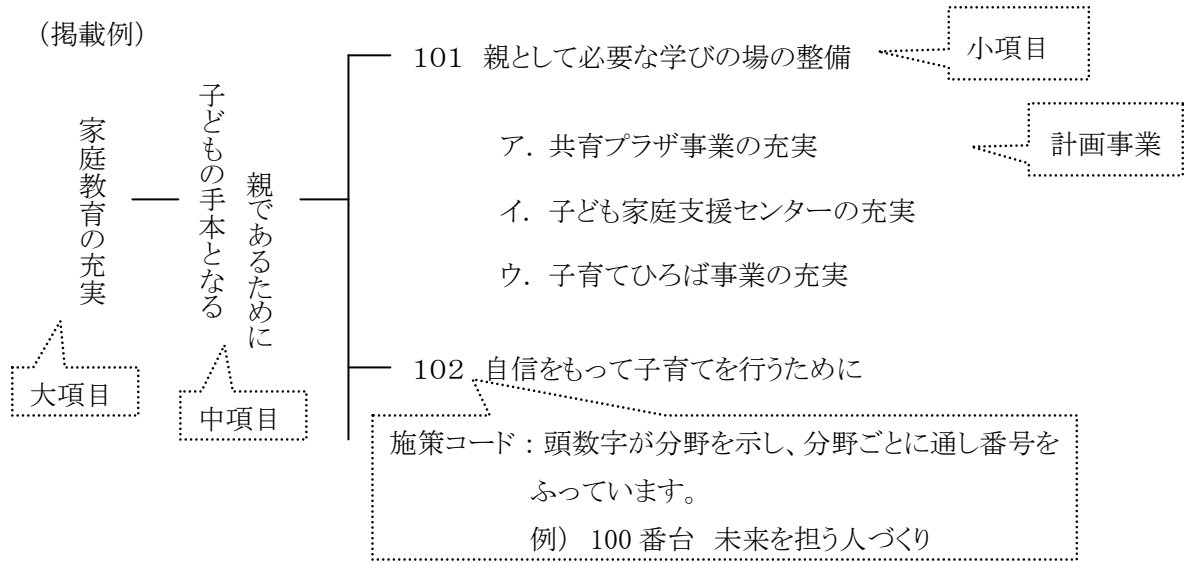
1 施策の考え方

長期計画は、将来都市像「生きる喜びを実感できる都市」を実現するための 6 本柱の基本目標にそって、各分野別に施策体系を構成しています。

ここでは、分野別の施策体系を構成する大項目ごとに、事業策定の基本となる考え方を示します。

2 施策体系図

分野別施策体系の大項目ごとに施策体系図を掲載しています。



3 計画の内容

空欄は、事業開始前や事業完了等により、計画事業が存在しないことを示します。

施策コード	135	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画内容				
〇〇〇の整備支援 【新】再掲101			協議	整備支援
事業費		千円	0千円	※※※千円

20年度以後新たに実施する事業は、【新】と記載しています。
また、再掲された場合には、再掲〇〇〇 と表示し、最初に記載した箇所の施策コードを記載しています。

空欄は、事業開始前、事業完了等により、事業費が存在しないことを示します。
「0千円」は、事業計画はありますが、経費を必要としないものです。
「※※※」は、検討・協議の結果に基づき、今後所要の経費を計上していくものです。
「——」は、経費を他の事業のなかで計上しているものです。

第1節

未来を担う人づくり

1 家庭教育の充実

- (1) 子どもの手本となる親であるために

2 地域での次代を担う人づくり（地域教育の充実）

- (1) 地域教育の土台づくり
- (2) 地域教育の環境づくり
- (3) 地域での安心できる子育て支援
- (4) 青少年の地域社会の一員としての自覚づくり

3 多様な保育サービスの提供

- (1) 人間性の基礎を培う家庭的保育の推進
- (2) 社会性の基礎を培う集団的保育の推進
- (3) 多様な保育サービスのネットワーク化

4 21世紀にふさわしい学校教育の推進

- (1) 自立心をはぐくむ特色ある学校づくり
- (2) 笑顔で通える学校づくり
- (3) 開かれた学校づくり

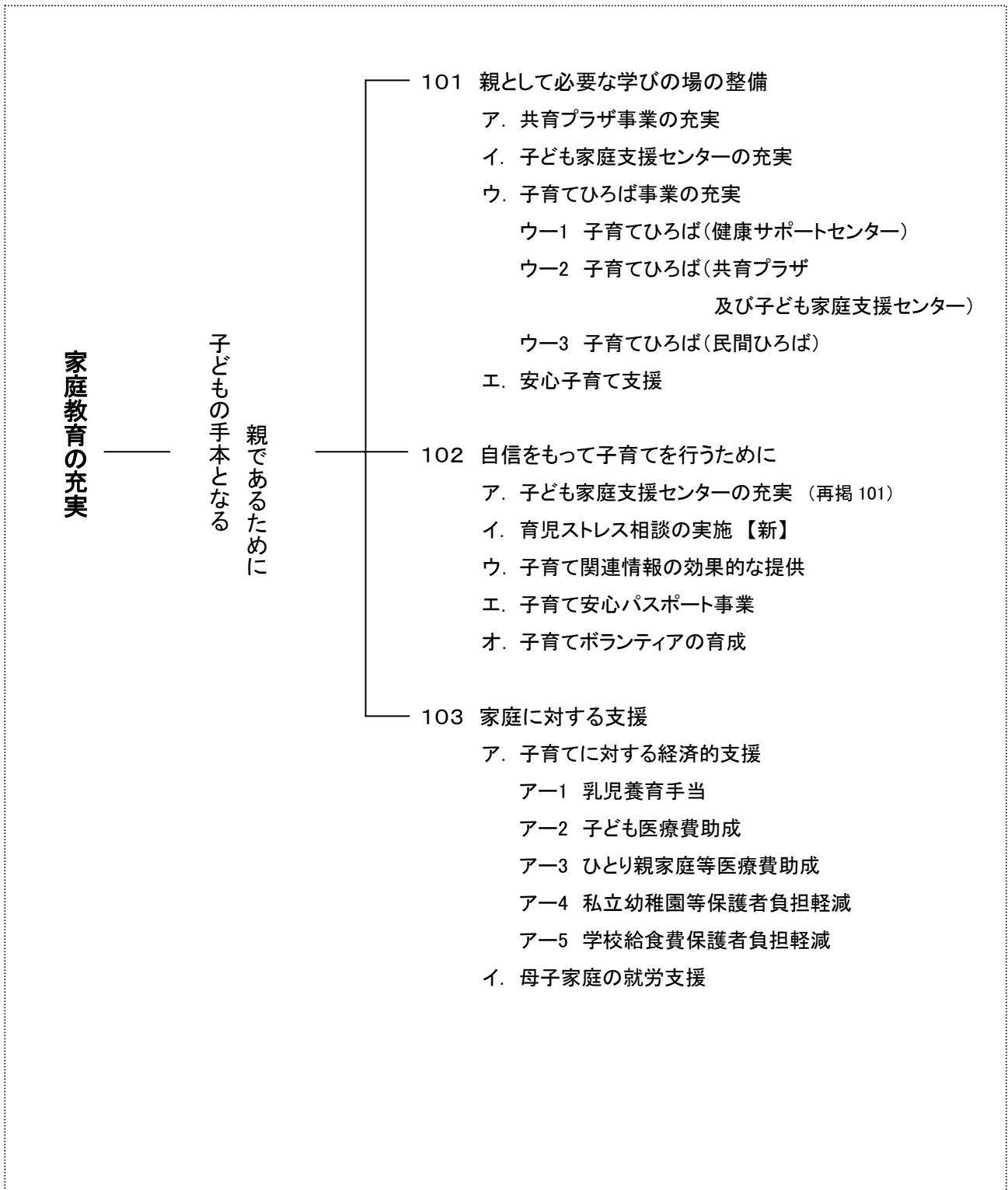
1 家庭教育の充実

【施策の考え方】

家庭は、子どもにとって最も大切な生活の場であり、家庭教育がしっかりしていることが何より大切です。しかし、家族形態、ライフスタイル等が多様化し、時代が大きく変化している今日、親が子育てを行うことはこれまで以上に難しさを増しています。

親が親としての自覚と自信を高めるための学び、子育て相談等に対するニーズに応じていくとともに、働く親が増加するなかで、子育て家庭に対する支援を行っていきます。

【施策体系図】



(1)子どもの手本となる親であるために

101 親として必要な学びの場の整備

共育プラザでは、中高生の活動支援、乳幼児の保護者の子育て支援及び世代間の交流を推進し、各地域の共育・協働を実践する拠点としての一層の充実を図ります。

また、子ども家庭支援センターでは、児童相談所等の関係機関との連携を強化し、児童虐待予防に努めるとともに、子育てに関する総合的な相談・支援体制の充実を図ります。

さらに、各施設の特性に応じた子育てひろばの運営の充実を図るとともに、健康サポートセンターでは、出産を機に親としてのこころがまえ(両親対象)、妊娠分晩期の健康管理、乳幼児等の発育・発達の確認の方法等について、相談支援・情報提供を実施します。

施策コード		101	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
共育プラザ事業の充実	子育て支援	地域子育て関係施設とのネットワーク構築	同左	同左	
		地域子育て情報の提供	同左	同左	
		講座・講習の実施	同左	同左	
	世代間交流	中高生と赤ちゃんとのふれあい体験	同左	同左	
		中高生と熟年者との交流	同左	同左	
	中高生の活動支援	地域への参画・貢献する事業支援等	同左	同左	
事業費		372, 537千円	372, 537千円	372, 537千円	
子ども家庭支援センターの充実	関係機関との連携強化	同左	同左	同左	
	子育て支援事業の実施	同左	同左	同左	
事業費		48, 713千円	48, 713千円	48, 713千円	
子育てひろば事業の充実	子育てひろば(健康サポートセンター)	育児相談等 常設 6か所 定期 2か所	同左	同左	
	事業費	2, 923千円	2, 923千円	2, 923千円	
	子育てひろば(共育プラザ及び子ども家庭支援センター)	育児相談、子育て講座等 10か所	同左	同左	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
	子育てひろば(民間ひろば)	民間ひろばの助成 1か所	民間ひろばの助成及びその検証	同左	
	事業費	4, 997千円	※※※千円	※※※千円	

「—」:事業費は、共育プラザ事業の充実及び子供家庭支援センターの充実(施策コード 101)の中で計上しています。

安心子育て支援	ハローベビー教室 新生児訪問指導事業 妊産婦訪問事業 2,000人	ハローベビー教室 新生児訪問指導事業 妊産婦訪問事業 2,700人	ハローベビー教室 新生児訪問指導事業 妊産婦訪問事業 3,000人
事業費	16,918千円	20,000千円	23,500千円

102 自信をもって子育てを行うために

保育園、共育プラザ等との協力を得ながら子育て支援事業を実施する子ども家庭支援センターの機能を充実するとともに、育児不安等を抱えた乳幼児の養育者に対して個別相談等を実施します。

また、子育てに関する情報を効果的に提供するしくみを構築するとともに、子育て世代が身近な区立保育園において気軽に育児相談を行い、育児の楽しさを感じられるよう子育て安心パスポート事業の推進を図り、子育て支援に係る事業の利用促進等に一層努めます。

さらに、子育てひろば等の活用を図ることにより、各種サークル活動の支援、子育てボランティアの育成等を推進します。

施策コード	102	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
子ども家庭支援センターの充実 再掲 101		関係機関との連携強化	同左	同左
		子育て支援事業の実施	同左	同左
事業費		48,713千円	48,713千円	48,713千円
育児ストレス相談の実施 【新】		医師による相談 年6回	同左	同左
		心理相談員による相談 年24回	同左	同左
事業費		— 円	— 千円	— 千円
子育て関連情報の効果的な提供		子育て情報コーナー (共育プラザ等)の活用	同左	同左
		子育て情報掲示板 (区立保育園)の活用・設置	子育て情報掲示板 (区立保育園)の活用	同左
		子育てマップ・子育て支援ガイドブック等の作成	同左	同左
		区ホームページ等の充実	同左	同左
事業費		8,351千円	1,931千円	1,931千円
子育て安心パスポート事業		区立保育園にて実施	同左	同左
事業費		651千円	651千円	651千円
子育てボランティアの育成		子育てボランティア講座の実施	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

「—」:事業費は、虐待防止のための支援としくみづくり(相談支援等の充実)(施策コード 111)の中で計上しています。

103 家庭に対する支援

子育て世代の経済的な負担を軽減するため、乳児養育手当、子ども医療費助成等の各種手当の支給又は助成を実施します。

また、母子家庭の母の就労を支援するため、一定の職業能力開発等に要した費用に対して、給付金等を支給します。

施策コード		103	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
子育てに対する経済的支援	乳児養育手当	5,850人	同左	同左	
	事業費	913,612千円	913,612千円	913,612千円	
	子ども医療費助成	103,000人	同左	同左	
	事業費	3,989,260千円	3,918,098千円	3,918,098千円	
	ひとり親家庭等 医療費助成	9,304人	同左	同左	
	事業費	275,597千円	275,597千円	275,597千円	
	私立幼稚園等 保護者負担軽減	12,850人	同左	同左	
	事業費	4,117,124千円	4,117,124千円	4,117,124千円	
	学校給食費 保護者負担軽減	小学校 27,433人 中学校 10,253人	小学校 27,481人 中学校 10,488人	小学校 27,264人 中学校 10,670人	
	事業費	532,818千円	537,948千円	537,885千円	
母子家庭の就労支援	自立支援教育訓練 給付金の支給 40人	自立支援教育訓練 給付金の支給 42人	自立支援教育訓練 給付金の支給 43人		
	高等技能訓練 促進費の支給 12人	高等技能訓練促進費 の支給 13人	同左		
事業費		13,392千円	14,500千円	14,700千円	

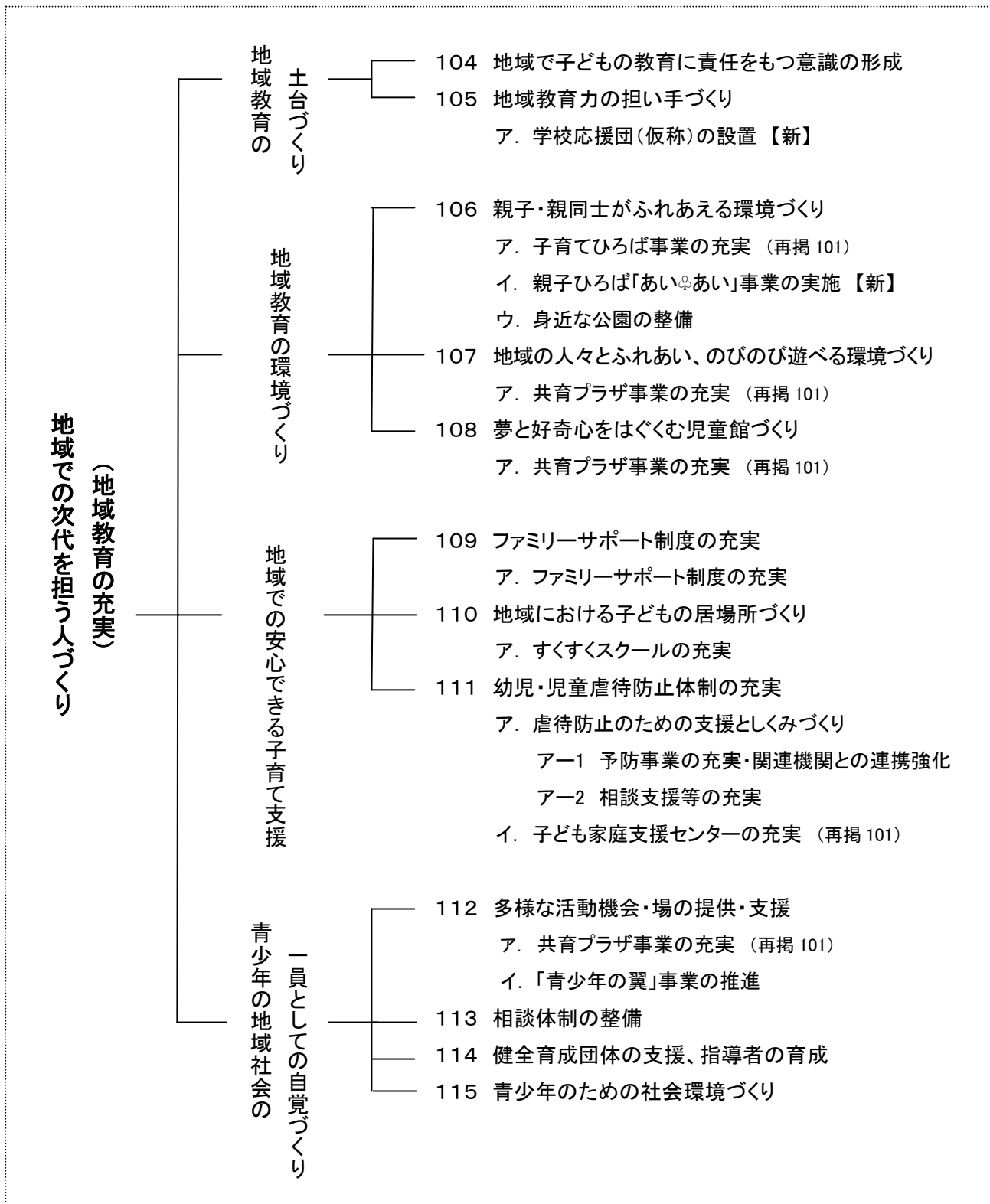
2 地域での次代を担う人づくり(地域教育の充実)

【施策の考え方】

一人ひとりのライフスタイルが一層多様化するなかで、子どもたちが地域に愛着をもち、次代の地域社会を担う人材となるよう、地域の人々がともに支えあって教育していくことが大切です。

子ども会活動等への多くの地域ボランティアの関わり、親と子の貴重なふれあいの場となる親水公園等豊かな自然、町会、自治会等のしっかりしたコミュニティの存在、このような子どもを教育していくための恵まれた環境を活かして、次代を担う人づくりを進めます。

【施策体系図】



(1) 地域教育の土台づくり

104 地域で子どもの教育に責任をもつ意識の形成

子育て及び教育に関する地域の人々の情報交換の場づくりを進める等、地域で子どもの教育に責任をもつ意識の向上を図ります。

105 地域教育力の担い手づくり

学校、家庭(保護者)及び地域が共育・協働した「地域とともに歩む学校づくり」を推進します。また、地域人材等を活用することにより、学校を支援し、その活性化等を図ります。

施策コード	105	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
学校応援団(仮称)の設置 【新】	検討	設置・運営	同左	
事業費	※※※千円	※※※千円	※※※千円	

(2) 地域教育の環境づくり

106 親子・親同士がふれあえる環境づくり

子ども家庭支援センター及び共育プラザ内の子育てひろばにおける育児相談、子育て講座等を実施するとともに、健康サポートセンター内の子育てひろばにおけるボランティア活動、保健師等による子育て相談等の充実を図ります。併せて、区立幼稚園の園庭を開放し、育児交流、親子遊び、子育て相談等の親子が一緒に参加し、交流できる場づくりを推進します。

また、区内の自然、施設等を活用し、親子・親同士がふれあえる環境を整備します。

施策コード	106	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
子育てひろば事業の充実	子育てひろば (健康サポートセンター) 再掲 101	育児相談等 常設 6か所 定期 2か所	同左	同左
	事業費	2,923千円	2,923千円	2,923千円
	子育てひろば (共育プラザ及び 子ども家庭支援センター) 再掲 101	育児相談、子育て講座等 10か所	同左	同左
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円
	子育てひろば (民間ひろば) 再掲 101	民間ひろばの助成 1か所	民間ひろば の助成及びその検証	同左
事業費	4,997千円	※※※千円	※※※千円	

「—」:事業費は、共育プラザ事業の充実及び子供家庭支援センターの充実(施策コード 101)の中で計上しています。

親子ひろば「あいああい」事業 の実施【新】	区立幼稚園に設置 及びその運営	運営	同左
事業費	37,206千円	36,528千円	36,528千円
身近な公園の整備	5か所	4か所	4か所
事業費	768,671千円	290,440千円	120,000千円

107 地域の人々とふれあい、のびのび遊べる環境づくり

108 夢と好奇心をはぐくむ児童館づくり

各地域の共育・協働を実践する拠点である共育プラザにおいて、中高生の活動支援、乳幼児の保護者の子育て支援等を行うとともに、世代間の交流を通じた次代の親としての学びの場づくりの一層の充実を図ります。

施策コード		107・108	年次計画		
計画事業内容			20年度	21年度	22年度
共育プラザ事業の充実	中高生の活動支援 再掲 101	地域への参画・貢献 する事業支援		同左	同左
		音楽映像等の各館の 特長を生かした取組		同左	同左
		6館が一体となった 事業展開		同左	同左
	子育て支援 再掲 101	地域子育て関係施設 とのネットワーク構築		同左	同左
		地域子育て情報の提供		同左	同左
		講座・講習の実施		同左	同左
	世代間交流 再掲 101	中高生と赤ちゃん とのふれあい体験		同左	同左
		中高生と熟年者 との交流		同左	同左
	事業費			372,537千円	372,537千円

(3) 地域での安心できる子育て支援

109 ファミリーサポート制度※の充実

共育プラザ内の子育てひろばを活用した、一時預かり等を行う子育てサポートひろば事業の推進等、地域力を活かした子育て支援事業の充実を図ります。

※ファミリーサポート制度：育児援助を行いたい人と受けたい人を会員組織化し、援助活動を行うことで子育て世帯への育児を支援する制度

施策コード		109	年次計画		
計画事業内容			20年度	21年度	22年度
ファミリーサポート制度 の充実		子育てサポート ひろば事業の拡大 2か所		同左	同左
事業費			14,336千円	14,336千円	14,336千円

110 地域における子どもの居場所づくり

放課後等の学校施設を有効に活用しながら、地域、学校及び保護者の連携を推進し、様々な体験を通して、子どもたちの豊かな人間性を育むことを図るため、学童クラブの機能を包摂したすくすくスクール事業の一層の充実に努めます。また、地域ボランティアによるサポートセンターの働きかけを一層推進し、各地域の特色ある活動を支援します。

施策コード	110	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
すくすくスクールの充実		地域・学校との連携強化	同左	同左
事業費		820,887千円	820,887千円	820,887千円

111 幼児・児童虐待防止体制の充実

育児支援ヘルパー派遣事業等の児童虐待予防事業の充実に図るとともに、子どもの保護に関する地域協議会を中心に、関係機関と連携しつつ、地域における児童虐待防止活動等の充実に図ります。併せて、育児不安等を抱える保護者に対するグループミーティング、個別相談等を実施し、児童虐待防止のための支援と仕組みづくりを推進します。

また、児童に対する虐待の未然防止・早期発見等を含めた、子育てに関する総合的な相談・支援を実施する子ども家庭支援センターにおいて、児童相談所等の専門機関との連携を深める等の体制整備を一層推進します。

施策コード	111	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
虐待防止のための支援としくみづくり	予防事業の充実 関係機関との連携強化	子育てに関する講座の実施	同左	同左
		育児支援ヘルパー派遣事業等の充実	同左	同左
		関係機関との連携強化	同左	同左
	事業費	2,357千円	2,357千円	2,357千円
	相談支援等の充実	MCG*の実施	同左	同左
		育児ストレス相談	同左	同左
		虐待予防検討会の運営	同左	同左
事業費	1,080千円	1,080千円	1,080千円	
子ども家庭支援センターの充実 再掲 101	関係機関との連携強化	同左	同左	
	子育て支援事業の実施	同左	同左	
事業費	48,713千円	48,713千円	48,713千円	

※ MCG(マザーアンドチャイルドグループ): 児童虐待、育児困難等を抱える母親等がグループに参加し、親子の関係づくり、問題解決等を図る事業

(4) 青少年の地域社会の一員としての自覚づくり

112 多様な活動機会・場の提供・支援

各地域の共育・協働を実践する拠点である共育プラザにおいて、中高生の活動支援等を行うとともに、世代間の交流を通じた次代を担う青少年の健全な育成を促進します。

また、野村・立井国際交流基金*等を活用した、青少年を世界各国へ派遣し、ホームステイ、文化体験等の幅広い体験を通して国際感覚を培った次代を担う人材の育成を図ります。

※野村・立井国際交流基金：故野村喜代氏、故立井隆氏の寄付をもとにした、区民の国際化の推進等を図るための基金。

施策コード		112	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
共育プラザ事業の充実	中高生の活動支援 再掲 101	地域への参画・貢献する事業支援	同左	同左	
		音楽映像等の各館の特長を生かした取組	同左	同左	
		6館が一体となった事業展開	同左	同左	
	世代間交流 再掲 101	中高生と赤ちゃんとのふれあい体験	同左	同左	
		中高生と熟年者との交流	同左	同左	
	事業費		372,537千円	372,537千円	372,537千円
「青少年の翼」事業の推進		派遣先 5か国 派遣人数 100人	同左	同左	
事業費		42,279千円	42,279千円	42,279千円	

113 相談体制の整備

ユースワーカー*、大学生等が青少年の日常的な悩みの相談相手となるようなしくみを整えるとともに、教育研究所*等の活用を図ります。

※ユースワーカー：比較的青少年に近い年齢で、ある程度の専門性を持ち、青少年活動の支援を通じて青少年に社会活動のきっかけを与える人

※教育研究所：教育課題に対する調査研究、児童・生徒等を対象とした各種相談、教育に関する視聴覚教材・機材の貸出を行う教育機関

114 健全育成団体の支援、指導者の育成

地区委員会、子ども会等の健全育成団体を支援するとともに、ジュニアリーダー*、ユースワーカー等の指導者を育成します。

※ジュニアリーダー：子ども会の中で、レクリエーションの指導、行事の企画立案運営の援助等をする中高校生。

115 青少年のための社会環境づくり

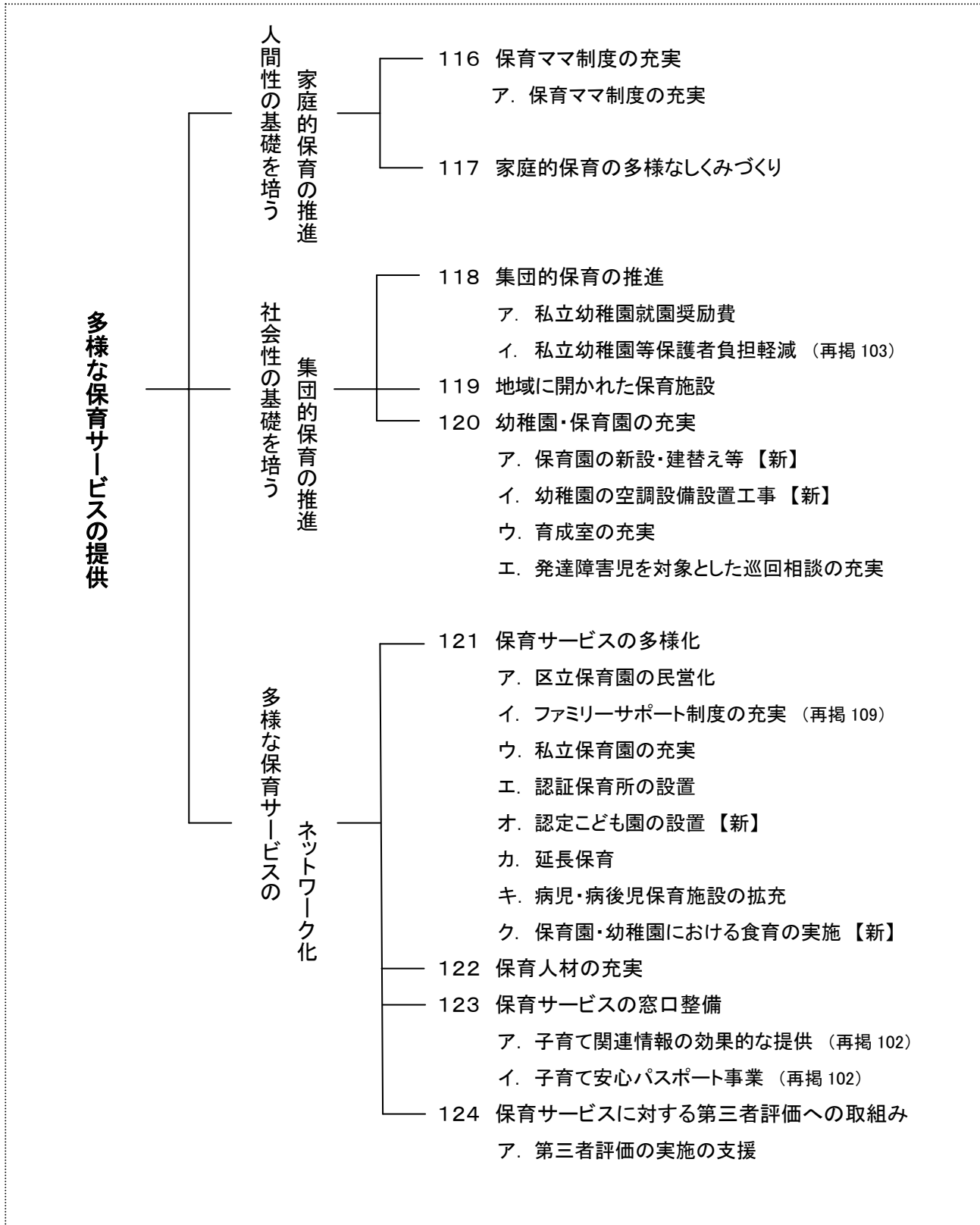
家庭、学校、地域社会、健全育成団体等が連携し、青少年のための健全な社会環境づくりを進めます。

3 多様な保育サービスの提供

【施策の考え方】

区では、0～2歳児の低年齢期は家庭で保育する世帯が多く、3～5歳児の幼年期はその9割以上が集団保育です。低年齢児保育へのニーズ、女性の就労の増加等にもともなう長時間保育に対する期待等、様々な保育需要に柔軟に対応するために、多様な保育サービスが提供できるしくみづくりに取り組めます。

【施策体系図】



(1) 人間性の基礎を培う家庭的保育の推進

116 保育ママ制度の充実

安心・安全な保育環境を整備するため、保育ママの資質の向上を積極的に図り、0歳児を対象とした家庭的保育を実施する保育ママ制度の充実に努めます。

施策コード	116	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容		充実 受託児数 420人	同左	同左
事業費		514,770千円	514,770千円	514,770千円

117 家庭的保育の多様なしくみづくり

ファミリーサポート協力会員が、共育プラザの子育てひろばにおいて、一時預かりを行う子育てサポートひろば事業を実施する等の地域力を活かした子育て支援を推進します。

(2) 社会性の基礎を培う集団的保育の推進

118 集団的保育の推進

満3～5歳における、地域の人々、子ども同士等の関わりを重視した集団的保育(教育)を推進するため、子どもの就園を奨励し、保護者の負担を軽減するための支援を行います。

施策コード	118	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容		8,000人	同左	同左
私立幼稚園就園奨励費				
事業費		652,770千円	652,770千円	652,770千円
私立幼稚園等 保護者負担軽減 再掲 103		12,850人	同左	同左
事業費		4,117,124千円	4,117,124千円	4,117,124千円

119 地域に開かれた保育施設

地域に開かれた、安全な保育施設の整備に努めます。

120 幼稚園・保育園の充実

鹿骨地区及び小松川防災拠点内E7街区に保育園を新設するとともに、都立住宅の老朽化に伴い、江戸川二丁目保育園、東篠崎保育園及び東篠崎第二保育園の建替えを行います。なお、東篠崎保育園及び東篠崎第二保育園については統合します。また、園舎の耐震性から松本保育園及び北小岩保育園の建替工事を、同じく松島保育園の耐震性を高めるための補強工事を実施します。

さらに、育成室において機能訓練、相談等を実施するとともに、巡回発達相談の充実を図り、障害児の成長を支援します。

施策コード		120	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
保育園の新設・建替え等【新】	江戸川二丁目	工事・一部開設	開設		
	小松川第三	工事	開設		
	東篠崎	工事	開設		
	鹿骨地区	工事	開設		
	松本	工事・開設			
	北小岩	工事・開設			
	耐震補強工事	1園			
	施設改修(老朽か所)工事	3園			
事業費		1,804,557千円	※※※千円	※※※千円	
幼稚園の空調設備設置工事【新】		幼稚園 5園			
事業費		80,000千円	千円	千円	
育成室の充実		早期療育の充実 (集団・個別療育の充実)	同左	同左	
		発達相談の充実	同左	同左	
事業費		75,116千円	75,116千円	75,116千円	
発達障害児を対象とした巡回相談の充実		充実 巡回 70回	同左	同左	
事業費		4,384千円	4,384千円	4,384千円	

(3) 多様な保育サービスのネットワーク化

121 保育サービスの多様化

保育サービスに関する多様な需要に柔軟に対応するために、区立保育園の民営化の促進を図ります。併せて、私立保育園の特徴を活かした保育を充実させるとともに、地域の需要を見極めつつ、認定こども園、認証保育所及び病児・病後児保育施設の設置を支援し、多様な保育サービスの整備に努めます。

また、乳幼児期から生活習慣の確立を推進するため、保育園・幼稚園における食育の普及啓発に努めます。

※ 認証保育所: 大都市特有のニーズに対応するため、東京都が独自基準により認証した保育所。

※ 認定こども園: 幼稚園、保育所等のうち、東京都が認めた、就学前の教育・保育を一体として捉え一貫して提供する施設。

施策コード	121	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
区立保育園の民営化	2園	3園 〔次世代育成支援 行動計画(後期計画) の策定〕	計画実施	
事業費	※※※千円	※※※千円	※※※千円	
ファミリーサポート制度の充実 再掲 109	子育てサポート ひろば事業の拡大 2か所	同左	同左	
事業費	14, 336千円	14, 336千円	14, 336千円	
私立保育園の充実	保育内容の充実 31園	保育内容の充実 35園	同左	
事業費	4, 735, 461千円	5, 327, 862千円	※※※千円	
認証保育所の設置	2園	地域需要等の把握 必要地域への設置誘導	同左	
事業費	718, 532千円	※※※千円	※※※千円	
認定こども園の設置 【新】	1園	認定希望、必要地域等 の把握	同左	
事業費	41, 408千円	※※※千円	※※※千円	
延長保育	充実 36園	同左	同左	
事業費	254, 473千円	※※※千円	※※※千円	
病児・病後児保育施設 の拡充	事業費の一部補助 2か所	検討	同左	
事業費	16, 000千円	※※※千円	※※※千円	
保育園・幼稚園における 食育の実施 【新】	普及・啓発	同左	同左	
事業費	232千円	232千円	232千円	

122 保育人材の充実

地域の保育人材を発掘し、その積極的な活用を図ります。

123 保育サービスの窓口整備

子育て情報コーナー及び子育て情報掲示板の設置の推進、子育てマップ等の活用、区ホームページの充実等を図ることにより、子育てに関する情報を効果的に提供するしくみを構築するとともに、子育て安心パスポート事業の推進を図り、子育て支援に係る事業の利用促進等に一層努めます。

施策コード	123	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
子育て関連情報の効果的な提供 再掲 102	子育て情報コーナー (共育プラザ等)の活用	同左	同左	
	子育て情報掲示板 (区立保育園)の活用・設置	子育て情報掲示板 (区立保育園)の活用	同左	
	子育てマップ・子育て支援ガイドブック等の作成	同左	同左	
	区ホームページ等の充実	同左	同左	
事業費	8,351千円	1,931千円	1,931千円	
子育て安心パスポート事業 再掲 102	区立保育園にて実施	同左	同左	
事業費	651千円	651千円	651千円	

124 保育サービスに対する第三者評価※への取組み

保育所に係る第三者評価制度の普及啓発に努めるとともに、認証保育所について、その費用を補助することにより、第三者評価の効果的な実施を支援します。

※ 第三者評価：事業者の提供するサービスの質を公的に認められた第三者機関が専門的かつ客観的な立場から評価すること。

施策コード	124	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
第三者評価の実施の支援	普及・啓発・実施	同左	同左	
事業費	8,400千円	8,400千円	8,400千円	

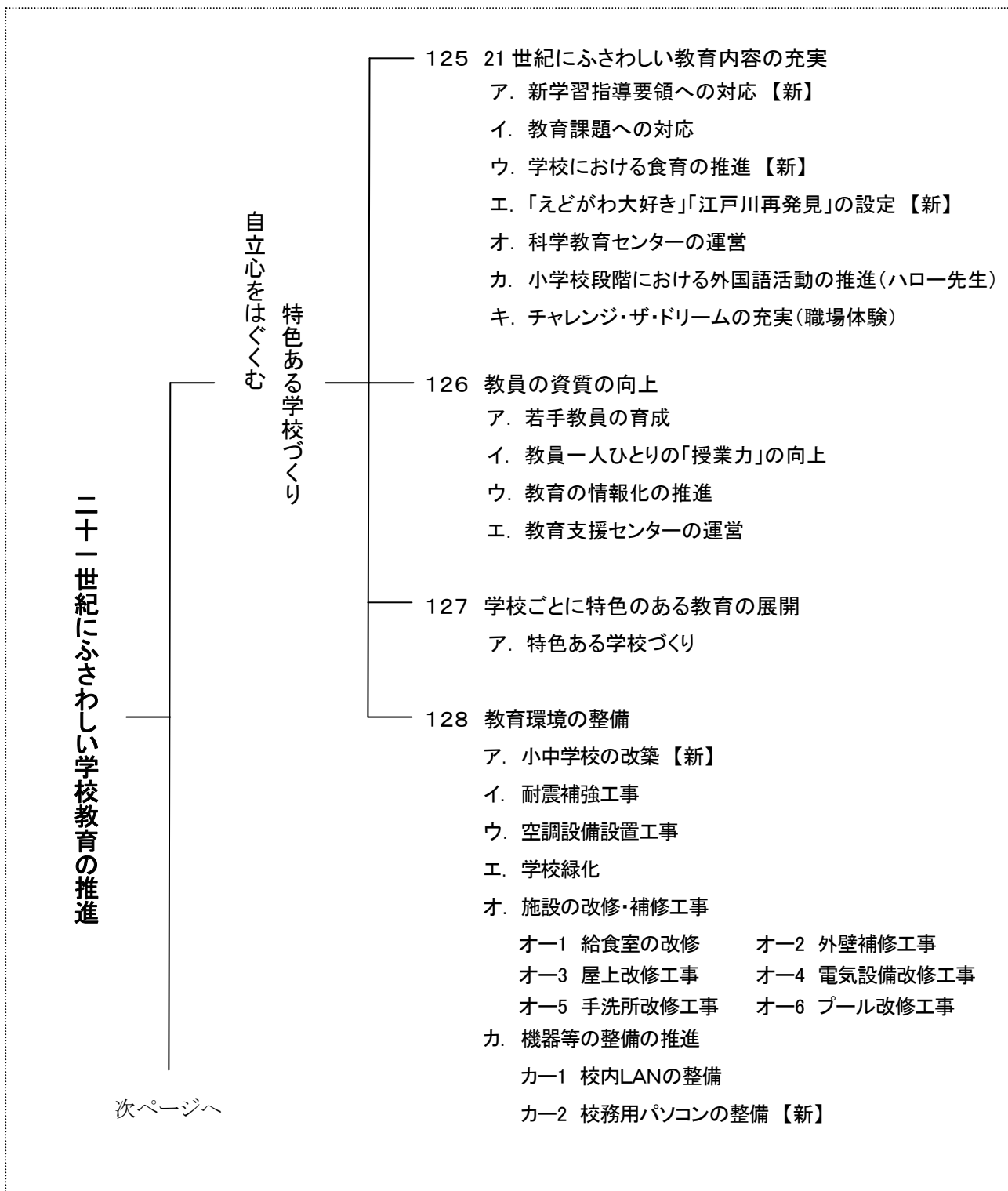
4 21世紀にふさわしい学校教育の推進

【施策の考え方】

次代を担っていく子どもたちが、未来への夢や目標を抱き、創造的で活力ある社会をめざして果敢に取り組み、世界の中で信頼される人間として成長するように21世紀にふさわしい学校教育を推進します。

このため、時代の変化に対応できる教育の展開、特色ある学校づくり、基礎学力の向上をめざした先進的取り組み、校内での相談体制の充実等による笑顔で通える学校づくり、学校と家庭、地域、関係機関との連携強化、子どもの居場所づくり等による開かれた学校づくりを進めます。

【施策体系図】



前ページより

笑顔で通える学校づくり

129 いきいきと学ぶ学校づくり

- ア. 確かな学力の向上 【新】
- イ. 体力の向上 【新】
- ウ. ティーム・ティーチング及び少人数指導による授業の推進

130 校内での相談体制の充実

- ア. 校内相談体制の充実
- イ. 教育研究所の教育相談の充実
- ウ. 学習・教育相談室の運営
- エ. 不登校改善対策体験事業の実施
- オ. メンター制度の普及・充実

131 障害児教育の充実

- ア. 特別支援教育の推進 【新】
- イ. 特別支援学級の新設・移設 【新】

開かれた学校づくり

132 学校と家庭、地域、関係機関との連携強化

- ア. 学校評議員制度の推進
- イ. 学校評価の推進 【新】

133 子どもの居場所づくり

- ア. すくすくスクールの実施 (再掲 110)

134 地域の人々が集う学校づくり

- ア. 校庭、体育館・プール、特別教室等の地域開放

(1) 自立心をはぐくむ特色ある学校づくり

125 21世紀にふさわしい教育内容の充実

学習指導要領改訂の円滑な実施に向けて適切な準備を進めます。併せて、教育課題等の解決を図るため、研究奨励校及び教育課題実践推進校を指定し、その成果の活用に努めます。

また、地域の特徴に関する学習、食育等の推進、職場体験を実施するチャレンジ・ザ・ドリームの実施状況等の検証、科学教育センターの増設等を行い、教育内容の一層の充実を図ります。

施策コード	125	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
新学習指導要領への対応 【新】	「確かな学力向上部会」の 設置及び運営	「確かな学力向上部会」 の運営	同左	
	指導資料の作成	指導資料の周知・活用	同左	
			教科書採択(小学校)	
事業費	596千円	※※※千円	※※※千円	
教育課題への対応	研究奨励校 (2年間指定) 2校 教育課題実践推進校 (1年間指定) 24校	同左	同左	
事業費	9,720千円	9,720千円	9,720千円	
学校における食育の推進 【新】	「食」に関する指導の全体 計画の推進及びその見直し	「食」に関する指導の 全体計画の充実	同左	
	「生活リズム向上公開講座」 の実施	同左	同左	
事業費	1,171千円	※※※千円	※※※千円	
「えどがわ大好き」「江戸川再 発見」の設定 【新】	活動事例集の作成 委員会の設置・運営	実施及びその検証	同左	
事業費	788千円	※※※千円	※※※千円	
科学教育センターの運営	小学校 9センター 中学校 3センター	小学校 9センター 中学校 4センター	同左	
	科学教育センター 推進委員会の運営	同左	同左	
事業費	18,960千円	18,960千円	18,960千円	
小学校段階における外国語 活動の推進(ハロー先生)	外国人英語科指導助手 (ハロー先生)の配置	拡充	同左	
事業費	36,996千円	※※※千円	※※※千円	
チャレンジ・ザ・ドリームの充実 (職場体験)	実施及びその検証	同左	同左	
	推進委員会の運営	同左	同左	
事業費	7,694千円	7,694千円	7,694千円	

126 教員の資質の向上

若手教員に対する研修体系の整備、教員の職層に応じた研修及び情報機器等の活用に関する研修の充実等を図るとともに、授業内容の改善に関する研究等を行い、教員の授業力の向上に努めます。併せて、教育支援センターが相談・助言等を行い、学校経営を支援します。

施策コード	126	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
若手教員の育成	若手教員育成部会の運営		同左	同左
	若手教員研修の体系及び内容の見直し		同左	同左
事業費		253千円	253千円	253千円
教員一人ひとりの「授業力」の向上	授業力アップ推進委員会の運営		同左	同左
	教員の職層に応じた研修内容の充実		同左	同左
事業費		550千円	550千円	550千円
教育の情報化の推進	「教育の情報化」推進委員会の運営		同左	同左
	研修の内容の充実		同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
教育支援センターの運営	人員体制の拡充		人員体制の拡充、施設整備等の検討	同左
事業費		101千円	※※※千円	※※※千円

127 学校ごとに特色のある教育の展開

学校ごとの特色ある学校づくりを行えるよう支援します。

施策コード	127	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
特色ある学校づくり	学校いきいき活動プランの拡充		同左	同左
事業費		22,000千円	22,000千円	22,000千円

128 教育環境の整備

学校施設の老朽化等に対応するため、「学校施設改築の基本的な考え方について(第一次報告)」(平成19年9月策定)で選定した第一期改築対象校について、先行する3校の改築準備を進めるとともに、耐震診断の結果、補強対策となった小中学校の耐震補強工事を実施します。

区立全小中学校の普通教室等に空調設備を設置するとともに、屋上緑化を推進します。加えて、プール等の必要な改修等を実施します。

また、教員一人につき1台のパソコンを配備し、校務の効率化を図ります。校内 LAN については、引き続き整備を推進します。

施策コード		128	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
小中学校の改築 【新】		基本構想・設計 1校	基本構想・設計 3校	実施設計 1校 基本構想・設計 2校	
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円	
耐震補強工事		小学校 7校	小学校 5校 中学校 1校	小学校 3校	
事業費		484,050千円	546,000千円	220,500千円	
空調設備設置工事		小学校 72校			
事業費		2,650,000千円	千円	千円	
学校緑化		屋上緑化 2校	屋上緑化 4校	屋上緑化 3校	
事業費		4,200千円	8,400千円	6,300千円	
施設の改修・補修工事	給食室の改修	調査・設計 1校	中学校 1校	小学校 1校 中学校 1校	
	事業費	2,900千円	70,000千円	140,000千円	
	外壁補修工事	小学校 3校 中学校 1校	小学校 3校 中学校 2校	小学校 4校 中学校 2校	
	事業費	228,567千円	300,000千円	360,000千円	
	屋上改修工事	小学校 2校 中学校 1校	小学校 3校 中学校 1校	小学校 2校 中学校 1校	
	事業費	211,833千円	200,000千円	150,000千円	
	電気設備改修工事	中学校 1校	小学校 1校	小学校 1校 中学校 1校	
	事業費	70,406千円	60,000千円	120,000千円	
	手洗所改修工事	小学校 8校 中学校 4校	小学校 8校 中学校 3校	小学校 8校 中学校 3校	
	事業費	578,619千円	352,000千円	352,000千円	
プール改修工事	小学校 2校 中学校 1校	小学校 2校	小学校 1校 中学校 1校		
事業費	199,500千円	126,000千円	126,000千円		

機器等の整備の推進	校内LANの整備	小学校 30校		
	事業費	88,907千円		
	校務用パソコンの整備 【新】	環境整備・機器配備 パソコン約2,700台 (全小中学校に配備)	本格稼働	同左
	事業費	106,588千円	389,143千円	389,143千円

(2)笑顔で通える学校づくり

129 いきいきと学ぶ学校づくり

「全国学力・学習状況調査」及び「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を踏まえながら、各学校が作成する「確かな学力向上プラン」に基づいた、教育内容の充実等を図ります。併せて、全児童生徒を対象とした体力テストを実施し、子どもたちの体力の実態を把握するとともに、その向上を図るため、体育活動の充実等に努めます。

また、きめ細かな指導を行うため、教科に応じた少人数習熟度別指導を実施します。

施策コード	129	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
「確かな学力」の向上 【新】	各学校独自の「確かな学力向上プラン」の作成	同左	同左	
	「確かな学力向上部会」の設置及び運営	同左	同左	
	「家庭学習推進運動」の充実	同左	同左	
事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円	
体力の向上 【新】	体力テストの全校実施 体育授業の充実	検討	同左	
	「生活リズム向上公開講座」の実施	同左	同左	
事業費	8,348千円	※※※千円	※※※千円	
ティーム・ティーチング※及び少人数指導による授業の推進	小学校 71校 中学校 21校	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

※ティーム・ティーチング：一つの授業を複数の教師で行うこと。理解に応じた個別指導ができるメリットがある。

「ー」：事業費は、新学習指導要領への対応、教育課題への対応、学校における食育の推進、「えどがわ大好き」「江戸川再発見」の設定、小学校段階における外国語活動の推進（ハロー先生）及びチャレンジ・ザ・ドリームの充実（職場体験）（施策コード 125）並びに若手教員の育成、教員一人ひとりの「授業力」の向上及び教育の情報化の推進（施策コード 126）のなかで計上しています。

130 校内での相談体制の充実

いじめ、不登校等の様々な問題に対して、児童・生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導等を行うため、スクールカウンセラー*と連携しつつ、校内の相談体制の整備を図ります。併せて、関係機関との連携を深め、教育研究所の機能を充実します。

また、学校・教育相談室において、不登校の児童・生徒に対して、基礎学力の向上、生活リズムの定着及びコミュニケーション能力を高める指導を行うとともに、学校及び家庭との協力を得ながら、子どもたちの学校復帰を支援します。併せて、地域ボランティアの協力を得ながら、不登校の傾向にある子どもたちの自主・自律性の向上を支援するとともに、メンター制度*の普及啓発等の適切な運営に努めます。

※ **スクールカウンセラー**: 学校において児童・生徒の悩みの相談に応じる等教員の児童・生徒理解について指導・助言を行う人。

※ **メンター制度**: 不登校児のいる家庭等に、心理等を修学している大学院生、地域人材等を派遣し、話し相手をしながら、登校刺激を行うボランティア(メンター)制度。

施策コード	130	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
校内相談体制の充実	スクールカウンセラーの配置 (小学校拠点校からの全校派遣・中学校全校派遣)		同左	同左
	校内委員会の充実		同左	同左
事業費		55,440千円	55,440千円	55,440千円
教育研究所の教育相談の充実	相談室 4か所		同左	同左
事業費		6,600千円	6,600千円	6,600千円
学習・教育相談室の運営	6か所		同左	同左
事業費		14,200千円	14,200千円	14,200千円
不登校改善対策体験事業の実施	10事業		検討・実施	同左
事業費		5,600千円	5,600千円	5,600千円
メンター制度の普及・充実	広報活動		同左	
	学校及び家庭が利用しやすい制度の拡充の検討		実施	同左
事業費		2,200千円	2,200千円	2,200千円

131 障害児教育の充実

新たにLD※、ADHD※、高機能自閉症※等を含めた障害を有する児童・生徒一人ひとりに応じた、適切な教育支援を行うとともに、特別支援教育※の一層の理解促進に努めます。

また、生徒数の増加に伴い、知的障害学級の新設及び情緒障害学級の新設・再配置を行います。

※LD(Learning Disabilities):学習障害(基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの)。

※ADHD(Attention Deficit / Hyperactivity Disorder):注意欠陥/多動性障害(不注意、多動性及び衝動性を中心とした症状とする発達障害)。

※高機能自閉症:他人との社会的関係の形成の困難さ、言葉の発達の遅れ、興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害である自閉症のうち、知的発達の遅れを伴わないもの。

※特別支援教育:障害のある幼児児童生徒の自立、社会参加に向けた主体的な取組等を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活及び学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。

施策コード	131	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
特別支援教育の推進 【新】	校内委員会の充実	同左	同左	
	支援教育コーディネーターの資質の向上	同左	同左	
	「個別指導計画※」の作成及びその充実	「個別指導計画※」及び「個別の教育支援計画※」の作成及びその充実	同左	
	副籍による校内体制の整備	副籍による校内体制の整備及びその充実	同左	
	パンフレット作成			
	専門家チーム派遣等	同左	同左	
事業費	5,991千円	4,091千円	4,091千円	
特別支援学級の新設・移設 【新】	知的障害学級の開設(二之江中学校) 情緒障害学級新設の準備	情緒障害学級の開設(松江及び小岩地区) 情緒障害学級の廃止(二之江中学校)		
事業費	56,400千円	0千円	千円	

※個別指導計画:児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応して指導の方法及び内容の明確化を図るもの。

※個別の教育支援計画:障害のある児童生徒の一人ひとりのニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考えの下、長期的な視点で乳幼児期から学校卒業後までを通じて一貫して的確な教育的支援を行うことを目的として、特別な教育的ニーズの内容、適切な教育的支援の目標と内容、教育的支援を行う者・機関等を定めたもの。

(3)開かれた学校づくり

132 学校と家庭、地域、関係機関との連携強化

学校評議員制度※を積極的に活用するとともに、学校評価を実施し、学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを行い、学校の教育力の向上を図ります。

※ 学校評議員制度：地域の有識者等が評議員となり、学校運営に関して意見を述べたり、助言を行うしくみ。

施策コード	132	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
学校評議員制度の推進	学校評議員研修の充実	同左	同左	
	学校評議員会の運営及び充実	同左	同左	
事業費	※※※千円	※※※千円	※※※千円	
学校評価の推進 【新】	学校評価検討委員会の設置・運営	学校評価委員会の設置・運営	学校評価委員会の運営	
事業費	※※※千円	※※※千円	※※※千円	

133 子どもの居場所づくり

放課後等の学校施設を有効に活用しながら、地域、学校及び保護者の連携を推進し、様々な体験を通して、子どもたちの豊かな人間性を育むことを図るため、学童クラブの機能を包摂したすくすくスクール事業の一層の充実に努めます。また地域ボランティアによるサポートセンターの働きかけをさらに推進し、各地域の特色ある活動を支援します。

施策コード	133	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
すくすくスクールの充実 再掲 110	地域・学校との連携強化	同左	同左	
事業費	820, 887千円	820, 887千円	820, 887千円	

134 地域の人々が集う学校づくり

学校施設を地域の文化・スポーツ活動の拠点として位置付け、住民が利用しやすい施設整備、設備の充実を行うことで、区民の誰もが参加できる文化・スポーツ活動を支援します。

施策コード	134	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
校庭、体育館、プール、特別教室等の地域開放	小学校 73校 中学校 33校	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

第2節

学びと協働による 区民文化づくり

- 1 人生を豊かにする生涯学習
 - (1)時代にふさわしい生涯学習機会の提供
 - (2)生涯学習の裾野を広げるしくみづくりと学習成果の活用

- 2 江戸川区の良さを活かしたボランティア活動とコミュニティ活動
 - (1)ボランティア立区の推進
 - (2)時代にふさわしいコミュニティの形成

- 3 創造性豊かな江戸川文化
 - (1)「江戸川文化」の創造

- 4 男女共同参画社会の推進
 - (1)性別に関係しない機会平等の社会づくり

- 5 世界の人々との交流と共生
 - (1)「地球人」の意識づくり
 - (2)世界からの人々が共生する地域社会の構築
 - (3)世界平和のためのまちづくり

- 6 安心できる消費生活
 - (1)安心できる消費生活への支援
 - (2)参加型消費者の支援

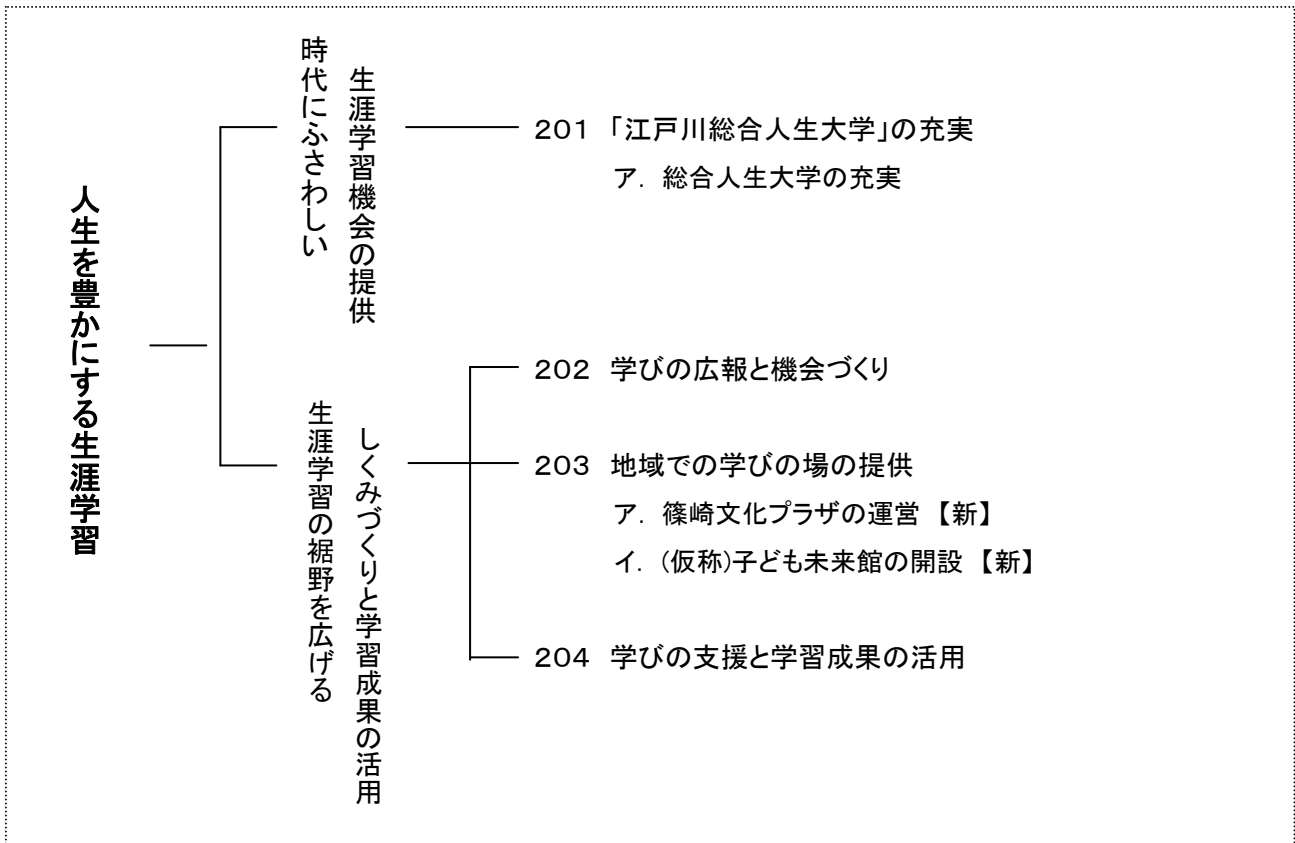
1 人生を豊かにする生涯学習

【施策の考え方】

豊かな人生とより良い地域社会を目指し、多くの区民が実りある生涯学習に取り組めるように、様々な学習の場及び機会を提供します。

また、情報の提供、相談サービス、図書館等の施設の充実等、区民の自主的な学習活動を支援するための環境づくりを行います。さらに、学習する人々の励みにもなり、地域の教育力の向上、活性化等にも繋がるよう、学習によって得られた知識、技術、経験等を活かして地域社会に寄与できるよう支援します。

【施策体系図】



(1)時代にふさわしい生涯学習機会の提供

201 「江戸川総合人生大学」の充実

共育・協働の学びの場として、地域での実践を念頭においた、より実効性の高い授業内容の実現を図るとともに、篠崎文化プラザ内に活動室を整備し、同窓会の活動、学生の地域活動等を支援します。

施策コード	201	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
総合人生大学の充実		活動室の整備・活用等	カリキュラム等の充実	同左
事業費		37,801千円	※※※千円	※※※千円

(2)生涯学習の裾野を広げるしくみづくりと学習成果の活用

202 学びの広報と機会づくり

一人でも多くの区民が生涯学習に参加できるように、情報技術等の活用を図り、総合人生大学、国、都、民間機関等が実施する講座等を紹介します。また、気軽に学びを体験できる機会の提供に努めます。さらに、生涯学習の裾野を広げるために、実際に学んでいる人が、学びの楽しさ、充実感等を周囲の人に伝えられるよう、その促進を図ります。

203 地域での学びの場の提供

区の歴史、文化、産業等に関する展示、篠崎図書館、総合人生大学の活動の拠点等となる機能を併せ持った篠崎文化プラザを開設・運営します。

また、篠崎図書館を篠崎文化プラザに移設することに併せて、同跡地には、子どもの知的好奇心を刺激し、創造力を高め、未来の可能性を広げる学びと探求の場として、近隣の篠崎ポニーランド及び中篠崎公園と一体的な整備を図りながら、「(仮称)子ども未来館」を開設します。

施策コード	203	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
篠崎文化プラザの運営 【新】	開設	運営	同左	
事業費	502, 531千円	※※※千円	※※※千円	
(仮称)子ども未来館の開設 【新】	解体・工事	工事・開設	運営	
事業費	636, 601千円	※※※千円	※※※千円	

204 学びの支援と学習成果の活用

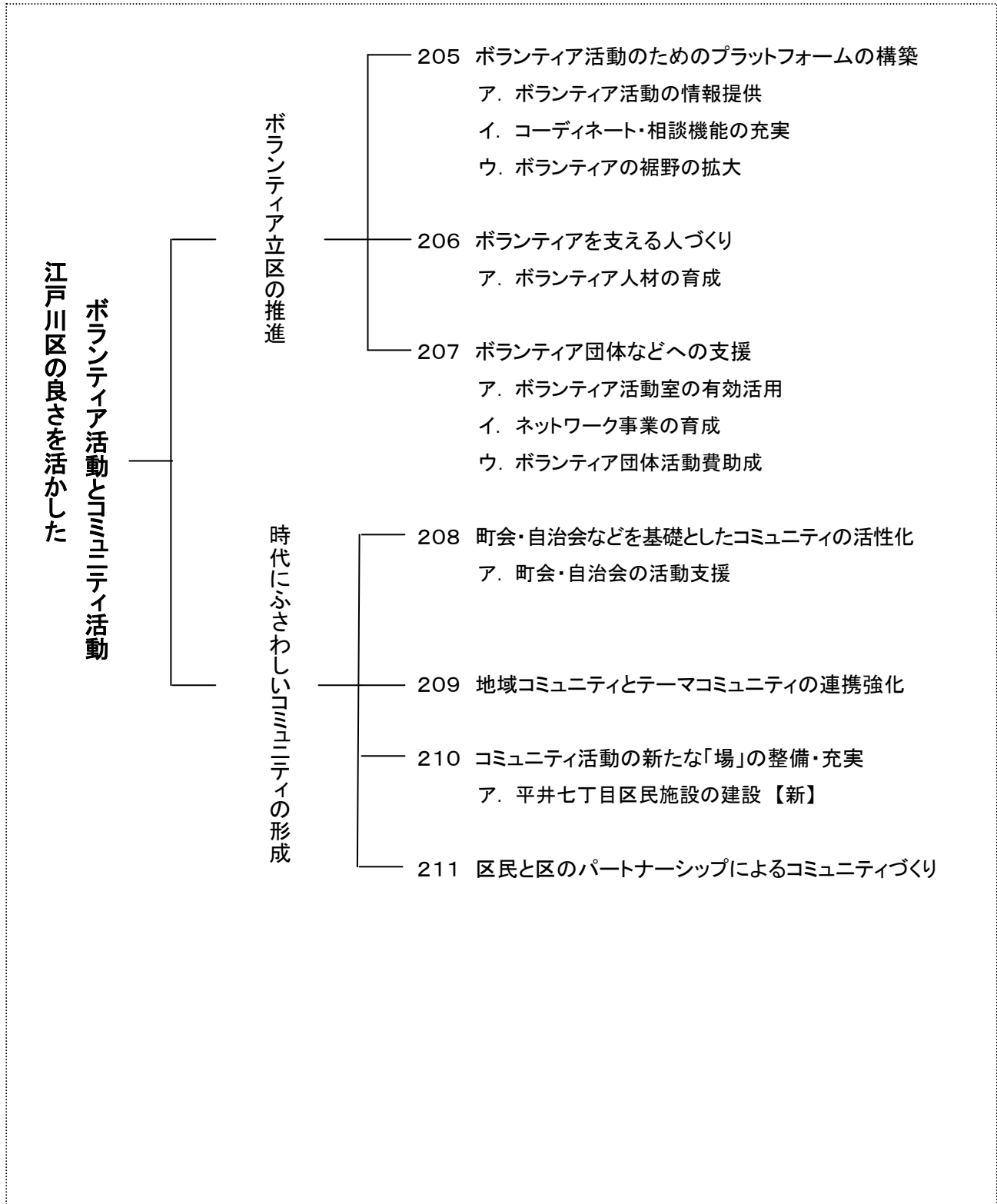
総合人生大学等における学びを契機とした区民の自発的な学習を促進するため、学習サークルを育成し、学習サークル間の連携を促進する等の、学びのネットワークづくりを支援します。また、一定の学びの成果を得た区民が、その成果を発表する場、他の区民に教える機会等の整備に努めます。

2 江戸川区の良さを活かしたボランティア活動とコミュニティ活動

【施策の考え方】

地域社会において、区民の自主的な取り組みを必要とする新たな課題が生じています。このため、区民一人ひとりがボランティアとして、活躍できるようなしくみづくりを行い、自立性の高い、思いやりと支えあいのある、豊かなコミュニティをつくります。また、町会・自治会を基礎としつつ、テーマコミュニティ等、さまざまなコミュニティが自主的に活発に活動できるような環境を整えます。

【施策体系図】



(1) ボランティア立区の推進

205 ボランティア活動のためのプラットフォーム※の構築

様々な分野のボランティア活動に関する情報の提供等を推進します。加えて、ボランティア活動に関する相談、紹介等を行うとともに、ボランティア活動へのきっかけづくりとなる機会を提供し、区民が様々な分野のボランティア活動に参加できるよう、ボランティア立区の形成を推進します。

※ プラットホーム：駅のプラットフォームのように、様々なボランティア活動を支える共通の土台。

施策コード	205	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
ボランティア活動の情報提供		270団体	280団体	300団体
			メールマガジンの検討	メールマガジンの実施
事業費		783千円	783千円	783千円
コーディネート・相談機能の充実		コーディネート 230件	コーディネート 250件	コーディネート 270件
		相談 400件	相談 420件	相談 450件
事業費		3,351千円	3,351千円	3,351千円
ボランティアの裾野の拡大		ボランティア出前講習 48校	ボランティア出前講習 50校	ボランティア出前講習 52校
		体験先 150か所	体験先 155か所	体験先 160か所
		ボランティア入門講座	同左	同左
		ボランティアフェスティバル	同左	同左
事業費		1,888千円	1,888千円	1,888千円

206 ボランティアを支える人づくり

ボランティア活動に関する専門的な知識等を習得する機会を提供し、人材の育成に努めます。

施策コード	206	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
ボランティア人材の育成		手話講座等 5講座	同左	同左
事業費		854千円	854千円	854千円

207 ボランティア団体などへの支援

ボランティア団体相互の情報交換等、連携して活動を行うネットワークづくりを支援します。

施策コード	207	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
ボランティア活動室の有効活用		ボランティア体験会等の実施	同左	同左
事業費		963千円	963千円	963千円
ネットワーク事業の育成		ネットワーク事業の検討	ネットワーク事業の実施	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
ボランティア団体活動費助成		登録団体活動費助成 45団体	登録団体活動費助成 47団体	登録団体活動費助成 48団体
事業費		2,475千円	2,585千円	2,640千円

(2)時代にふさわしいコミュニティの形成

208 町会・自治会などを基礎としたコミュニティの活性化

地域の諸課題の解決を図る、町会・自治会等の地域団体による活動を様々な側面から支援します。

施策コード	208	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
町会・自治会の活動支援		活動支援	同左	同左
事業費		162,241千円	162,241千円	162,241千円

209 地域コミュニティとテーマコミュニティの連携強化

210 コミュニティ活動の新たな「場」の整備・充実

平井地区にコミュニティ施設を開設し、区民の文化及び福祉の一層の増進を図ることに努めます。

施策コード	210	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
平井七丁目区民施設の建設【新】		土地の取得・設計委託	建築工事	開設・供用開始
事業費		662,661千円	※※※千円	※※※千円

211 区民と区のパートナーシップによるコミュニティづくり

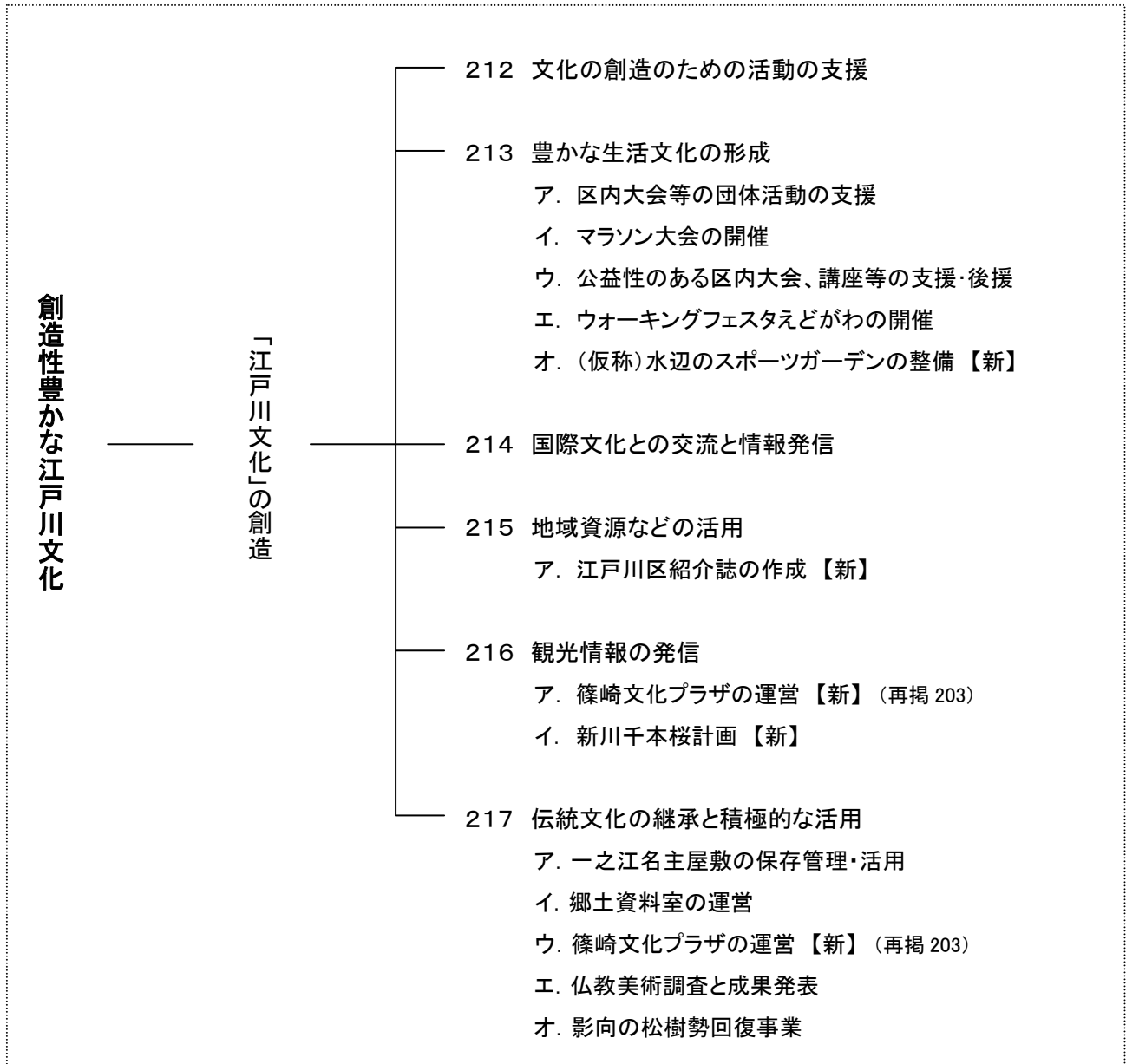
区民と区との適切な役割分担を図り、町会・自治会、ボランティア団体、NPO等の活動及び相互の連携・協働を支援することにより、そこに住み、働き、学び、憩う人々が主体となり、誇りと愛着をもって住み続けているコミュニティの形成を推進します。

3 創造性豊かな江戸川文化

【施策の考え方】

区は、都心から至近な位置にありながら、水と緑に恵まれ、地域の中で住み、働き、学び、憩うことができる等、うるおいと楽しさのある魅力的な都市として発展しています。このような中で、文化財、伝統工芸等の伝統文化を継承し、様々な地域の資源、特長等を活かして新たな生活文化を創造し、魅力あふれる「江戸川文化」として世界に向けて発信していく等、創造性の豊かな江戸川文化を育みます。

【施策体系図】



(1)「江戸川文化」の創造

212 文化の創造のための活動の支援

区民の文化・芸術活動がより活発なものとなるように活動の場や機会のさらなる充実に努めるとともに、誇りと自信がもてるように活動の紹介、顕彰等を行います。また、文化・芸術活動を行っている個人や団体の相互交流、自主グループの育成、さまざまな情報の提供、文化イベントの開催等を推進します。このことを通じて、豊かな広がり高めをもつ文化・芸術活動の振興を図ります。

213 豊かな生活文化の形成

区内大会の開催等のスポーツ活動を支援し、スポーツの振興を図ります。併せて、旧江戸川河川敷の活用を図り、区民のスポーツレクリエーション拠点となる「(仮称)水辺のスポーツガーデン」の整備を進めます。

施策コード	213	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
区内大会等の団体活動の支援		支援	同左	同左
事業費		3,746千円	3,746千円	3,746千円
マラソン大会の開催		実行委員会による大会運営	同左	同左
事業費		4,500千円	4,500千円	4,500千円
公益性のある区内大会、講座等の支援・後援		支援・後援	同左	同左
事業費		17,000千円	17,000千円	17,000千円
ウォーキングフェスタ えどがわの開催		組織委員会による大会運営	同左	同左
事業費		1,000千円	1,000千円	1,000千円
(仮称)水辺のスポーツガーデンの整備 【新】		造成工事	供用開始及び運営	運営
事業費		— 千円	※※※千円	※※※千円

「—」:事業費は、身近な公園の整備(施策コード106)の中で計上しています。

214 国際文化との交流と情報発信

国際的な文化イベントの開催、区民の多彩な文化交流への支援等により、親善及び相互理解が図れる機会を充実するとともに、世界に向けて江戸川文化に関する情報を発信します。

215 地域資源などの活用

区の概要を紹介する冊子を作成し、区の魅力を広く紹介します。また、多くの人々が集まるイベント等の積極的な誘致活動を展開し、地域を舞台とする様々な交流を推進します。

施策コード	215	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
江戸川区紹介誌の作成 【新】		冊子及び別紙データ集の制作	別紙データ集の更新	同左
事業費		3,329千円	200千円	100千円

216 観光情報の発信

篠崎文化プラザにおいて江戸川区の様々な魅力を広く伝えるため、歴史、文化、産業等に関する企画展示を行います。また、新川千本桜の整備に併せ、企画展示等を行う施設を開設します。

施策コード	216	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
篠崎文化プラザの運営 【新】再掲 203		開設	運営	同左
事業費		502, 531千円	※※※千円	※※※千円
新川千本桜計画 【新】		耐震護岸・人道橋・ 修景の整備	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

「—」:事業費は、新川環境整備(新川千本桜計画)(施策コード734)のなかで計上しています。

217 伝統文化の継承と積極的な活用

耐震補強工事に伴い郷土資料室の整備を進めるとともに、区の歴史、文化、産業等に関する企画展示を行う篠崎文化プラザを開設します。また、一之江名主屋敷の修繕等、仏教美術品の調査、善養寺影向の松樹勢の回復等を実施することにより、区の文化財の適切な保存・継承に努めます。

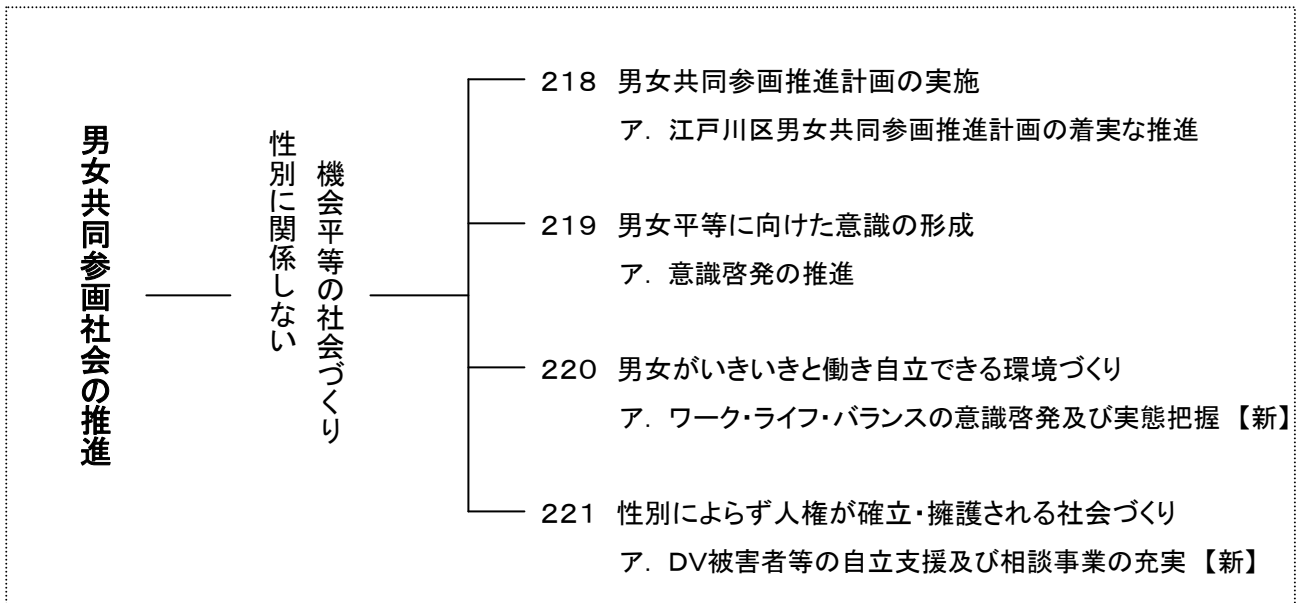
施策コード	217	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
一之江名主屋敷 の保存管理・活用		消防設備の保守管理	庭園の管理方針の検討	同左
		茅葺屋根の補修	同左	同左
事業費		1, 600千円	105千円	105千円
郷土資料室の運営		郷土資料室の整備		
		企画展の開催(年2回)	同左	同左
		収蔵資料の調査・ データベース化	同左	同左
事業費		6, 225千円	5, 230千円	5, 230千円
篠崎文化プラザの運営 【新】再掲 203		開設	運営	同左
事業費		502, 531千円	※※※千円	※※※千円
仏教美術調査と成果発表		本格調査	同左	同左
事業費		1, 470千円	1, 470千円	1, 470千円
影向の松樹勢回復事業		樹勢回復事業	同左	同左
事業費		15, 009千円	10, 692千円	12, 790千円

4 男女共同参画社会の推進

【施策の考え方】

男女がお互いに尊重しあい、その能力と個性を發揮できる地域社会の実現をめざして、男女平等の意識づくりを進め、区民と力を合わせて環境整備を行います。

【施策体系図】



(1) 性別に関係しない機会平等の社会づくり

218 男女共同参画推進計画の実施

区民等と区との協働による男女共同参画社会の実現に向けて、「江戸川区男女共同参画推進計画」の着実な推進を図ります。

施策コード	218	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
江戸川区男女共同参画 推進計画の着実な推進		推進	同 左	同左
		区民会議の開催	同 左	同左
事業費		407千円	407千円	407千円

219 男女平等に向けた意識の形成

国際的な視点、多様な価値観等を踏まえながら、より広い視野のもとに男女共同参画に関する普及啓発等を実施します。

施策コード	219	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
意識啓発の推進		男女共同参画週間 記念映画会の開催	同左	同左
		講演会等の開催	同左	同左
		情報誌の発行	同左	同左
事業費		1,608千円	1,608千円	1,608千円

220 男女がいいきと働き自立できる環境づくり

仕事と私生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの普及啓発及び実態調査を実施します。

施策コード	220	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
ワーク・ライフ・バランスの意識啓発及び実態把握 【新】	産業ときめきフェア出展	同左	同左	
	取組企業の情報を広報	同左	同左	
			働く女性の実態調査の検討	
事業費	100千円	100千円	100千円	

221 性別によらず人権が確立・擁護される社会づくり

暴力防止及び被害者保護のための基本的な計画を策定するとともに、配偶者等からの暴力に関する相談、被害者の自立支援等の充実を図ります。

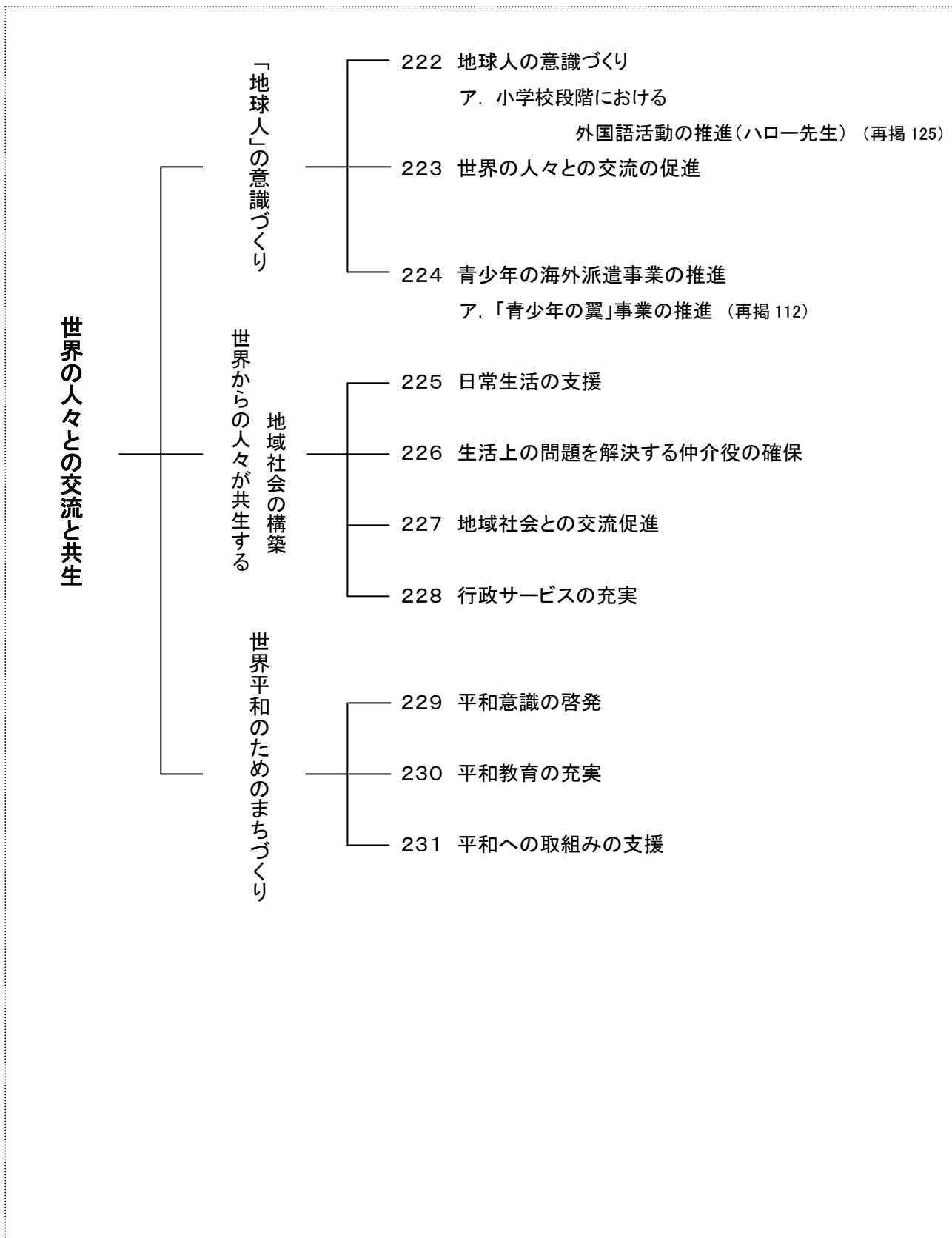
施策コード	221	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
DV 被害者等の自立支援及び相談事業の充実 【新】	法律相談の開設	同左	同左	
	経済的に困難な女性のためのパソコン教室の開設	同左	同左	
	セミナーの開催	同左	同左	
	配偶者暴力対策基本計画策定の検討	同左	同左	
事業費	675千円	675千円	675千円	

5 世界の人々との交流と共生

【施策の考え方】

区内に住む世界からの人々が増加しています。環境、平等地球規模の課題に対して、区民一人ひとりが、同じ地球に住む「地球人」としての発想を持ち、ともに暮らしていける環境を整えます。

【施策体系図】



(1)「地球人」の意識づくり

222 地球人の意識づくり

区立小学校に外国人英語科指導助手を配置することにより、小学校における外国語に関する活動を促進し、国際感覚豊かな人材の育成に努めます。

施策コード	222	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
小学校段階における外国語活動の推進(ハロー先生) 再掲 125		外国人英語科指導助手(ハロー先生)の配置	拡充	同左
事業費		36,996千円	※※※千円	※※※千円

223 世界の人々との交流の促進

区民が異なる文化及び生活習慣にふれ、親善と相互理解を深めることができるよう、姉妹都市、友好都市等との草の根の交流を促進します。また、国際交流に関する情報提供を行うとともに、区内ボランティアと連携しながら、海外の様々な団体・グループとの交流を促進します。

224 青少年の海外派遣事業の推進

野村・立井国際交流基金[※]等を活用した、青少年を世界各国へ派遣し、ホームステイ、文化体験等の幅広い体験を通して、国際感覚を培った次代を担う人材の育成を図ります。

※ 野村・立井国際交流基金:故野村喜代氏、故立井隆氏の寄付をもとにした、区民の国際化の推進等を図るための基金。

施策コード	224	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
「青少年の翼」事業の推進 再掲 112		派遣先 5か国 派遣人数 100人	同左	同左
事業費		42,279千円	42,279千円	42,279千円

(2)世界からの人々が共生する地域社会の構築

225 日常生活の支援

世界からの人々が、ひとりの区民として区で安心した生活ができるように、外国語のできるボランティアによる支援をはじめ、日常生活におけるさまざまな相談及び生活支援を行います。また、さまざまな活動を行っている民間交流団体、ボランティアの人々等のネットワーク化を図るとともに、効果的な支援ができるように条件整備を進めます。

226 生活上の問題を解決する仲介役の確保

食生活をはじめ、文化や生活習慣の違いに起因する様々な問題について、相互に意見交換し、解決策を見出せるように、地域において仲介役のできる人を確保します。また、トラブルや不当な差別を招くことがないように、情報提供と相談に努めます。

227 地域社会との交流促進

世界からの人々が気軽に地域活動に参加できる、開かれた地域社会づくりを促進し、相互交流を通じて地域コミュニティがさらに活発になることをめざします。

228 行政サービスの充実

世界からの人々が安心して生活ができるように、相談体制の整備、防災安全対策の確立、区政情報の外国語による提供等、行政サービスをさらに充実させます。

(3)世界平和のためのまちづくり

229 平和意識の啓発

水と緑に囲まれた郷土を次世代に守り伝えていくため、生命の尊さと平和の大切さを考える機会をもつことは重要であり、江戸川区平和都市宣言の趣旨を踏まえて、各種のイベント等多様な機会を通じて区民への情報提供に努めます。また、区民とともに世界の人々との交流を進めることにより、相互理解と友好関係の構築を図ります。

230 平和教育の充実

人類の願いである世界平和を実現するために、自立し平和を重んじる区民を育てることが必要であり、小中学校において平和に関する教育を充実させます。

231 平和への取組みの支援

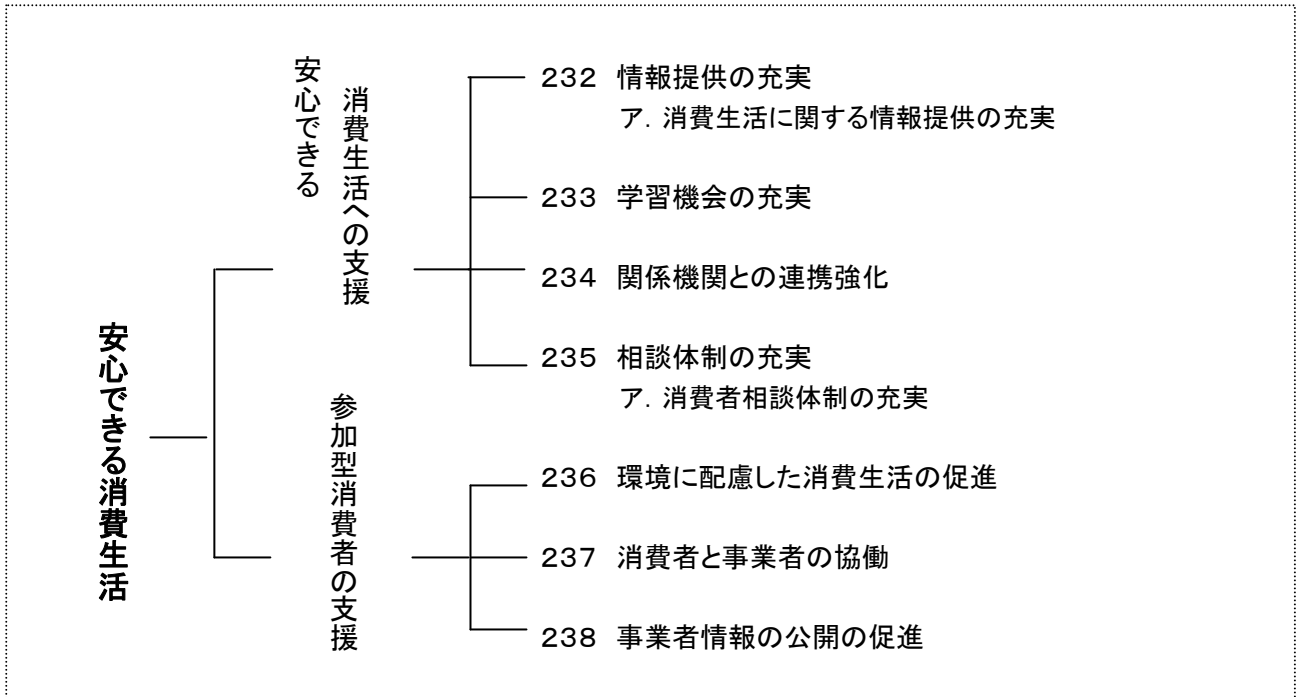
戦争の悲惨さ、生命の尊さ等について区民が改めて考える機会を提供するため、平和祈念式典の実施や平和資料の展示等、区民の自主的な取り組みを支援します。

6 安心できる消費生活

【施策の考え方】

区民一人ひとりが、消費生活の質的向上と安心・安全を得られるよう、商品、サービス等の購入にあたって適切な選択を行える社会環境づくりを進めます。また、大量のごみの排出等を通じて、消費者自身が地球環境に負荷を与えている側面もあり、地球環境への負荷を低減するため、環境に配慮した消費生活を推進します。

【施策体系図】



(1) 安心できる消費生活への支援

232 情報提供の充実

ホームページ、メールマガジン等の活用を図りながら、悪質商法被害防止及びグリーンコンシューマー*に関する情報の提供を行います。特に在宅の熟年者については、熟年者の見守りの人たちを含めて、必要な情報を迅速に提供します。

※ グリーンコンシューマー：商品やサービスを購入する際に、環境に配慮した製品を優先的に購入する消費者及び消費者行動。

施策コード	232	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
消費生活に関する 情報提供の充実	ホームページ全体構成 の見直し		ホームページの運用	同左
	メールマガジンの運用		同左	同左
	情報提供紙 (みまもり・ねっと等)の発行		同左	同左
	他部署との関連強化 情報提供 (安心生活応援ネットワーク ・安心生活サポート事業)		同左	同左
事業費		630千円	630千円	630千円

233 学習機会の充実

子どもへの消費者教育を充実させるため、教育委員会等との連携を図りながら、児童・生徒を対象とした消費者教育の充実に努めます。また、区内の小中学校を対象に、最新の消費生活情報紙「ニュースレター」を発行・提供します。

234 関係機関との連携強化

悪質商法被害の未然防止をより一層推進するため、消費者行政を担う国、都の各機関、警察等との連携を強化し、不適正取引事業者に対する行政指導・業務改善が速やかに実施されるよう相談情報の提供を充実します。併せて、消費者被害の増加傾向にある熟年者への対応として、安心生活応援ネットワーク等との連携の充実に図ります。

また、関係機関等との連携を図りながら、多重債務者の早期発見に努め、適切な相談支援を図ります。

235 相談体制の充実

消費者相談の増加及び巧妙化に柔軟に対応するため、相談時間の延長等の体制の充実に図ります。また、国民生活センターが運用する「全国消費生活情報ネットワークシステム」を活用し、相談情報の充実に図ります。

施策コード	235	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
消費者相談体制の充実		必要な相談体制の整備	必要な相談体制の検討	同左
事業費		1,031千円	※※※千円	※※※千円

(2)参加型消費者の支援

236 環境に配慮した消費生活の促進

グリーンコンシューマー[※]の育成・支援、消費者団体・環境NPO等との連携等により、環境に配慮した消費生活を区民に広く啓発します。

※グリーンコンシューマー：商品やサービスを購入する際に、環境に配慮した製品を優先的に購入する消費者及び消費者行動。

237 消費者と事業者の協働

消費者の意見要望が事業者活動に反映されるよう、消費者と事業者の交流の場づくりを行います。

238 事業者情報の公開の促進

事業者の保有する製品情報・危害情報を区民に提供することにより、消費者がより良い製品・サービスを享受できるように支援します。併せて、事業者側の情報公開が今後さらに迅速・適切に行われるように、国、都等監督機関に要請を行います。

第3節

いきいきとした生活のための 健康・福祉の社会づくり

〔1〕 区民の健康づくりのために

- 1 生活習慣病と健康
 - (1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり
 - (2) 区民主役の健康づくりの支援
- 2 心の健康づくり
 - (1) 心を元気にするためのしくみづくり
- 3 生涯スポーツの推進
 - (1) 健康スポーツ都市・江戸川の形成
- 4 感染症と健康危機への対応
 - (1) 感染症対策などの充実
- 5 食と住の安全性
 - (1) 健康食住の推進

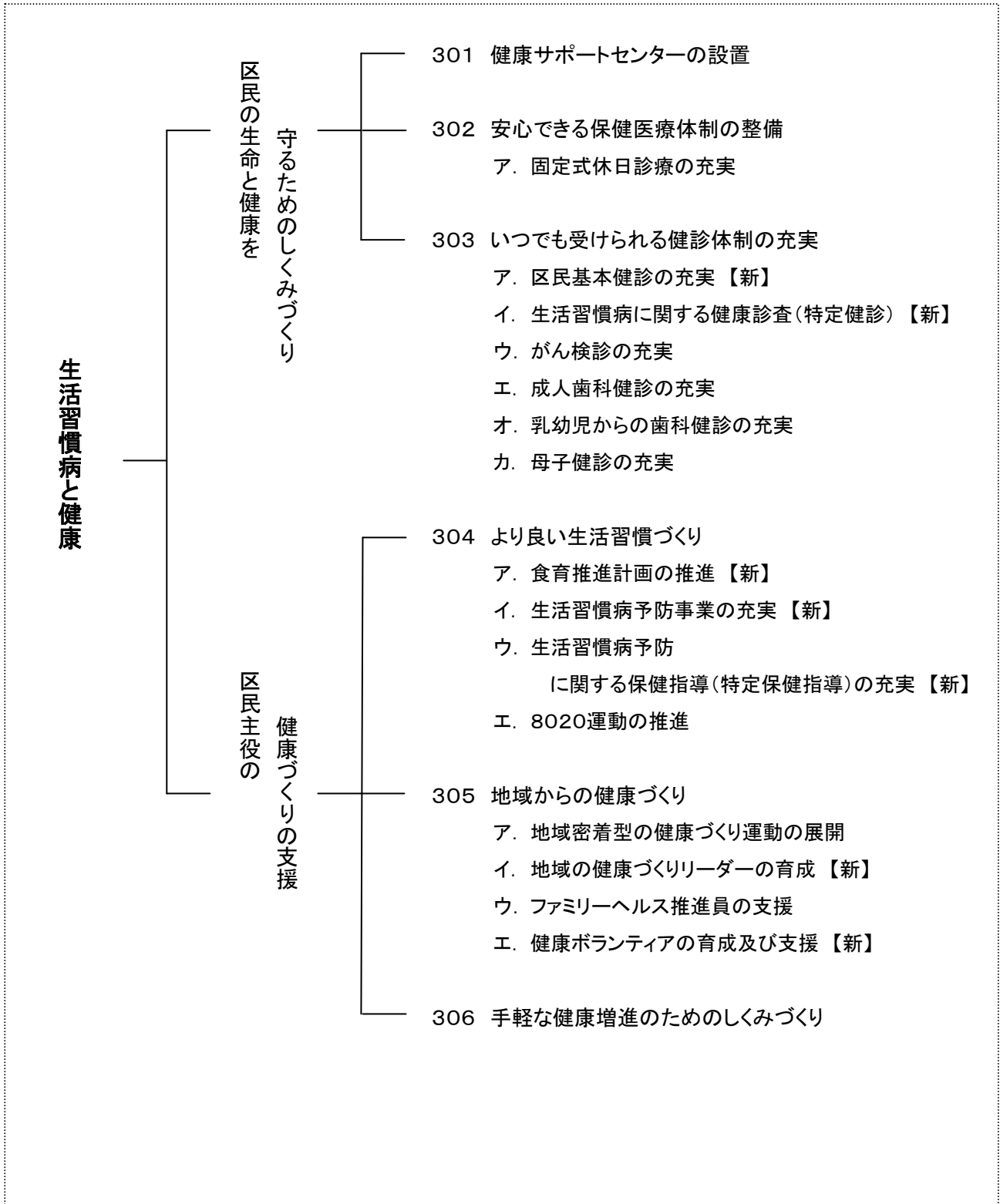
1 生活習慣病と健康

【施策の考え方】

高齢化の進展、食生活、ライフスタイル等の多様化にともない、生活習慣病が区民共通の課題となっています。

生活習慣病は、日頃の生活習慣と密接な関係があるため、正しい生活習慣を身に付け、年齢、生活環境等に応じた健康づくりを進めることが大切です。自分の健康は自分で守り、自分でつくることを基本に、区民一人ひとりの「健康寿命」をのばすことを積極的に支援するための施策を展開します。

【施策体系図】



(1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり

301 健康サポートセンターの運営

妊娠分娩期及び乳幼児期から熟年期までの健康相談、各種健診、精神保健福祉、生活習慣病予防対策、介護予防等を行う健康サポートセンターを区内8か所に設置し、生涯を通じた健康づくりを支援します。

302 安心できる保健医療体制の整備

5月の連休及び年末年始の固定式休日診療所を設置する医師会館及び医療検査センターの一層の周知を図ります。併せて、固定式休日診療所の新設の検討を進めるとともに、輪番制との連携を図ることにより、安心できる医療体制の整備に努めます。

施策コード	302	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
固定式休日診療の充実		固定式休日診療事業の充実	同左	同左
事業費		23,362千円	23,362千円	23,362千円

303 いつでも受けられる健診体制の充実

平成18年度医療制度改革に伴い、各種健診体制の再編を行います。引き続き、医療保険者が実施する生活習慣病予防の健診を踏まえつつ、区民等の健康増進を図り、切れ目のない健診体制の整備に努めます。

また、妊婦健診の助成回数を拡大する等、母子保健の向上に努めます。

施策コード	303	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
区民基本健診の充実	40歳未満・その他 【新】	25,000人	25,000人	25,000人
	事業費	235,617千円	235,617千円	235,617千円
	75歳以上の後期高齢者 医療制度加入者(委託) 【新】	27,230人	28,000人	28,500人
	事業費	262,316千円	269,700千円	274,550千円
生活習慣病に関する健康診査 (特定健診)の充実 【新】		64,100人	69,200人	74,100人
事業費		577,750千円	622,800千円	666,900千円
がん検診の充実		102,800人	106,000人	108,500人
事業費		724,625千円	750,472千円	765,092千円
成人歯科健診の充実		8,600人	8,650人	8,700人
事業費		71,431千円	71,850千円	72,260千円

乳幼児期からの 歯科健診の充実	歯ッピー教室の充実 29,300人	29,500人	同左
事業費	49,700千円	50,040千円	50,040千円
母子健診の充実	妊婦健康診査受診費 助成の拡充		
	乳幼児健診の実施 63,240人	同左	同左
事業費	444,682千円	444,682千円	444,682千円

(2) 区民主役の健康づくりの支援

304 より良い生活習慣づくり

食育の総合的な推進を図るため、「(仮称)江戸川区食育推進計画」を策定し、その着実な普及啓発に努めます。

また、「特定健診等実施計画」に基づき、生活習慣病に関する健康診査(特定健診)の結果等を踏まえ、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群に対して、生活習慣の改善等を図る適切な保健指導を実施するとともに、生活習慣アクションプランに基づいた普及啓発に努めます。

また、歯科医師会と協力し、口腔疾患の予防及び口腔ケアに関する普及啓発に努めます。

施策コード	304	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
食育推進計画の推進 【新】	(仮称)江戸川区食育 推進計画の策定	食育事業の実施	同左	
事業費	3,109千円	※※※千円	※※※千円	
生活習慣病予防事業の充実 【新】	セミナー、講演会、 イベント等の開催	同左	同左	
	食生活改善の支援	同左	同左	
事業費	2,794千円	3,044千円	3,044千円	
生活習慣病予防に関する 保健指導(特定保健指導) の充実 【新】	3,000人	3,700人	4,500人	
事業費	67,370千円	73,260千円	89,100千円	
8020運動*の推進	周知・啓発	同左	同左	
	2008年健口年イベント の開催			
事業費	980千円	0千円	0千円	

※ 8020運動:「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動。

305 地域からの健康づくり

生活習慣病及び老化の予防を図るため、ウォーキング、老化予防等の健康課題に関する出前講座を実施するとともに、ホームページ等を活用しつつ、地域の自主的な健康づくり運動を支援します。

食習慣改善、口腔ケア等の健康づくりについての総合的な学習の機会を提供するとともに、受講者の自主的な活動の立ち上げを支援することにより、地域の健康づくり活動を担うリーダーの育成に努めます。

また、健康講座、ウォーキング等の啓発・活動等を推進し、家庭・地域からの健康づくりを担うファミリーヘルス推進員の活動を支援するとともに、地域で健康づくり活動を実践するボランティアの育成等に努めます。

施策コード	305	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
地域密着型の健康づくり運動の展開		ウォーキング大会・各種健康講座の開催	同左	同左
事業費		2,600千円	2,600千円	2,600千円
地域の健康づくりリーダーの育成【新】		地域の健康づくりリーダーの育成支援	同左	同左
事業費		124千円	124千円	124千円
ファミリーヘルス推進員の支援		委嘱式の実施		委嘱式の実施
		活動支援 8団体 380名	同左	活動支援 8団体 400名
事業費		12,400千円	11,000千円	12,400千円
健康ボランティアの育成及び支援【新】		ボランティアの育成及び支援	同左	同左
事業費		116千円	116千円	116千円

306 手軽な健康増進のためのしくみづくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

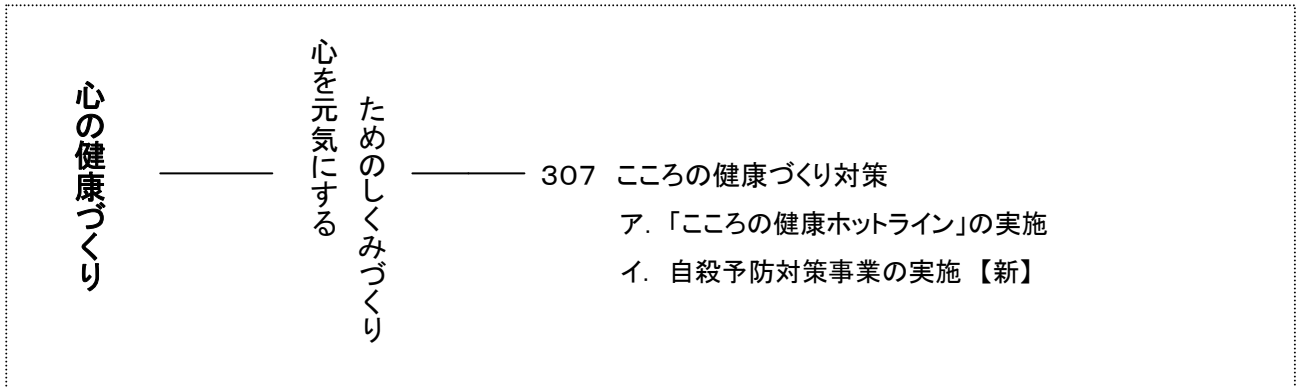
2 心の健康づくり

【施策の考え方】

ストレスの多い社会に生きる現代人にとって、「心の健康」は生活の質を左右する重要な要因の一つです。家族関係、地域社会への帰属意識等が大きく多様化するなかで、高度情報化社会の進展等により、区民一人ひとりを取りまく環境はこれまでも増して変化が激しくなっています。このような変化を受け止め、心のバランスを保っていくことが大切です。

そのため、心の健康を保つための啓発、正しい情報の提供、相談支援等の心を元気にするためのしくみづくりを進めます。

【施策体系図】



(1)心を元気にするためのしくみづくり

307 こころの健康づくり対策

うつ病、心身症等の心の健康に不安を持つ区民に対する電話相談を、休日を含めて実施するとともに、自殺対策基本法に基づき、自殺防止の啓発活動等を推進する等、自殺対策の総合的な推進を図ります。

施策コード	307	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
「こころの健康ホットライン」の実施		専用電話による相談の実施 休日電話相談の設置	専用電話による相談の実施(休日を含む)	同左
事業費		4,544千円	4,544千円	4,544千円
自殺予防対策の実施【新】		(仮称)自殺予防に関する対策会議の設置	(仮称)自殺予防に関する対策会議の運営	同左
		自殺防止キャンペーンの実施	同左	同左
事業費		165千円	165千円	165千円

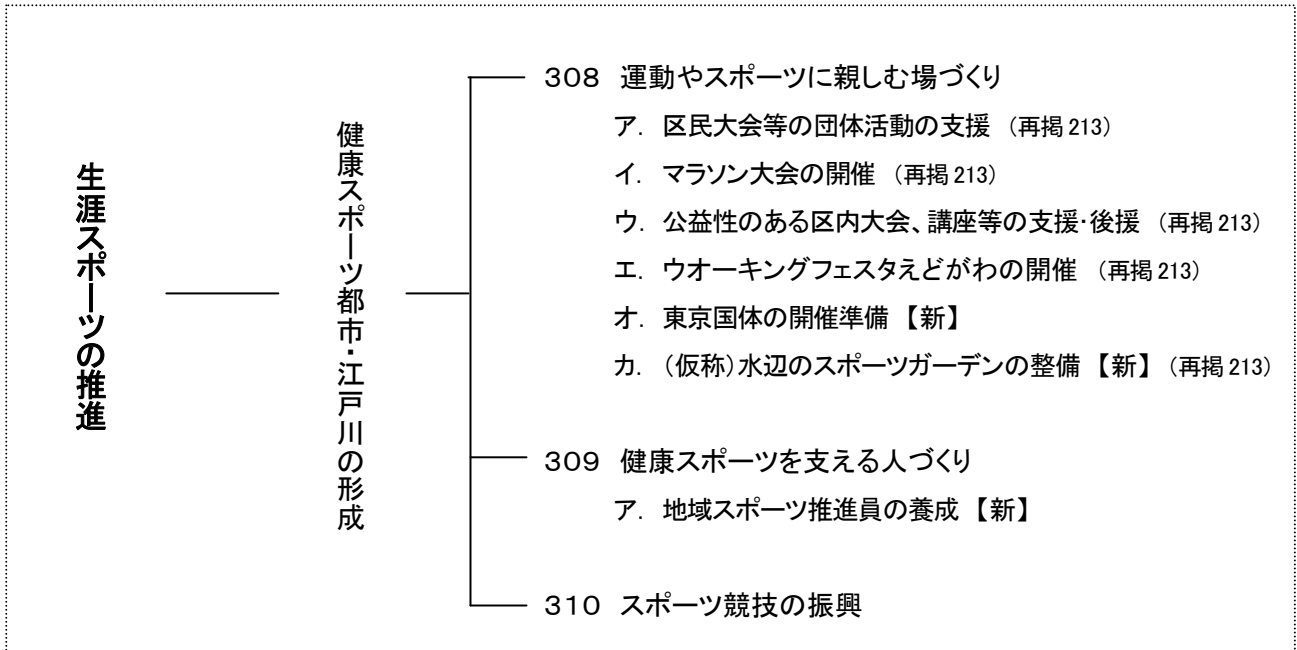
3 生涯スポーツの推進

【施策の考え方】

生活習慣病を予防し、心の健康を保ち、生涯にわたっていきいきと楽しく暮らすためには、そのもととなる身体
の健康づくりを進めることが不可欠であり、区民一人ひとりが体力、興味等に応じて生涯スポーツを続けることが
大切です。

江戸川区には、球場、陸上競技場等のスポーツ競技の本格的な施設をはじめ、河川敷の野球場、サッカー
グラウンド、健康の道、サイクリングロード等、健康づくり、スポーツの場等が多様に整えられています。今後さらに、
誰でもどこでも身近にスポーツを続けられる環境づくりを進めます。

【施策体系図】



(1)健康スポーツ都市・江戸川の形成

308 運動やスポーツに親しむ場づくり

区内大会の開催等のスポーツ活動を支援し、スポーツの振興を図ります。併せて、旧江戸川河川敷の活用を図り、区民のスポーツレクリエーション拠点となる「(仮称)水辺のスポーツガーデン」の整備を進めます。

また、平成 25 年に開催する東京国体の開催準備を進めます。

施策コード	308	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
区内大会等の団体活動の支援 再掲 213	支援	同左	同左	
事業費	3,746千円	3,746千円	3,746千円	
マラソン大会の開催 再掲 213	実行委員会による 大会運営	同左	同左	
事業費	4,500千円	4,500千円	4,500千円	
公益性のある区内大会、 講座等の支援・後援 再掲 213	支援・後援	同左	同左	
事業費	17,000千円	17,000千円	17,000千円	
ウォーキングフェスタ えどがわの開催 再掲 213	組織委員会による 大会運営	同左	同左	
事業費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
東京国体の開催準備 【新】	庁内連絡会議の設置	準備委員会 の設置及び開催	準備委員会の開催	
事業費	400千円	※※※千円	※※※千円	
(仮称)水辺のスポーツガーデン の整備 【新】 再掲 213	造成工事	供用開始及び運営	運営	
事業費	— 千円	※※※千円	※※※千円	

「—」:事業費は、身近な公園の整備(施策コード 106)の中で計上しています。

309 健康スポーツを支える人づくり

地域の健康スポーツ・レクリエーション活動を推進するため、地域スポーツ推進員の育成等の健康スポーツを支える人づくりに進めます。

施策コード	309	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
地域スポーツ推進員 の養成 【新】	中高年スポーツ教室 の実施	同左	同左	
事業費	928千円	928千円	928千円	

310 スポーツ競技の振興

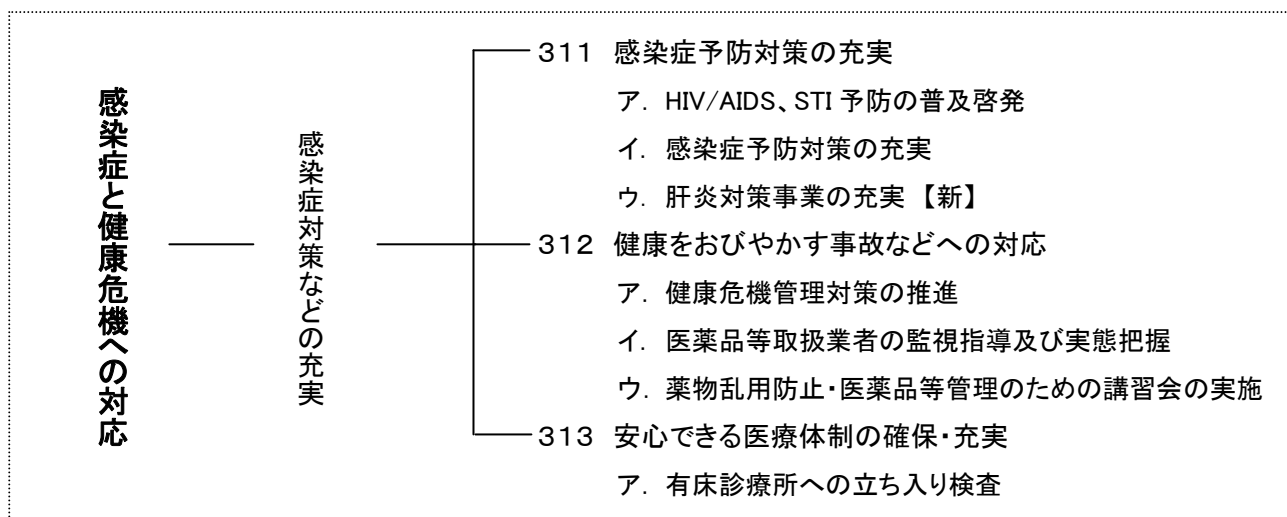
スポーツ競技の普及と水準の向上をめざし、関係団体と協力して区民大会等の開催を推進します。

4 感染症と健康危機への対応

【施策の考え方】

乳幼児のすこやかな成育を図るためには、麻疹、風疹等の予防接種率をさらに高めることが課題です。また、高齢の人々を中心とした、結核等の感染症に対する危険性の増加も危惧されます。さらに、エイズ、C型肝炎、病原性大腸菌等の対策も重要です。このような状況を踏まえ、健康危機の原因となる感染症等の情報を収集し、正しい知識及び情報の提供、予防方法の啓発等を行います。また、食品、飲料水等の事故の防止を図り、大規模食中毒等の健康危機等に、迅速に対応できる体制づくりを進めます。

【施策体系図】



(1) 感染症対策などの充実

311 感染症予防対策等の充実

HIV/AIDS*及び STI*、結核等の感染症の予防対策の充実を図るため、HIV 抗体迅速検査、結核健診等を実施するとともに、必要な情報の提供、相談支援等の体制の整備に努めます。特に、B 型及び C 型ウイルス肝炎については、その早期発見・治療を図るため、検診・受療の勧奨、保健指導等を実施します。

※ HIV (Human Immunodeficiency Virus)/AIDS: 後天性免疫不全症候群。HIV はその原因となる病原体。

※ STI (性感染症): 性行為により感染した疾患の総称。

施策コード	311	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
HIV/AIDS、STI 予防の普及啓発		HIV 抗体迅速検査の実施	同左	同左
		予防教育・予防啓発	同左	同左
事業費		4,665千円	4,665千円	4,665千円
感染症予防対策の充実		結核健診の実施	同左	同左
		DOTS*体制の整備 訪問型 DOTS*の実施	同左	同左
		情報提供	同左	同左
事業費		135,560千円	135,560千円	135,560千円

※ DOTS (直接服薬確認療法): WHO が推奨する患者の服薬を第三者が確認する治療法。

肝炎対策事業の充実 【新】	肝炎健診の実施	同左	同左
事業費	12,423千円	12,423千円	12,423千円

312 健康をおびやかす事故などへの対応

新型インフルエンザに対する初動体制における必要な機材を整備し、新たな感染症、大規模食中毒等に対して迅速に対応できるようマニュアルを見直すとともに、医療機関等の関係機関と連携を図りながら、必要な体制の整備を推進します。

また、薬局等で取り扱う医薬品、毒物・劇物の適切な管理について、立ち入り検査等を行い、必要な指導を行います。併せて、青少年に広がりつつある薬物乱用の防止のための啓発活動を充実し、健康被害の未然防止に努めます。

施策コード	312	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
健康危機管理対策の推進	マニュアルの改正			
	関係機関との連携を推進		同左	同左
事業費	7,432千円	600千円	600千円	
医薬品等取扱業者の監視指導及び実態把握	薬局・毒劇物販売業者等の監視指導	同左	同左	
事業費	2,547千円	2,547千円	2,547千円	
薬物乱用防止・医薬品等管理のための講習会の実施	薬局等講習会開催	同左	同左	
	薬物乱用防止推進大会の開催	同左	同左	
事業費	338千円	338千円	338千円	

313 安心できる医療体制の確保・充実

医療安全管理体制の整備、院内感染対策の実施等について、有床診療所の立ち入り検査を実施し、安心できる医療体制の確保に努めます。

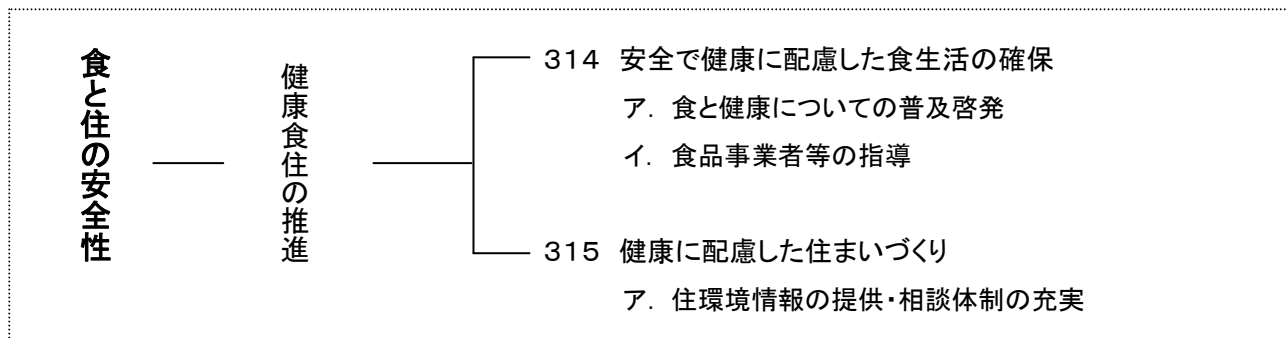
施策コード	313	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
有床診療所への立ち入り検査	15施設	同左	同左	
事業費	12千円	12千円	12千円	

5 食と住の安全性

【施策の考え方】

食品の安全性に対する関心が高まる一方、輸入食品の増大、遺伝子組み替え食品の普及等が進んでいます。このような状況を踏まえ、食をめぐる環境の変化を的確に捉えることにより、区民一人ひとりの食の安全の確保に取り組めます。また、住まいについても、区民の健康の維持・増進のうえで重要な役割を果たしています。しかし、建材に使用される化学物質、衛生害虫等による健康被害も生じており、わかりやすい情報の提供及び相談体制の充実を通じた、健康に配慮した住まいづくりを進めます。

【施策体系図】



(1)健康食住の推進

314 安全で健康に配慮した食生活の確保

食品の安全に関する情報提供を行うとともに、食品フォーラムの開催、ファミリーヘルス推進員の活動等を通じて、食と健康に関する啓発を図ります。併せて、食品衛生監視指導計画に基づき、食品提供事業者に対する食品添加物の検査等を行うとともに、適切な指導及び安全な食品提供の確保に努めます。

施策コード	314	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
食と健康についての普及啓発	食品フォーラム等の開催 年13回	同左	同左	
事業費	500千円	500千円	500千円	
食品事業者等の指導	業態別一斉指導 (73回 3, 145軒)	同左	同左	
事業費	19, 531千円	19, 531千円	19, 531千円	

315 健康に配慮した住まいづくり

健康で快適な住環境の確保を図るため、アレルギー性疾患の原因の一つであるダニアレルゲンに関する検査を実施する等、安全な住まいに関する啓発活動、相談支援等を行います。

施策コード	315	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
住環境情報の提供・相談体制の充実	ダニアレルゲン量検査 300件	同左	同左	
事業費	719千円	719千円	719千円	

〔2〕 高齢の人々・障害のある人々のために

- 1 高齢の人々の生きがいと健康
 - (1)「生涯現役」の環境づくり
 - (2)高齢の人々の健康づくり

- 2 高齢の人々の生活支援
 - (1)高齢の人々が安心できる生活支援
 - (2)介護サービスの充実

- 3 障害のある人々の生活支援
 - (1)障害に関する生活支援
 - (2)障害のある人々の自立的生活の環境づくり
 - (3)精神障害のある人々の社会復帰への支援

- 4 福祉のまちづくり
 - (1)ユニバーサルデザインの促進
 - (2)心のバリアフリーと福祉のネットワークづくり

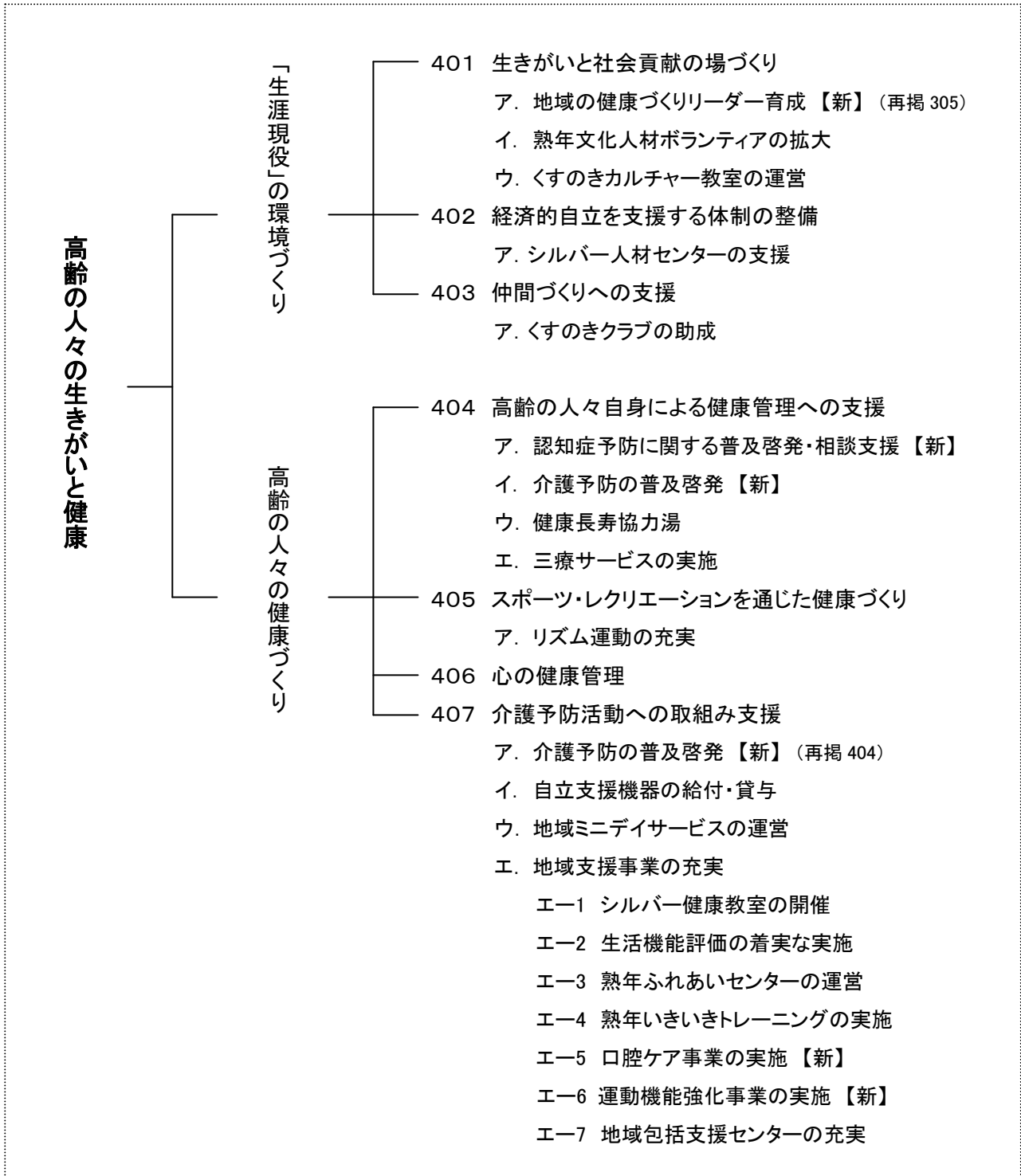
1 高齢の人々の生きがいと健康

【施策の考え方】

高齢の人々にとって、健康であるとともに、自己の経験を生かし「生涯現役」として、いつまでも活躍できることが、生きがいのある人生を送る上で重要な考え方の一つです。

区はこれまで、シルバー人材センターの生きがい就労事業、くすのきカルチャー教室等を通じた生きがいづくり、リズム運動等による健康づくり等を積極的に推進してきました。これらの取組みを踏まえながら、高齢の人々の生きがいにつながる社会貢献及び経済的な自立のためのしくみを整えるとともに、介護予防等を進め、健康で生きがいのある生活を支える施策の展開を図ります。

【施策体系図】



(1)「生涯現役」の環境づくり

401 生きがいと社会貢献の場づくり

食習慣改善、口腔ケア等の健康づくりについての総合的な学習の機会を提供するとともに、受講者の自主的な活動の立ち上げを支援することにより、地域の健康づくり活動を担うリーダーの育成に努めます。

また、熟年文化人材ボランティアについては、すすくすスクールを中心とした派遣先の拡大を図るとともに、積極的に広報活動を推進します。併せて、登録者の情報交換の場としての研修会等を開催します。

くすのきカルチャー教室については、自身の生きがい及び仲間づくりの支援を図るとともに、社会貢献活動のきっかけとなる学習の機会の提供に努めます。

施策コード	401	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
地域の健康づくりリーダーの育成【新】再掲 305	地域の健康づくりリーダーの育成支援	同左	同左	
事業費	124千円	124千円	124千円	
熟年文化人材ボランティアの拡大	登録者 60人	登録者 70人	登録者 80人	
事業費	110千円	115千円	120千円	
くすのきカルチャー教室の運営	正規教室 106 教室 自主活動教室 343 教室	正規教室 110 教室 自主活動教室 343 教室	同左	
事業費	240,000千円	240,000千円	240,000千円	

402 経済的自立を支援する体制の整備

会員数の増加に応じた就業の確保を図れるよう、民間企業への就業開拓、一般家庭での需要の掘り起こし等、シルバー人材センターの活動を支援します。

施策コード	402	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
シルバー人材センターの支援	会員数 3,800人 就業会員数 2,300人	会員数 3,900人 就業会員数 2,400人	会員数 4,000人 就業会員数 2,500人	
事業費	203,000千円	205,000千円	210,000千円	

403 仲間づくりへの支援

高齢の人々が地域において、健康で生きがいのある生活を送れるよう、くすのきクラブの活動を支援します。併せて、くすのきクラブの一層の活性化を図るため、リズム運動初心者教室等の機会を通じて、くすのきクラブに対する理解を深め、加入者の促進に努めます。

施策コード	403	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
くすのきクラブの助成	214クラブ	同左	同左	
事業費	57,256千円	57,256千円	57,256千円	

(2) 高齢の人々の健康づくり

404 高齢の人々自身による健康管理への支援

専門医による、もの忘れに関する相談を実施するとともに、認知症予防に関する講習会の開催、相談支援等を行い、認知症の予防に努めます。併せて、運動・栄養指導、口腔ケア、閉じこもり予防等に関する講座等を開催し、熟年者の生活機能の低下の防止を図ります。

また、65歳以上の熟年者を対象に、入浴料金の半額程度で公衆浴場を利用できるよう入浴証を発行し、健康増進及び世代間の交流を促進します。併せて、75歳以上の熟年者に三療(鍼、灸、マッサージ)の施術が受けられる三療券(65歳以上の熟年者には割引券)を贈呈し、熟年者の健康保持・増進を図ります。

施策コード	404	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
認知症予防に関する普及啓発・相談支援【新】	教室・相談・講習会等の実施	同左	同左	
事業費	530千円	530千円	530千円	
介護予防の普及啓発【新】	口腔ケア、栄養、運動指導等の健康講座・教室の開催	同左	同左	
事業費	285千円	285千円	285千円	
健康長寿協力湯	利用者数 延 1, 222, 000人	利用者数 延 1, 235, 000人	利用者数 延 1, 248, 000人	
事業費	230, 371千円	230, 371千円	230, 371千円	
三療サービスの実施	利用枚数 延 95, 000枚	同左	同左	
事業費	218, 570千円	218, 720千円	218, 945千円	

405 スポーツ・レクリエーションを通じた健康づくり

熟年者の生きがい及び仲間づくりの支援を図るとともに、介護予防を推進するため、リズム運動の参加人員の拡大に努めます。

施策コード	405	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
リズム運動の充実	参加実人員 10, 500人	参加実人員 10, 750人	参加実人員 11, 000人	
事業費	132, 000千円	132, 000千円	132, 000千円	

406 心の健康管理

高齢の人々が感じる老いへの不安、孤独感等に、きめ細かく対応する相談体制を整備します。

407 介護予防活動への取組み支援

介護が必要となる状態を予防するとともに、介護が必要となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するため、地域支援事業等の充実を図ります。

施策コード		407	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
介護予防の普及啓発【新】 再掲 404		口腔ケア・栄養・ 運動指導等 の健康講座・教室の開催	同左	同左	
事業費		285千円	285千円	285千円	
自立支援機器 の給付・貸与		歩行車等 1, 200台	歩行車等 1, 260台	歩行車等 1, 320台	
事業費		13, 143千円	13, 800千円	14, 490千円	
地域ミニデイサービスの 運営		29か所	31か所	33か所	
事業費		1, 820千円	2, 150千円	2, 480千円	
地域支援事業※の 充実	シルバー健康教室 の開催	実施	プログラムの見直し	同左	
	事業費	964千円	※※※千円	※※※千円	
	生活機能評価 の着実な実施	65歳以上の熟年者 (要介護認定者を除く) 全員を対象に実施※	同左	同左	
	事業費	112, 386千円	112, 386千円	112, 386千円	
	熟年ふれあいセンター の運営	4か所 (48クラス)	同左	同左	
	事業費	258, 509千円	258, 509千円	258, 509千円	
	熟年いきいき トレーニングの実施	延29, 390人	延30, 800人	延32, 300人	
	事業費	105, 156千円	110, 414千円	115, 935千円	
	口腔ケア事業 の実施【新】	歯科医師会による口腔 ケアプログラムの実施	同左	同左	
	事業費	5, 000千円	5, 000千円	5, 000千円	
運動機能強化事業 の実施【新】	延240人	同左	同左		
事業費	2, 016千円	2, 016千円	2, 016千円		

※ 特定健診又は区民基本健診と併せて実施。ただし、被用者医療保険被保険者については生活機能評価のみを実施。

※ 地域支援事業：介護が必要となるおそれのある方等に介護予防、相談支援等を実施する介護保険制度の事業。

地域支援事業※の充実	地域包括支援センターの充実	新設【新】	平井・小松川圏域		
		事業費	5,294千円		
		総合相談の実施	14か所	同左	同左
		事業費	26,488千円	26,488千円	26,488千円
		介護予防相談会の開催	14か所	同左	同左
		事業費	8,100千円	8,100千円	8,100千円
		介護予防教室の開催	14か所	同左	同左
		事業費	4,374千円	4,374千円	4,374千円

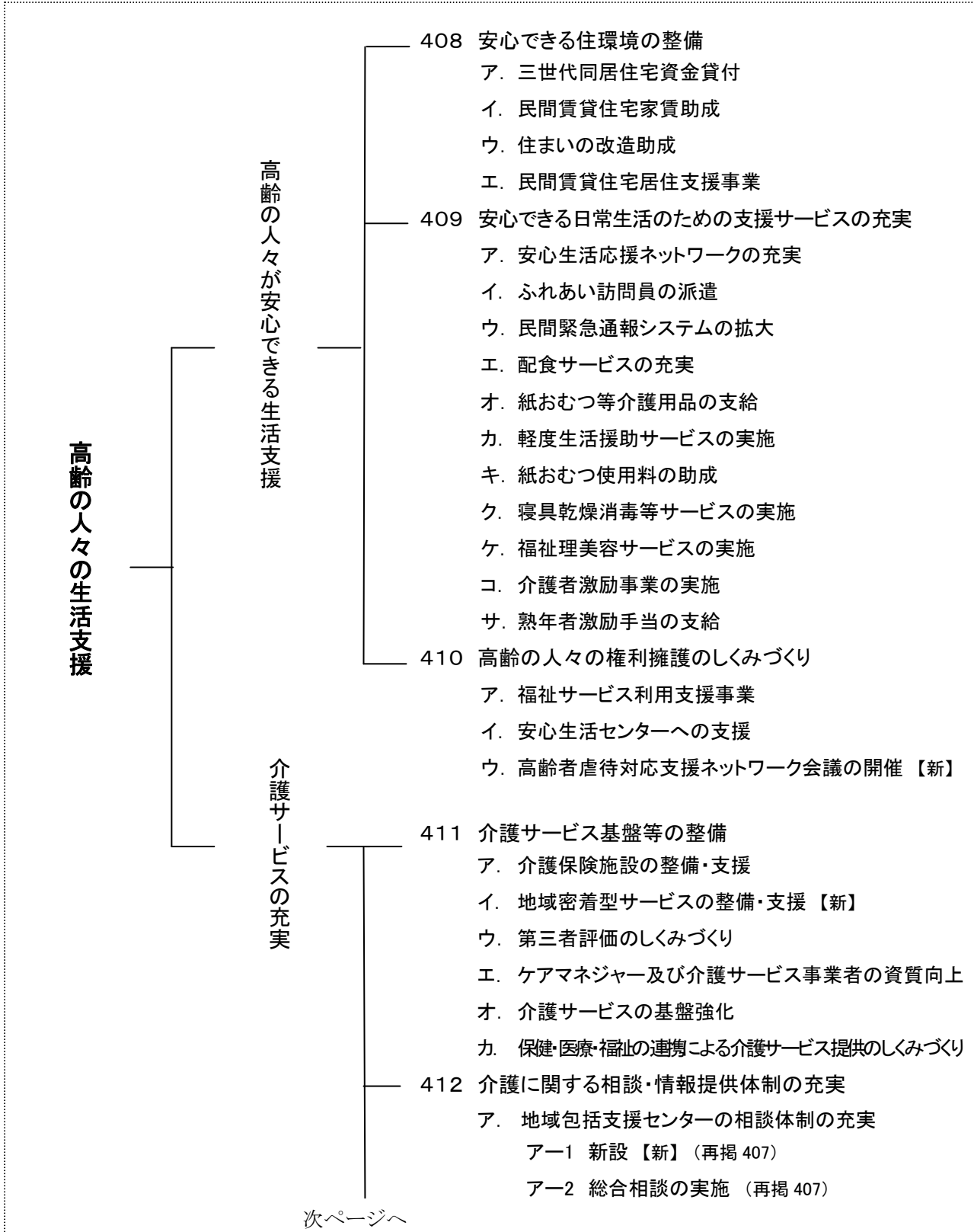
※ 地域支援事業：介護が必要となるおそれのある方等に介護予防、相談支援等を実施する介護保険制度の事業。

2 高齢の人々の生活支援

【施策の考え方】

高齢の人々が、日常生活を安心して送れるようきめ細かな支援を行います。また、介護が必要となったときに、住み慣れた地域で安心して生活していくことができるよう、介護サービスの基盤整備を進めるとともに、保健・医療・福祉の一体的なサービス提供のしくみづくり、介護の相談体制の充実等を図り、適切なサービスが提供できる体制を整備します。

【施策体系図】



前ページより

介護サービスの充実

ア-3 介護予防相談会の開催（再掲 407）

ア-4 24時間電話介護相談

ア-5 認知症地域ネットワーク活用事業

413 介護に関する人材・ボランティア団体の育成

414 認知症の高齢の人々に対する支援の充実

ア. 認知症予防に関する普及啓発・相談支援【新】（再掲 404）

イ. 地域密着型サービスの整備・支援【新】（再掲 411）

ウ. 福祉サービス利用支援事業（再掲 410）

エ. 安心生活センターへの支援（再掲 410）

オ. 第三者評価のしくみづくり（再掲 411）

カ. 認知症地域ネットワーク活用事業（再掲 412）

（1）高齢の人々が安心できる生活支援

408 安心できる住環境の整備

熟年者が住み慣れた地域にいつまでも安心して住み続けられるよう、その状態に応じた多様な住まいの普及・整備の促進に努めるとともに、三世帯同居住宅貸付※、民間賃貸住宅家賃助成※、民間賃貸住宅居住支援事業※等の実施を推進することにより、熟年者の住まいの確保・改善等を図ります。

※三世帯同居住宅資金貸付：熟年者と同居または同居しようとする人が、住宅を新築・購入・増改築する場合、資金を融資することで、熟年者との同居促進とバリアフリー住宅の普及を図る。

※民間賃貸住宅家賃助成：建物の取り壊し等で家主から転居を迫られた熟年者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、緊急処置として住み替え家賃の差額を助成する。

※民間賃貸住宅居住支援事業：保証人がいないため賃貸住宅に入居できない熟年者に対して、民間会社の債務保証制度や緊急通報システムを活用し、安定した賃貸住宅市場の整備を図る。

施策コード	408	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
三世帯同居住宅資金貸付		15件	同左	同左
事業費		91,107千円	91,107千円	91,107千円
民間賃貸住宅家賃助成		305件	同左	同左
事業費		120,658千円	120,658千円	120,658千円
住まいの改造助成		120件	同左	同左
事業費		43,786千円	43,786千円	43,786千円
民間賃貸住宅居住支援事業		15件	20件	同左
事業費		170千円	170千円	170千円

409 安心できる日常生活のための支援サービスの充実

民生委員、地域包括支援センター等と連携を図りながら、目配りが必要な熟年者の安否確認等を行う地域ネットワーク体制の充実を図るとともに、民間緊急通報システムを活用し、熟年者が住み慣れた地域にいつまでも安心して住み続けられる体制づくりに努めます。

また、食事づくりが困難な熟年者に対する配食サービスを充実するとともに、要介護認定を自立と判定された単身等の熟年者については、買物、掃除等の軽度生活支援援助サービスを提供し、自立した生活を支援します。

さらに60歳以上の失禁のある方について、紙おむつ等の介護用品を支給又はおむつ使用料の助成を行います。

加えて、寝たきりの方及びその家族を激励するため、熟年者激励手当の支給等を行うとともに、熟年者激励手当の受給者に対して寝具の乾燥消毒及び理美容サービスを提供します。

施策コード	409	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
安心生活応援ネットワークの充実	運営体制の充実	同左	同左	
事業費	670千円	670千円	670千円	
ふれあい訪問員の派遣	訪問員数 170人 対象世帯の拡大	訪問員数 175人 対象世帯の拡大	訪問員数 180人 対象世帯の拡大	
事業費	5,572千円	5,572千円	5,572千円	
民間緊急通報システムの拡大	設置数 950か所	設置数 960か所	設置数 970か所	
事業費	13,703千円	14,045千円	14,387千円	
配食サービスの充実	一般向け配食 利用者 375人/月	一般向け配食 利用者 390人/月	一般向け配食 利用者 410人/月	
	虚弱者向け配食 利用者 500人/月	虚弱者向け配食 利用者 525人/月	虚弱者向け配食 利用者 550人/月	
事業費	45,820千円	48,111千円	50,517千円	
紙おむつ等介護用品の支給	延 50,400人	延 53,000人	延 55,600人	
事業費	349,715千円	367,201千円	385,562千円	
軽度生活援助サービスの実施	延90人	同左	同左	
事業費	600千円	600千円	600千円	
紙おむつ使用料の助成	延5,570人	延5,850人	延べ6,150人	
事業費	42,687千円	44,822千円	47,064千円	

寝具乾燥消毒等サービスの実施	延3,300人	延3,470人	延3,650人
事業費	8,262千円	8,676千円	9,110千円
福祉理美容サービスの実施	延2,750人	延2,890人	延3,040人
事業費	14,563千円	15,292千円	16,057千円
介護者激励事業の実施	延3,800人	延3,990人	延べ4,190人
事業費	6,186千円	6,496千円	6,821千円
熟年者激励手当の支給	延1,606人	延1,652人	延1,703人
事業費	568,755千円	557,885千円	554,729千円

410 高齢の人々の権利擁護のしくみづくり

社会福祉協議会の安心生活センターを権利擁護の中心的な機関として位置づけ、判断能力に不安のある熟年者が安心して福祉サービスの利用、資産管理等を行えるよう支援します。

併せて、福祉サービスの利用相談、苦情解決相談、成年後見制度*の利用相談及び区長申立てに係る事務を社会福祉協議会に委託実施します。

また、高齢者虐待等に迅速に対応するため、関係機関と連携した、高齢者虐待対応支援ネットワークを構築し、その適切な運営を図ります。

※成年後見制度:判断能力の不十分な認知症高齢者や知的障害のある人、精神障害のある人等を保護するための民法上の制度。

施策コード	410	年次計画		
事業計画の内容		20年度	21年度	22年度
福祉サービス利用支援事業	相談事業等の充実		同左	同左
	区長申立て 15件		区長申立て 18件	区長申立て 20件
事業費		2,358千円	2,704千円	2,934千円
安心生活センターへの支援	安心生活サポート事業 20件		安心生活サポート事業 25件	安心生活サポート事業 30件
	法人後見事業 10件		法人後見事業 12件	法人後見事業 14件
事業費		5,728千円	6,500千円	7,250千円
高齢者虐待対応支援ネットワーク会議の開催 【新】	高齢者虐待対応支援ネットワーク会議の設立及び開催		高齢者虐待対応支援ネットワーク会議の開催	同左
事業費		480千円	※※※千円	※※※千円

(2) 介護サービスの充実

411 介護サービス基盤等の整備

「江戸川区介護保険事業計画」に基づき、適切な介護サービスの基盤整備を支援します。併せて、地域密着型サービス事業者に対する第三者評価の実施の支援、介護支援専門員及び介護サービス事業者に対する研修等を実施し、介護サービスの質の向上に努めます。

施策コード	411	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
事業計画の内容				
介護保険施設の整備・支援	介護老人保健施設の新設(着工)	介護老人保健施設の新設(竣工)	整備支援	
事業費	150,000千円	※※※千円	※※※千円	
地域密着型サービスの整備・支援【新】	小規模多機能型居宅介護等の整備	整備支援	整備支援	
事業費	100,000千円	※※※千円	※※※千円	
第三者評価のしくみづくり	地域密着型サービス第三者評価受審費用助成	同左	同左	
事業費	14,100千円	14,100千円	14,100千円	
ケアマネジャー及び介護サービス事業者の資質の向上	研修 年間25回	同左	同左	
事業費	6,438千円	6,438千円	6,438千円	
介護サービスの基盤強化	地域密着型サービス事業者連絡会の設立の支援	地域密着型サービス事業者連絡会の運営の支援	同左	
事業費	60千円	※※※千円	※※※千円	
保健・医療・福祉の連携による介護サービス提供のしくみづくり	介護連絡ノートの普及・推進	同左	同左	
事業費	176千円	176千円	176千円	

412 介護に関する相談・情報提供体制の充実

地域包括支援センターを平井・小松川圏地区に新設するとともに、各地域包括支援センターにおける介護に関する総合相談支援の体制を整備します。

また、江戸川区医師会に委託する地域包括支援センター内において、認知症の熟年者を介護する家族の相談等の「もの忘れ相談」を実施するとともに、認知症の早期発見及び治療につなげるため、江戸川区医師会のもの忘れ外来等関係機関と連携を図ります。

施策コード		412	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
地域包括支援センターの相談体制の充実	新設【新】 再掲 407	平井・小松川圏域			
	事業費	5,294千円	千円	千円	
	総合相談 の実施 再掲 407	14か所	同左	同左	
	事業費	26,488千円	26,488千円	26,488千円	
	介護予防相談会 の開催 再掲 407	14か所	同左	同左	
	事業費	8,100千円	8,100千円	8,100千円	
	24時間電話介護相談	2か所	同左	同左	
	事業費	7,200千円	7,200千円	7,200千円	
	認知症地域ネットワーク 活用事業	区医師会内地域包括 支援センターにて実施	同左	同左	
	事業費	10,735千円	10,735千円	10,735千円	

413 介護に関する人材・ボランティア団体の育成

ボランティアセンターとの連携を図りながら、介護に関する人材・ボランティア団体を育成します。

414 認知症の高齢の人々に対する支援の充実

認知症の早期の適切な診断及び対応、認知症に関する知識と理解に基づく本人及びその家族への適切な支援、認知症ケアに関するサービスの確保及びその質の向上等を通じ、地域における総合的かつ継続的な支援体制を構築することに努めます。

施策コード	414	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
認知症予防に関する普及啓発・相談支援【新】 再掲 404	教室・相談・講習会等の実施	同左	同左	
事業費	530千円	530千円	530千円	
地域密着型サービスの整備・支援【新】再掲 411	小規模多機能型居宅介護等の整備	整備支援	整備支援	
事業費	100,000千円	※※※千円	※※※千円	
福祉サービス利用支援事業 再掲 410	相談事業等の充実	同左	同左	
	区長申立て 15件	区長申立て 18件	区長申立て 20件	
事業費	2,358千円	2,704千円	2,934千円	
安心生活センターへの支援 再掲 410	安心生活サポート事業 20件	安心生活サポート事業 25件	安心生活サポート事業 30件	
	法人後見事業 10件	法人後見事業 12件	法人後見事業 14件	
事業費	5,728千円	6,500千円	7,250千円	
第三者評価のしくみづくり 再掲 411	地域密着型サービス 第三者評価受審費用助成	同左	同左	
事業費	14,100千円	14,100千円	14,100千円	
認知症地域ネットワーク活用事業 再掲 412	区医師会内地域包括支援センターにて実施	同左	同左	
事業費	10,735千円	10,735千円	10,735千円	

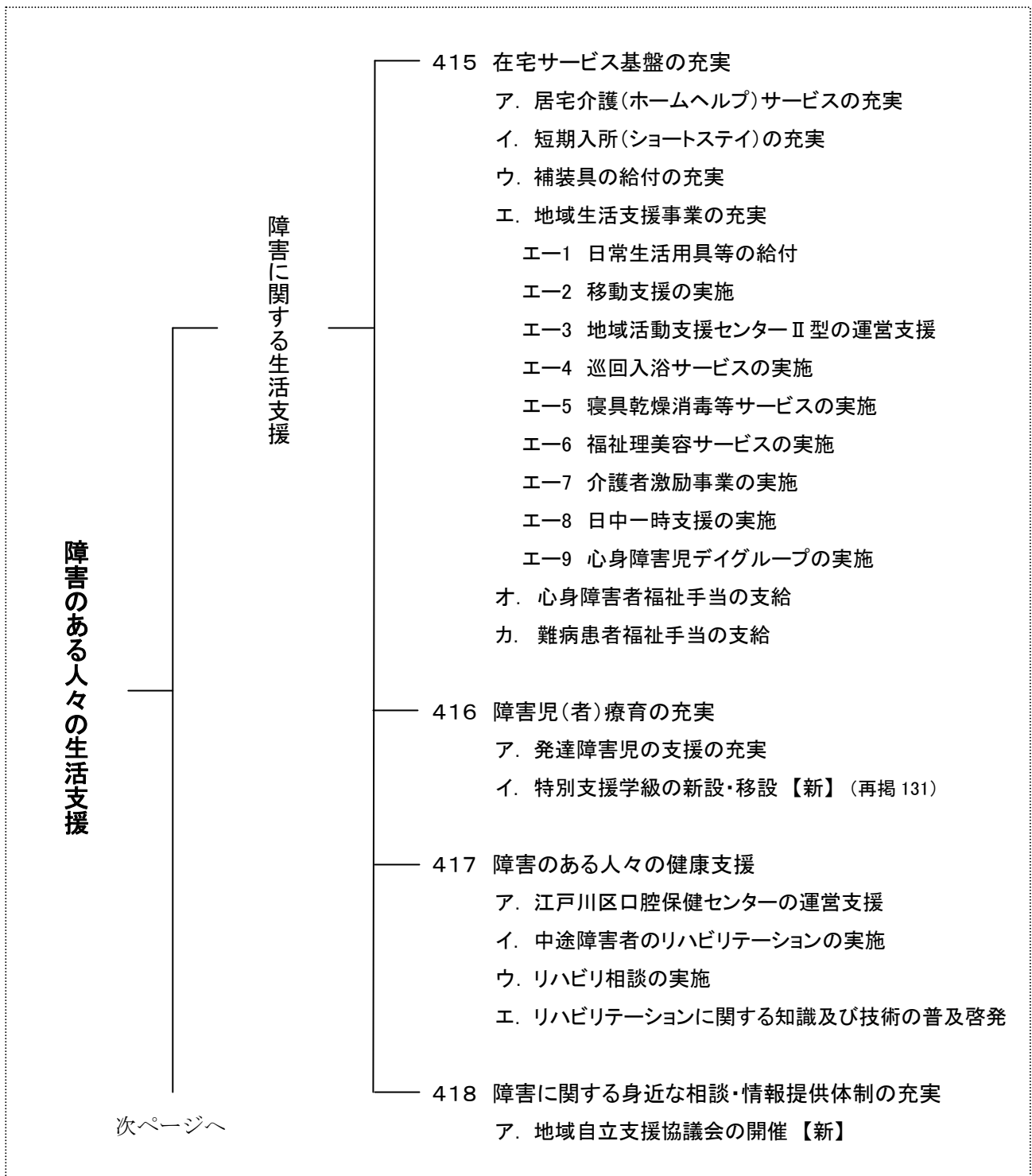
3 障害のある人々の生活支援

【施策の考え方】

身体、知的及び精神障害のある人々とその家族が、地域の中で自立して生活ができ、安心して毎日が暮らせるよう、地域生活支援の充実を図ります。また、生きがいをもって生活を営める環境を整えるため、職業訓練や就労の場づくり、安心して住める多様な住宅の整備、施設の充実等を進めます。

特に精神障害のある人々については、地域生活を支援するサービスの基盤整備を図り、医療と連携した生活相談、訓練等を通じた社会復帰を支援します。

【施策体系図】



次ページへ

前ページより

障害のある人々の
自立的
生活の環境づくり

419 職業訓練と就労の場づくり

- ア. 障害者就労支援センターの充実
- イ. 民間福祉作業所の運営支援

420 生きがいと社会貢献の場づくり

- ア. 福祉タクシー券の給付
- イ. 自動車燃料費の助成

421 障害のある人々が安心して住める多様な住宅の整備

- ア. グループホーム等の運営支援
- イ. 民間賃貸住宅家賃助成
- ウ. 住まいの改造助成
- エ. 心身障害者住宅整備資金貸付

422 身近な地域での施設整備

- ア. さくらの家の整備【新】
- イ. 希望の家等の充実
- ウ. 区立知的障害者施設に係る指定管理者導入計画

精神障害のある人々の
社会復帰への支援

423 自助グループなどへの支援

424 社会復帰への支援

- ア. 居宅介護(ホームヘルプ)サービスの充実
- イ. 地域活動支援センター I 型の運営支援
- ウ. グループホーム及び福祉ホームの運営支援
- エ. 共同作業所の運営支援
- オ. 心の専門グループワークの実施
- カ. 退院促進事業の推進【新】
- キ. 就労支援の推進

425 精神障害のある人々についての理解促進

- ア. 啓発活動及びネットワークの構築

(1)障害に関する生活支援

415 在宅サービス基盤の充実

障害者の社会参加の促進及び生活の質の向上を図るため、「江戸川区障害福祉計画」に基づき、障害福祉サービスの基盤整備の支援及び地域生活支援事業の充実に努めます。

施策コード		年次計画		
415		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
居宅介護(ホームヘルプ) サービスの充実		サービス量 月28h×773人	サービス量 月28h×790人	サービス量 月28h×810人
事業費		740,945千円	757,300千円	776,500千円
短期入所(ショートステイ)の充実		延 9,050日	同左	同左
事業費		103,313千円	103,313千円	103,313千円
補装具の給付の充実		2,350件	同左	同左
事業費		152,434千円	152,434千円	152,434千円
地域生活支援事業※の充実	日常生活用具等の給付	9,130件	9,400件	9,700件
	事業費	136,127千円	138,827千円	141,827千円
	移動支援の実施	月17h×345人	月17h×352人	月17h×360人
	事業費	158,461千円	161,674千円	165,346千円
	地域活動支援センターⅡ型※の運営支援	利用者 245人	利用者 250人	利用者 255人
	事業費	58,998千円	60,198千円	61,398千円
	巡回入浴サービスの実施	延 5,880回	同左	同左
	事業費	51,450千円	51,450千円	51,450千円
	寝具乾燥消毒等サービスの実施	延 430人	延 444人	延 458人
	事業費	978千円	1,008千円	1,038千円
	福祉理美容サービスの実施	延 1,500人	延 1,520人	延 1,540人
	事業費	8,037千円	8,144千円	8,248千円

地域生活支援事業※の充実	介護者激励事業の実施	延 1,500人	同左	同左
	事業費	1,365千円	1,365千円	1,365千円
	日中一時支援の実施	延 500日	同左	同左
	事業費	6,263千円	6,263千円	6,263千円
	心身障害児 デイグループの実施	利用者53人	利用者58人	同左
	事業費	9,006千円	10,006千円	10,006千円
心身障害者福祉手当の支給	12,500人	同左	同左	
事業費	1,748,009千円	1,748,009千円	1,748,009千円	
難病患者福祉手当の支給	5,160人	5,180人	5,200人	
事業費	745,169千円	748,120千円	751,000千円	

※ 地域生活支援事業: 相談支援、情報提供、日常生活用具の給付又は貸与、移動支援、通所による創作的活動等の提供等、地域の実情に応じて、障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な事業

※ 地域活動支援センターⅡ型: 創作的活動等の提供等の他に、機能訓練、社会的適応訓練、入浴等のサービスを実施する機関。

416 障害児(者)療育の充実

幼児健診、乳幼児経過観察健診等に加え、関係機関との連携を深めつつ、発達障害に関する相談、親子グループ等の事業の支援等を充実します。併せて、LD※、ADHD※、高機能自閉症※等を含めた障害を有する児童・生徒一人ひとりに応じた、適切な教育支援を行います。

また、児童数の増加に伴い、知的障害学級の新設及び情緒障害学級の新設・再配置を行います。

※ LD(Learning Disabilities): 学習障害(基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの)。

※ ADHD(Attention Deficit / Hyperactivity Disorder): 注意欠陥/多動性障害(不注意、多動性及び衝動性を中心とした症状とする発達障害)。

※ 高機能自閉症: 他人との社会的関係の形成の困難さ、言葉の発達の遅れ、興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害である自閉症のうち、知的発達の遅れを伴わないもの。

施策コード	416	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
発達障害児の支援の充実	相談・啓発事業の実施 984回	相談・啓発事業の実施 990回	相談・啓発事業の実施 1,000回	
	発達障害児の 親子グループへの支援	同左	同左	
	関係機関との連携強化	同左	同左	
事業費	16,515千円	16,580千円	16,680千円	

特別支援学級の新設・移設 【新】再掲 131	知的障害学級の設置 (二之江中学校) 情緒障害学級新設 の準備	情緒障害学級の設置 (松江及び小岩地区) 情緒障害学級の廃止 (二之江中学校)	
事業費	56,400千円	0千円	

417 障害のある人々の健康支援

障害者(児)の歯科診療を行うため、歯科医師会と連携して、江戸川区口腔保健センターの運営を支援します。また、理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士が、疾病や加齢により身体に障害のある区民のリハビリテーションに関する相談・支援を行います。

施策コード	417	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
江戸川区口腔保健センター の運営支援	受診計画数 2,200人	同左	同左	
事業費	85,900千円	85,900千円	85,900千円	
中途障害者 のリハビリテーションの実施 (自立支援セミナーの実施)	リハビリ教室の実施 66回	同左	同左	
事業費	1,697千円	1,697千円	1,697千円	
リハビリ相談の実施	相談日 36回	同左	同左	
事業費	933千円	933千円	933千円	
リハビリテーションに関する 知識及び技術の普及啓発	講習会 3回	同左	同左	
事業費	143千円	143千円	143千円	

418 障害に関する身近な相談・情報提供体制の充実

区内の障害福祉等の関係機関と連携しながら、適切な情報提供に努めます。併せて、地域自立支援協議会を運営し、障害者に関する施策の推進に関して、関係機関相互の連絡調整等を図ります。

施策コード	418	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
地域自立支援協議会の開催 【新】	2回	同左	同左	
事業費	473千円	473千円	473千円	

(2)障害のある人々の自立的生活の環境づくり

419 職業訓練と就労の場づくり

一般就労への移行を推進するため、「江戸川区障害福祉計画」に基づき、企業、養護学校、公共職業安定所等の関係機関との連携を図りながら、就労支援等に努めます。

また、運営基盤の安定化等を図るため、障害者自立支援法に基づく、民間福祉作業所の円滑な再編成等を支援します。

施策コード	419	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
障害者就労支援センターの充実	就労支援	同左	同左	
事業費	45,422千円	45,422千円	45,422千円	
民間福祉作業所の運営支援	新体系移行等の支援	同左	同左	
事業費	189,540千円	※※※千円	※※※千円	

420 生きがいと社会貢献の場づくり

障害者の自立と社会参加の拡大を図るため、外出困難な身体又は知的障害者に対し、タクシーの乗車に係る料金の一部を助成するとともに、一定の障害を有する身体障害者が自ら使用する自動車、一定の障害を有する身体障害又は知的障害者(児)の介護者が運転する自動車燃料費の一部を助成します。

施策コード	420	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
福祉タクシー券の給付	6,800人	6,900人	7,000人	
事業費	385,983千円	391,383千円	396,783千円	
自動車燃料費の助成	1,680人	1,690人	1,700人	
事業費	53,154千円	53,685千円	54,222千円	

421 障害のある人々が安心して住める多様な住宅の整備

障害者が、住み慣れた地域でいつまでも安心して生活が続けられるよう、グループホーム等の運営支援を行います。また、住まいの改造等、住居の整備を支援します。

施策コード	421	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
グループホーム等の運営支援		20か所	23か所	26か所
事業費		147,479千円	166,970千円	186,461千円
民間賃貸住宅家賃助成		32件	34件	36件
事業費		13,562千円	14,252千円	15,190千円
住まいの改造助成		24件	27件	30件
事業費		25,208千円	28,408千円	31,608千円
心身障害者住宅整備資金貸付		3人	同左	同左
事業費		15,152千円	15,152千円	15,152千円

422 身近な地域での施設整備

小松川地区に、生活介護及び自立訓練を実施する知的障害者向けの施設を新設します。

また、区立知的障害者向け施設の定員増及びサービスの質の向上を図ります。併せて、障害福祉サービスの需要に柔軟に対応するとともに、その質の向上を図るため、区立障害者施設において指定管理者制度の導入を推進します。

施策コード	422	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
さくらの家の整備【新】		工事	開設・運営	運営
事業費		490,823※千円	— 千円	— 千円
希望の家等の充実		407名	469名 (さくらの家を含む)	同左
事業費		1,312,447千円	1,612,447千円	1,612,447千円
区立知的障害者施設に係る指定管理者導入計画		指定管理者の選定 〔 新規施設 1か所 更新施設 2ヶ所 〕	既存施設の導入準備	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

※平成19年度補正予算措置。

「—」:事業費は、希望の家等の充実(施策コード422)の中で計上しています。

(3)精神障害のある人々の社会復帰への支援

423 自助グループなどへの支援

情報交換等を行う場の設置等、自助グループ、家族会等の活動を支援します。

424 社会復帰への支援

精神障害者の社会復帰の促進を図り、その自立と社会活動の参加を支援するため、地域活動支援センター、グループホーム等の運営支援、退院に係る関係機関との連絡調整、就労支援等を実施します。

施策コード	424	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
居宅介護(ホームヘルプ)サービスの充実	支給決定体制の整備・充実	同左	同左	
事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円	
地域活動支援センター I 型※の運営支援	2か所	同左	同左	
事業費	42,064千円	42,064千円	42,064千円	
グループホーム及び福祉ホームの運営支援	運営支援	同左	同左	
事業費	7,134千円	7,134千円	7,134千円	
共同作業所の運営支援	6か所	同左	同左	
事業費	137,951千円	137,951千円	137,951千円	
心の専門グループワークの実施	8か所	同左	同左	
事業費	17,319千円	17,319千円	17,319千円	
退院促進事業の推進【新】	(仮称)精神障害者退院促進連絡調整会議の設置	(仮称)精神障害者退院促進連絡調整会議の運営	同左	
	事業実施	同左	同左	
事業費	45千円	45千円	45千円	
就労支援の推進	精神障害者就労支援会議の運営	同左	同左	
	事業実施	同左	同左	
事業費	278千円	278千円	278千円	

※ 地域活動支援センター I 型: 創作的活動等の提供等の他に、精神保健福祉士等を配置し、関係機関等との連携を図りながら、相談支援等を実施する機関。

「-」: 事業費は、居宅介護(ホームヘルプ)サービスの充実(施策コード 415)の中で計上しています。

425 精神障害のある人々についての理解促進

精神障害に関する理解の促進を図るとともに、関係機関と連携しながら、精神障害者が地域で生活するための支援体制づくりを推進します。

施策コード	425	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
啓発活動 及びネットワークの構築	精神保健福祉講演会	同左	同左	
	ボランティア講座	同左	同左	
事業費	355千円	355千円	355千円	

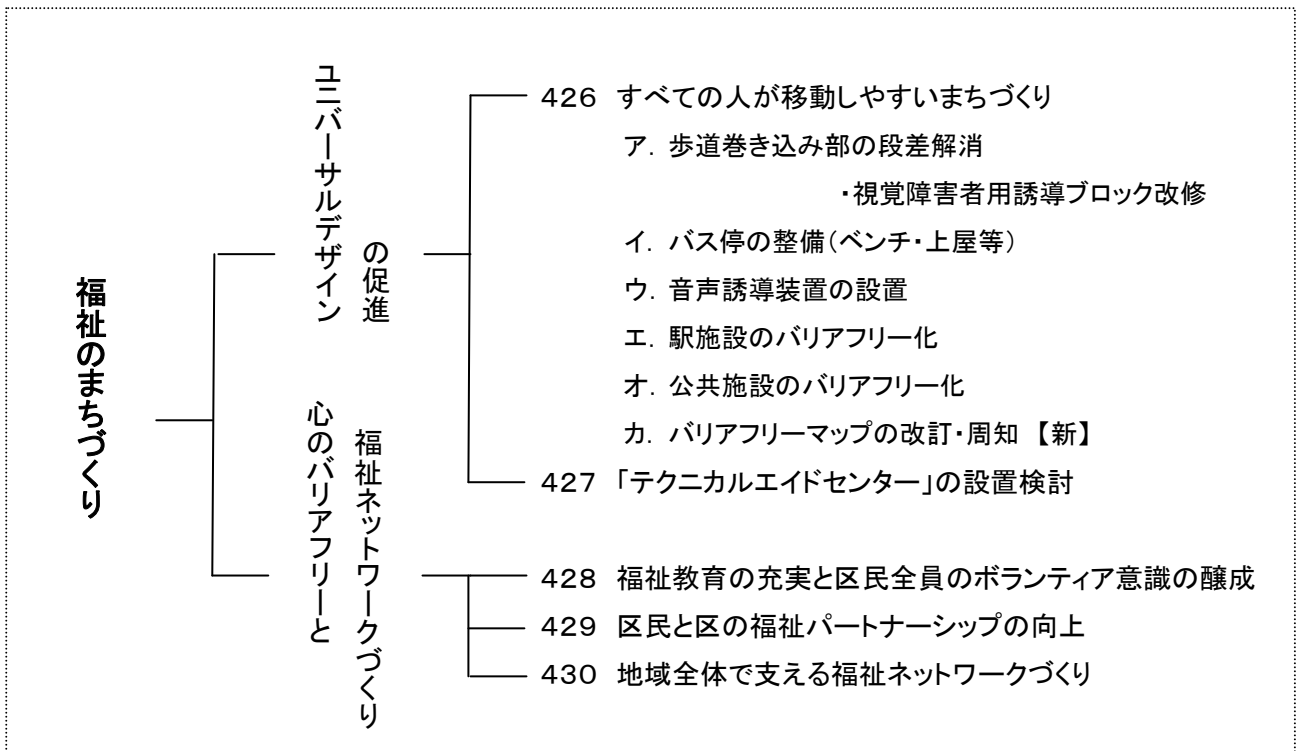
4 福祉のまちづくり

【施策の考え方】

歩道の拡幅、道路段差の解消、公共施設のバリアフリー化等を推進し、年齢、障害の有無等に関わりなく、区民誰もが活動の場を広げ、社会参加のしやすいまちづくりを進めます。

また、すべての区民がたすけあい、支えあい、ともに生きる社会をつくるために、子どもの頃から福祉の関心を高めるよう地域社会、学校、職場等のあらゆる場で心のバリアフリーを推進し、区民全員のボランティア意識の醸成、福祉ネットワークの形成等に取り組みます。

【施策体系図】



(1)ユニバーサルデザイン※の促進

426 すべての人が移動しやすいまちづくり

バリアフリー※のまちづくりを進めるために、歩道巻き込み部の段差解消・視覚障害者用誘導ブロック改修、音声誘導装置の設置、バス停の整備等を推進するとともに、エレベーター、自動扉の設置等のバリアフリー化を推進します。また、バリアフリーマップの改訂版を作成し、その周知及び活用に努めます。

併せて、誰もが利用しやすく快適に移動できる駅の整備を、鉄道事業者に要請します。

※ユニバーサルデザイン:年齢、性別、能力の有無などにかかわらず、どんな人でも使えるように設計されたデザイン。

※バリアフリー:人が生活する上で妨げとなる障害(バリア)が街、施設、道路、住宅、人々の意識、社会などから取り除かれた状態。

施策コード	426	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
歩道巻き込み部の段差解消		道路改修箇所に	同左	同左
視覚障害者用誘導ブロックの改修		併せて改修		
事業費		25,500千円	25,500千円	25,500千円

バス停の整備 (ベンチ・上屋等)	3か所	6か所	同左
事業費	8,600千円	17,200千円	17,200千円
音声誘導装置の設置	8基	同左	同左
事業費	8,400千円	8,400千円	8,400千円
公共施設のバリアフリー化	エレベーター設置 2施設	エレベーター設置 1施設	同左
事業費	90,000千円	45,000千円	45,000千円
バリアフリーマップ の改訂・周知【新】	バリアフリーマップ 改訂版作成・周知・配布	周知・配布	同左
事業費	3,885千円	0千円	0千円

427 「テクニカルエイドセンター」の設置検討

福祉器具の展示、適合などを行う「テクニカルエイドセンター」の設置を検討します。

(2)心のバリアフリーと福祉ネットワークづくり

428 福祉教育の充実と区民全員のボランティア意識の醸成

福祉教育の充実により区民全員のボランティア意識の醸成を図ります。

429 区民と区の福祉パートナーシップの向上

地域で福祉を支えられるように、区民と区の福祉パートナーシップの向上に取り組みます。

430 地域全体で支える福祉ネットワークづくり

社会福祉協議会において、激励品の贈呈、くつろぎの家及びくすのきカルチャーセンターの運営等を実施します。また、安心生活センターを設置し、地域福祉サービス事業の充実を図るとともに、地域の中で適切な福祉サービスを利用できるよう支援します。併せて、地域福祉を担う関係機関等の連携を図りながら、地域福祉の中核としての役割を果せるよう努めます。

第4節

区民参加による環境づくり

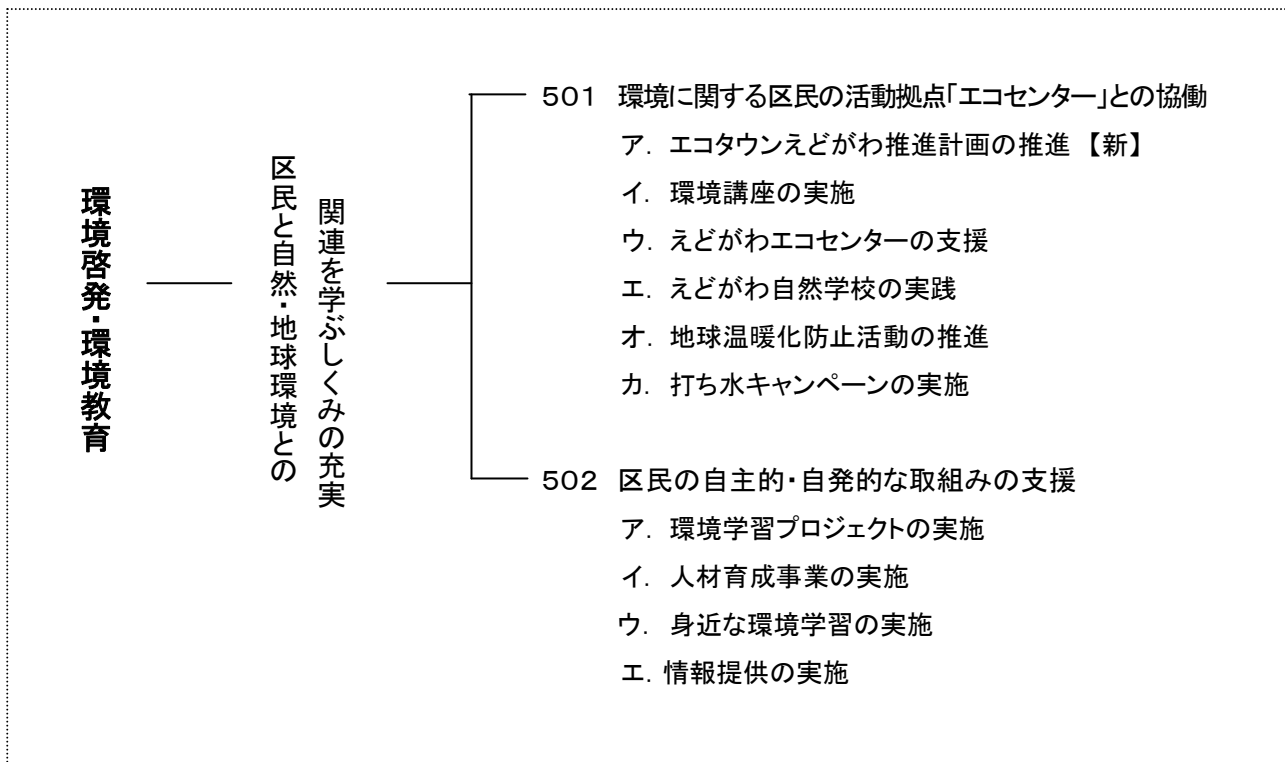
- 1 環境啓発・環境教育
 - (1) 区民と自然・地球環境との関連を学ぶしくみの充実
- 2 資源循環（ごみの減量と資源リサイクル）
 - (1) ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化
 - (2) 資源リサイクルの拡充
- 3 自然との共生・ふれあい
 - (1) 水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり
 - (2) 自然とのふれあいの拡大
- 4 都市環境問題・有害化学物質への対応
 - (1) 生活環境の改善と保全
 - (2) 新たな環境汚染問題への対応
- 5 地球環境への配慮
 - (1) 地球環境を考慮した区民生活の展開

1 環境啓発・環境教育

【施策の考え方】

一人ひとりが環境に対する高い意識を持てるように、幅広い年齢層が参加できる多様な学習の機会を整えます。特に「暮らしと環境」との関係をわかりやすく体系的に学べるようにするとともに、学校等において、次代を担う子どもたちに環境教育を積極的に行います。また、区民とともに環境啓発、環境教育等を進め、資源循環、自然とのふれあい等の取り組みにつなげます。

【施策体系図】



(1) 区民と自然・地球環境との関連を学ぶしくみの充実

501 環境に関する区民の活動拠点「エコセンター」との協働

地球温暖化防止を図るため、エコタウンえどがわ推進計画*の着実な推進に努めます。併せて、環境問題全般の効果的な対策を推進するため、区民、事業者及び区が連携・協働したえどがわエコセンター*の活動を支援するとともに、もったいない運動えどがわの普及拡大に努めます。

※ エコタウンえどがわ推進計画:地球温暖化防止を図るため、温室効果ガス削減の数値目標等を定めた計画。

※ えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

施策コード	501	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
エコタウンえどがわ推進計画の推進【新】	推進本部の設置		運営	同左
	計画の周知		同左	同左
	イベント等による省エネ活動の普及		同左	同左
	省エネ設備の導入		同左	同左
事業費		4,835千円	4,835千円	4,835千円
環境講座の実施	環境講座 水辺環境調査		同左	同左
事業費		1,823千円	1,823千円	1,823千円
えどがわエコセンターの支援	活動支援		同左	同左
事業費		46,996千円	46,996千円	46,996千円
えどがわ自然学校の実践	活動実施の支援		同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
地球温暖化防止活動の推進	もったいない運動 えどがわの拡大		同左	同左
	マイバッグ運動の拡大			
	エコチャレンジの拡大			
	廃食用油のリサイクル の拡大			
	エコカンパニーえどがわ の拡大 表彰			
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
打ち水キャンペーンの実施	打ち水大作戦の実施		同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

「—」:事業費は、えどがわエコセンターの支援(施策コード501)の中で計上しています。

502 区民の自主的・自発的な取組みの支援

区民、事業者及び区が連携・協働したえどがわエコセンター※が実施する環境学習プロジェクト、講座・講習、区民のための身近な環境学習等の活動を支援します。

※ えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

施策コード	502	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
環境学習プロジェクトの実施	グリーンプラン推進校の拡大		同左	同左
	小中学校の環境学習支援		同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
人材育成事業の実施	環境学習リーダー養成講座		同左	同左
	生ごみリサイクル講習会		同左	同左
事業費		1,015千円	1,015千円	1,015千円
身近な環境学習の実施	自然環境・生活環境・地球環境分野の各セミナーの支援		同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
情報提供の実施	情報紙、リーフレット等の発行支援		同左	同左
	ホームページの運用支援		同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

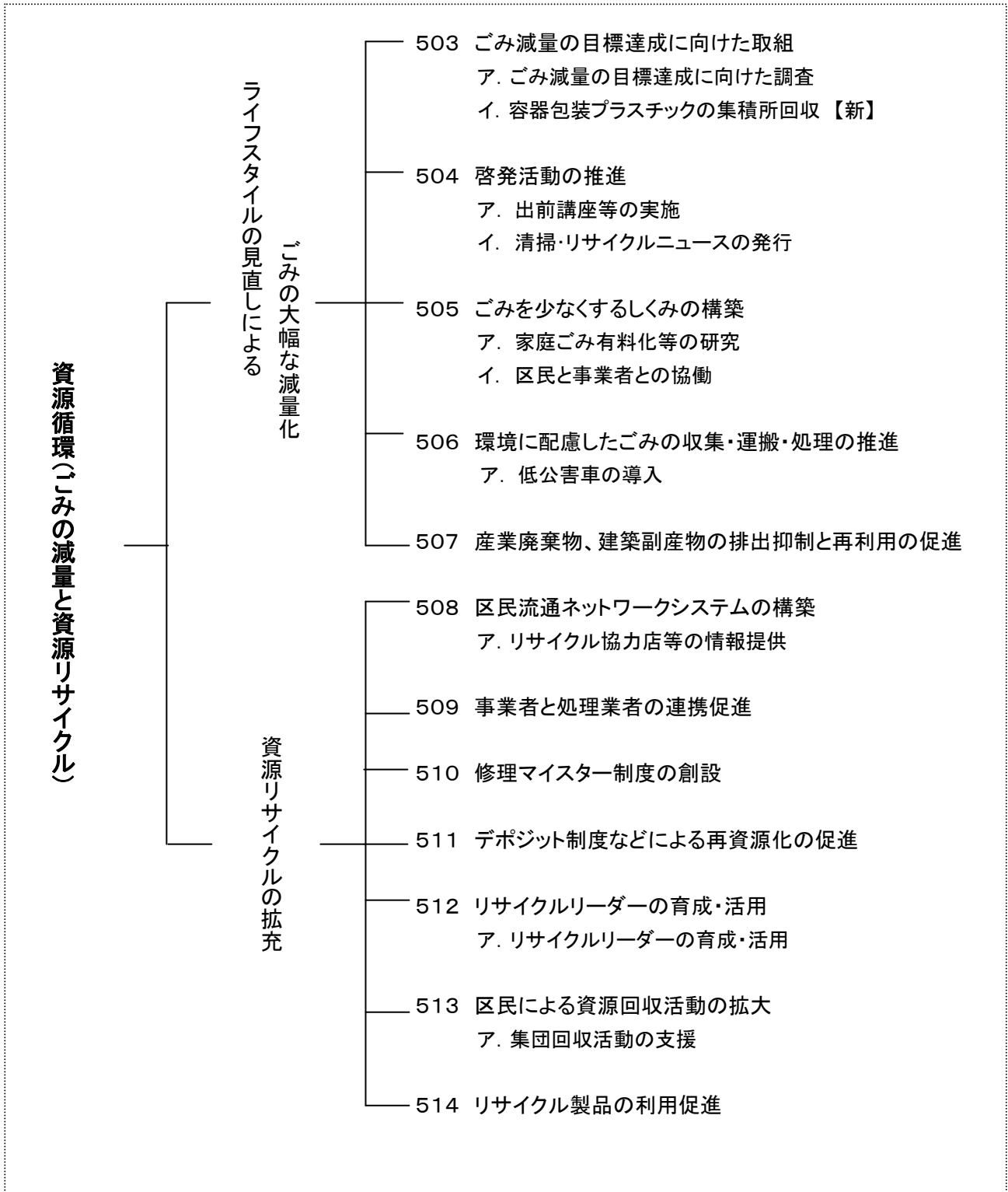
「—」:事業費は、えどがわエコセンターの支援(施策コード501)のなかで計上しています。

2 資源循環(ごみの減量と資源リサイクル)

【施策の考え方】

ごみの量は、平成11年10月から実施した資源回収事業の全区展開により一時減少しましたが、現在は人口増等により微増傾向にあり、ごみの減量をより一層推進することが必要です。限りある資源を大切にするために、区民と事業者が協力するとともに、効率的に3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化))を推進し、清掃事業と一体となった循環型社会形成に向けたしくみづくりが求められています。

【施策体系図】



(1) ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化

503 ごみ減量の目標達成に向けた取組

「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、平成 33 年度までに平成 12 年度に比べて20%のごみ減量を図るため、資源化可能物である容器包装プラスチックのリサイクルを推進し、集積所回収の実施に努めます。

施策コード	503	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
ごみ減量の目標達成に向けた調査		組成調査	同左	同左
事業費		3,000千円	3,000千円	3,000千円
容器包装プラスチックの集積所回収【新】		区内全域において実施	同左	同左
事業費		722,236千円	722,236千円	722,236千円

504 啓発活動の推進

ごみ減量・リサイクルに関する取り組みを拡大するため、学校、町会自治会等を単位として出前講座等の啓発活動を推進します。

また、ごみ減量の方法及びリサイクルの効果について、清掃・リサイクルニュースを発行し、3R（発生抑制、再使用、再資源化）の啓発等に努めます。併せて、区立小学校4年生全員に環境教育冊子「えどがわくのごみダイエットにチャレンジ」を配付し、環境学習の促進を図ります。

施策コード	504	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
出前講座等の実施		講座、見学会の開催	同左	同左
		講座講師の派遣	同左	同左
		イベントにおけるPR活動	同左	同左
事業費		2,007千円	2,007千円	2,007千円
清掃・リサイクルニュースの発行		「ごみダイエット」の発行 年3回	同左	同左
		環境教育冊子の配付	同左	同左
事業費		4,282千円	4,282千円	4,282千円

505 ごみを少なくするしくみの構築

新たな資源回収品目を検討するとともに、ごみ減量に努力した人ほど効用が生じる方策として、家庭ごみの有料化等について研究します。

また、小売店(商店会)、スーパーマーケット等の事業者に対して、ごみの発生抑制を働きかけるとともに、レジ袋削減に努めている「マイバック運動推進店」、ごみ減量に配慮した取り組みを行う「エコストア協力店」等を広く情報提供します。併せて、マイバッグの持参、環境に配慮した商品の購入を区民等に呼びかけ、ごみの発生が少なくなるライフスタイルの確立の促進に努めます。

施策コード	505	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
家庭ごみ有料化等の研究		情報収集 調査研究	同左	同左
事業費		0千円	※※※千円	※※※千円
区民と事業者との協働		マイバック運動推進店 等の情報提供	同左	同左
		マイバッグコンテスト の実施	同左	同左
事業費		927千円	927千円	927千円

506 環境に配慮したごみの収集・運搬・処理の推進

ごみ収集の直営車両の買い替えに当たっては、低公害車の購入を継続するとともに、雇上車両についても、引き続き、低公害車の使用を促すよう働きかけます。

施策コード	506	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
低公害車の導入		廃車車両分の買い替え 〔 小型プレス車 4 台 新大型特殊車 1 台 〕	廃車車両分の買い替え 〔 小型プレス車 6 台 新大型特殊車 1 台 〕	廃車車両分の買い替え 〔 小型プレス車 6 台 〕
事業費		39, 100千円	53, 000千円	41, 700千円

507 産業廃棄物、建築副産物の排出抑制と再利用の促進

建設リサイクルの届出及び分別解体を確実に推進するため、届出の徹底、意識啓発等を図るとともに、引き続き現場パトロールの実施を推進します。

(2)資源リサイクルの拡充

508 区民流通ネットワークシステムの構築

区民自らが主体的に再利用を推進できるよう、区内のリサイクルショップ、修理店、リサイクルバンク、リサイクルマーケット等の情報を広く提供します。

施策コード	508	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
リサイクル協力店等の 情報提供	情報収集		同左	同左
	ホームページ等による 情報提供		同左	同左
事業費		128千円	128千円	128千円

509 事業者と処理業者の連携促進

家電製品等の資源リサイクルを確実、かつ、より効果的に行うため、事業者、処理業者及び区が必要な情報交換を適宜行えるよう連携の促進を図ります。

510 修理マイスター※制度の創設

ものを長く大切に使うため、事業者等の技術を活用して、「修理マイスター制度」に向けた人材育成に取り組みます。

※ **マイスター**:ドイツのものづくりの「親方」。「親方」の下で修行して一人前に」という中世からのものづくりのシステムを国家資格として整備したものがドイツのマイスター制度。

511 デポジット制度※などによる再資源化の促進

国及び事業者に対して再資源化品目の拡大の要請等を行うことに努めます。

また、デポジット制度については、その導入を国に働きかけるとともに、イベント時のリユースカップの導入等の先進的な取り組みを検討します。

※ **デポジット制度**:ビールびん等のように、預り金、保証金等を取り、返却時に返金することにより、確実な返却を促すためのシステム。

512 リサイクルリーダーの育成・活用

リサイクルに関心のある区民を対象とする講座、見学会等を開催し、リサイクルリーダーを養成します。併せて、講習会修了者に対しては、講習会で得た知識の普及等、ごみ減量・リサイクル活動の中心となるよう活動を支援します。

施策コード	512	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
リサイクルリーダー の育成・活用	講習会の実施		同左	同左
	リサイクルリーダーの派遣		同左	同左
	活動支援		同左	同左
事業費		541千円	541千円	541千円

513 区民による資源回収活動の拡大

資源リサイクルを図るため、区民が主体となる集団回収活動を積極的に拡大します。

また、実施団体が安定的に運営できるよう、報奨金の支給、回収補助用具の支援等を行うとともに、未実施団体への働きかけを進めます。併せて、回収業者に対しても安定的な回収ができるよう支援します。

施策コード	513	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
集団回収活動の支援		活動の支援 (実施団体600団体)	活動の支援 (実施団体610団体)	活動の支援 (実施団体620団体)
事業費		121,491千円	122,500千円	123,500千円

514 リサイクル製品の利用促進

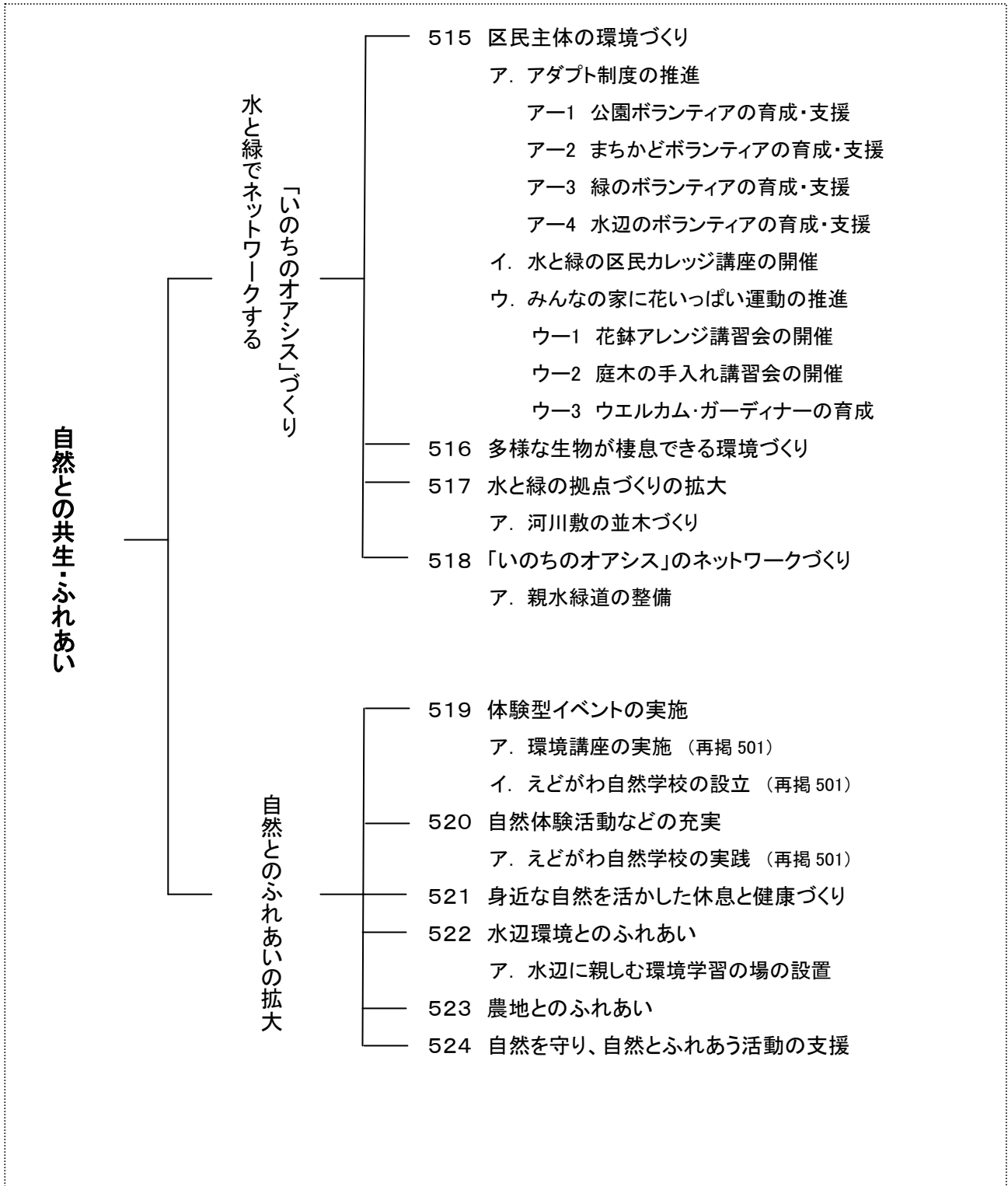
資源リサイクルを促進するため、区は事業者として、自らリサイクル製品の購入を促進するとともに、区民、事業者等のリサイクル製品の購入(グリーン購入)の促進を図ります。

3 自然との共生・ふれあい

【施策の考え方】

区には、区民の保全活動に支えられ、水と緑豊かな自然を活かしたうらおいの感じられる生活空間が形成されています。この特長を活かし、様々な生き物が棲む「いのちのオアシス」づくり、「花と緑の拠点」づくり等を進め、誰もが気軽に水と緑に親しめるような環境を整備します。また、これらの環境を利用して、自然とふれあうことのできる機会を充実します。

【施策体系図】



(1)水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり

515 区民主体の環境づくり

区民相互の交流の促進、相談支援、情報の収集・提供等に努めるとともに、えどがわエコセンター*との連携を図りながら、講習会、自然観察会等の開催等を行い、環境づくりのための様々な区民の活動を支援します。

また、みんなの家に花いっぱい運動を推進し、四季おりおりの花と緑があふれるまちづくりを進めます。

※ えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

施策コード		515	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
アダプト* ※制度の推進	公園ボランティアの育成・支援	公園ボランティア連絡会の支援等	同左	同左	
	事業費	6,003千円	6,003千円	6,003千円	
	まちかどボランティアの育成・支援	活動の支援相談	同左	同左	
	事業費	101千円	101千円	101千円	
	緑のボランティアの育成・支援	アダプトサインの設置	同左	同左	
		活動の支援相談	同左	同左	
	事業費	3,111千円	3,111千円	3,111千円	
	水辺のボランティアの育成・支援	水辺の活動交流会等の支援	同左	同左	
事業費	2,660千円	2,660千円	2,660千円		
水と緑の区民カレッジ講座の開催		23講座	24講座	25講座	
事業費		8,617千円	8,820千円	9,020千円	
みんなの家に花いっぱい運動の推進	花鉢アレンジ講習会の開催	14会場	15会場	同左	
	事業費	614千円	657千円	657千円	
	庭木の手入れ講習会の開催	講習会 9会場	同左	同左	
		花と緑の相談所 12会場	同左	同左	
	事業費	188千円	188千円	188千円	
ウェルカム・ガーディナーの育成	5会場	同左	同左		
事業費	765千円	765千円	765千円		

※ アダプト制度:道路、河川、公園等の公共スペースで実施する清掃等のボランティア活動。

516 多様な生物が棲息できる環境づくり

区民に身近なところで、より多様な生物が棲息できる環境づくりを推進するため、IT等を活用したわかりやすい情報提供に努めます。また、干潟・樋門における自然環境の復元・再生について、国土交通省に事業化を要請します

517 水と緑の拠点づくりの拡大

区内七つの河川の堤防天端及び河川敷への桜を主とした植栽を計画的に実施し、環境整備に努めます。

施策コード	517	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
河川敷の並木づくり		新川・旧中川他 桜等 120本	同左	同左
事業費		22,000千円	22,000千円	22,000千円

518 「いのちのオアシス」のネットワークづくり

地域の憩いの場となる利用の促進を図るとともに、生態系に配慮した、より自然に近い親水緑道の整備を図ります。

施策コード	518	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
親水緑道の整備		本郷用水(工事)		
事業費		177,240千円		

(2) 自然とのふれあいの拡大

519 体験型イベントの実施

えどがわエコセンター※で実施する自然学習会、セミナー等の環境講座を支援します。また、えどがわエコセンター※と連携を図りながら、水辺環境調査を実施します。

※ えどがわエコセンター：江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

施策コード	519	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
環境講座の実施 再掲 501		環境講座 水辺環境調査	同左	同左
事業費		1,823千円	1,823千円	1,823千円
えどがわ自然学校の実践 再掲 501		活動実施の支援	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「—」：事業費は、えどがわエコセンターの支援(施策コード 501)のなかで計上しています。

520 自然体験活動などの充実

篠崎公園、総合レクリエーション公園、葛西臨海公園等の大規模公園、親水公園、河川敷、プレイパーク(冒険遊び場)等の活用を図りながら、自然の中で気軽に楽しく指導を受けることができる自然体験活動の充実を図ります。

また、えどがわエコセンターで実施する自然学習会等の環境講座を支援します。

施策コード	520	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
えどがわ自然学校の実践 再掲 501		活動の支援	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

「—」:事業費は、えどがわエコセンターの支援(施策コード 501)のなかで計上しています。

521 身近な自然を活かした休息と健康づくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

522 水辺環境とのふれあい

えどがわエコセンターとの連携を図りながら、豊かな水辺空間を活用した環境学習の場づくりを行います。

また、江戸川、荒川等における住民活動を推進するとともに、河川環境の充実に向けて流域自治体間の交流及び連携の促進を図ります。

施策コード	522	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
水辺に親しむ環境学習の場 の設置		環境学習の場として活用 3か所	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

523 農地とのふれあい

農地を身近な自然としてとらえ、保全及びその活用を図るとともに、区民農園、ふれあい農園等を充実し、区民が農業体験を通じて自然とふれあうことのできる機会の提供に努めます。また、農家の協力を得ながら、子供たちが農業体験できるような機会の充実を図ります。

524 自然を守り、自然とふれあう活動の支援

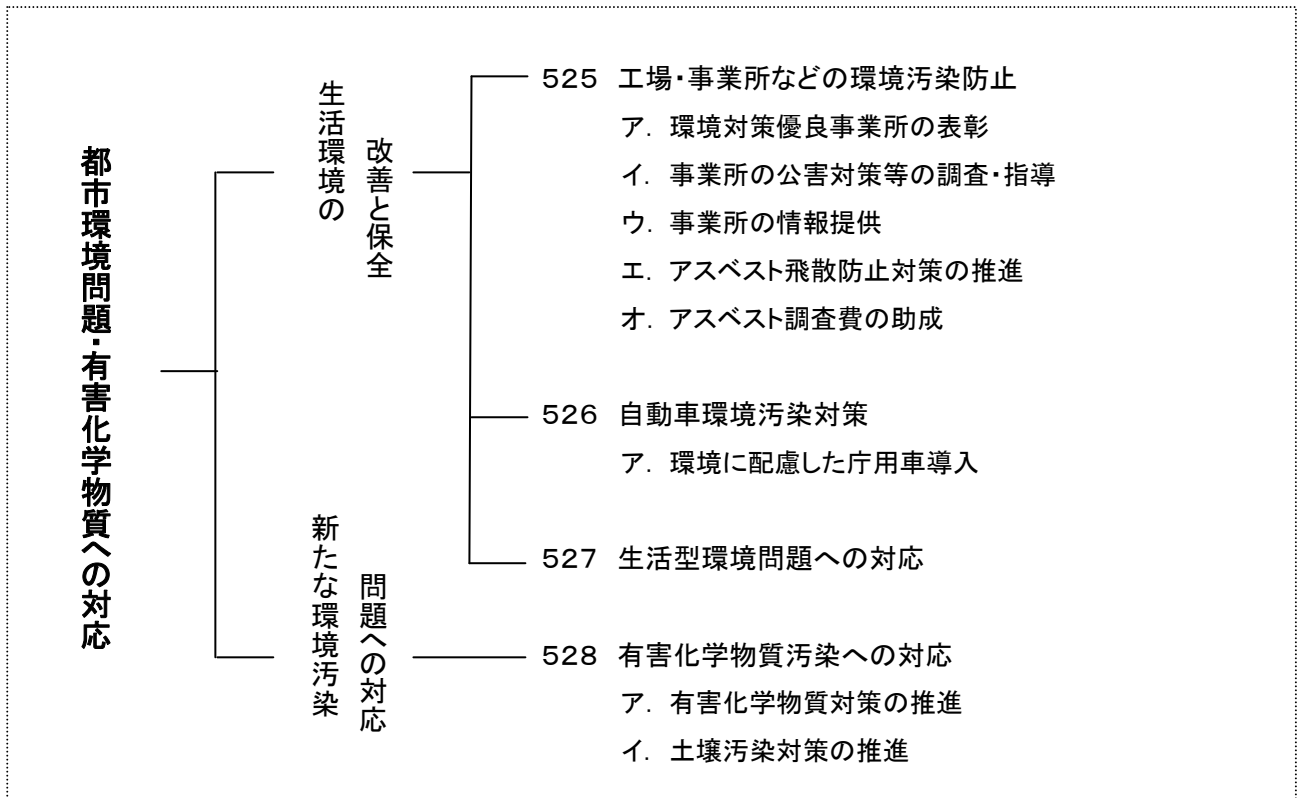
花、緑等を育てる活動、水辺の清掃活動、自然観察会等、区民、ボランティア、NPO 等による自然を守り、自然とふれあう活動を支援します。また、自然を守り、自然とふれあう人の輪を広げるため、情報技術等を活用しながら、これらの活動の情報提供を推進します。

4 都市環境問題・有害化学物質への対応

【施策の考え方】

区民の暮らしに影響を及ぼす都市環境問題、有害化学物質等について、ライフスタイル、事業活動等を根本的に見直すとともに、国及び都と協力しながら、区民、事業者等とともに対応します。また、問題の発生及び被害の拡大を防止するための情報の共有化を図り、リスクの低減に努めます。

【施策体系図】



(1)生活環境の改善と保全

525 工場・事業所などの環境汚染防止

工場、事業所等の環境に配慮した取り組みに対する相談及び助言、情報の提供、優良事業所の表彰制度、環境保全のための設備導入を促進する融資制度等の推進を図ることにより、事業者が行う環境保全活動を支援します。

また、工場、事業所等に対する指導を適確に実施するとともに、新たに事業所を立地する場合には、その適正な誘導に努めます。特に建物解体工事等に当たっては、アスベストの飛散防止の指導を徹底します。

施策コード	525	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
環境対策優良事業所の表彰		優良事業所の表彰 (環境をよくする運動 中央大会において実施)	同左	同左
事業費		19千円	19千円	19千円
事業所の公害対策等の調査・指導		対象 900事業所	対象 600事業所	対象 800事業所
事業費		2,916千円	2,916千円	2,916千円
事業所の情報提供		ホームページ等 による情報提供	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
アスベスト飛散防止対策の推進		建物解体工事対策	同左	同左
		区内環境測定の実施	同左	同左
事業費		1,600千円	1,600千円	1,600千円
アスベスト調査費の助成		40件	同左	同左
事業費		2,000千円	2,000千円	2,000千円

526 自動車環境汚染対策

江戸川区環状七号線沿道地区計画に基づき、自動車騒音により生じる障害の防止及び沿道の適切な土地利用の促進を図ります。

また、江戸川区環境行動計画に基づき、庁用車の購入に当たっては、低公害車及び低燃料車の導入を促進するとともに、既存の庁用車に後付けアイドリングストップ装置を装着します。

施策コード	526	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
環境に配慮した庁用車導入		導入率58% (超低公害車換算)	導入率60% (超低公害車換算)	導入率63% (超低公害車換算)
		アイドリングストップ装置 の装着		
事業費		3,465千円	※※※千円	※※※千円

527 生活型環境問題への対応

近隣騒音等の生活型環境問題について、地域が自ら解決を図れるよう、啓発活動を推進するとともに、相談体制を充実します。併せて、社会生活の多様化等で生じる新たな環境問題について、迅速・的確に情報収集を行い、区民等と連携しながら、その問題の解決に努めます。

(2) 新たな環境汚染問題への対応

528 有害化学物質汚染への対応

国及び都との連携を図りながら、有害化学物質の把握に努め、事業者の適正な管理・使用を指導するとともに、的確な情報提供を行います。また、事業者の協力を得ながら、有害化学物質による汚染防止対策を推進します。

施策コード	528	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
有害化学物質対策の推進		事業場の調査、指導、 及び情報提供の実施	同左	同左
事業費		510千円	510千円	510千円
土壌汚染対策の推進		有害物取扱事業場の 指導及び啓発の実施	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

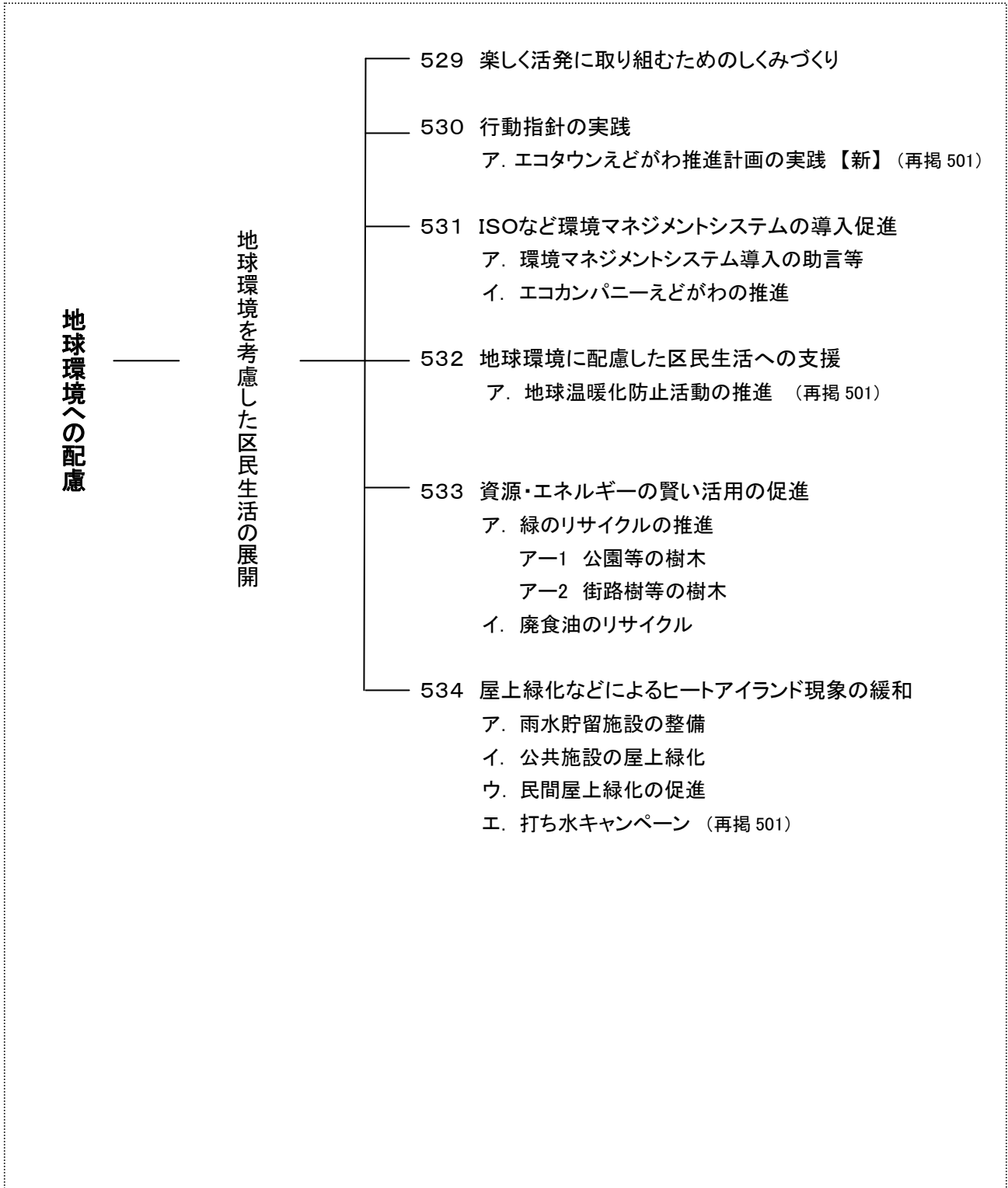
「—」:事業費は、事業所の公害対策等の調査・指導(施策コード525)のなかで計上しています。

5 地球環境への配慮

【施策の考え方】

電気、ガソリン等のエネルギーは、快適で便利な生活をおくるために不可欠なものですが、一方で二酸化炭素、排気ガス等を排出する等地球環境に負荷を与えています。地球温暖化を防止し、国際社会と協調しながら、温室効果ガスの削減のための取り組みの推進を図るため、環境に与える負荷をできる限り少なくし、区民、事業者等が地球環境に配慮した生活、事業活動等を促進する江戸川区独自の取り組みを進めます。

【施策体系図】



(1)地球環境を考慮した区民生活の展開

529 楽しく活発に取り組むためのしくみづくり

環境保全のための区民、ボランティア等の活動が楽しく活発に行われるよう、様々なしくみを研究します。

530 行動指針の実践

地球温暖化防止を図るため、推進本部を設置し、エコタウンえどがわ推進計画[※]の周知及び着実な推進に努めます。

※ エコタウンえどがわ推進計画:地球温暖化防止を図るため、温室効果ガス削減の数値目標等を定めた計画。

施策コード	530	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
エコタウンえどがわ推進計画 の推進【新】再掲501	推進本部の設置		運営	同左
	計画の周知		同左	同左
	イベント等による 省エネ活動の普及		同左	同左
	省エネ設備の導入		同左	同左
事業費		4,835千円	4,835千円	4,835千円

531 ISOなど環境マネジメントシステムの導入促進

ISO14001[※]、エコアクション21[※]等に基づく環境マネジメントシステムの導入・運営に必要な知識・技術等の習得の機会を提供します。併せて、えどがわエコセンター[※]と連携しながら、区独自の環境取組制度「エコカンパニーえどがわ」事業[※]の普及促進を図り、事業者の地球温暖化防止等の環境に配慮した自主的な取り組みを支援します。

※ ISO14001 シリーズ(環境マネジメントシステム):国際標準化機構(ISO)が定めた環境管理システムと環境監査に関する国際規格

※ エコアクション21:環境省が策定した中小事業者でも取り組みやすい環境活動評価のプログラムで、認証登録制度もある。

※ えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

※ 「エコカンパニーえどがわ」事業:環境活動の取り組みに対する宣言をした事業者を、「環境取組事業所」として区に登録し、年一回、その活動を報告する制度。

施策コード	531	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
環境マネジメントシステム 導入の助言等	情報収集 及び情報提供		同左	同左
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円
エコカンパニーえどがわ の推進	参加事業所拡大の広報		同左	同左
	事業者取組の支援		同左	同左
事業費		1,000千円	1,000千円	1,000千円

「—」:事業費は、工場・事業所等の環境汚染防止(施策コード525)のなかで計上しています。

532 地球環境に配慮した区民生活への支援

えどがわエコセンターと連携を図りながら、地球温暖化防止及びごみ減量に取り組む「もったいない運動えどがわ」を拡大して実施します。

施策コード	532	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
地球温暖化防止活動の推進 再掲 501		もったいない運動 えどがわの拡大	同左	同左
		マイバッグ運動の拡大		
		エコチャレンジの拡大		
		廃食用油のリサイクル の拡大		
		エコカンパニーえどがわ の拡大 表彰		
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「—」: 事業費は、えどがわエコセンターの支援(施策コード:501)のなかで計上しています。

533 資源・エネルギーの賢い活用の促進

剪定枝のチップ化を推進し、公園等の肥沃化を図ります。また、落葉の堆肥化を推進し、啓発に努めます。併せて、樹木の管理作業に伴う剪定枝葉の有効利用を図るため、チップ化、堆肥化等を活用する研究を推進し、リサイクルを促進します。また、事業所、学校等から回収した廃食油によってBDF(バイオディーゼル燃料)を製造し、その利用の促進に努めます。

施策コード	533	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
緑のリサイクルの推進 公園等の樹木		リサイクル率 100%	同左	同左
		剪定枝のチップ化 1,200m ³	同左	同左
		落葉の腐葉土化 800m ³	同左	同左
事業費		13,200千円	13,200千円	13,200千円
街路樹等の樹木		リサイクル率 90%	リサイクル率 100%	同左
		剪定枝のチップ化 1,300m ³	剪定枝のチップ化 1,400m ³	同左
		チップの腐葉土化 150m ³	チップの腐葉土化 150m ³	同左
事業費		14,000千円	15,000千円	15,000千円

廃食油のリサイクル	「えどがわ油田開発プロジェクト」の支援	同左	同左
事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円

「—」:事業費は、えどがわエコセンターの支援(施策コード:501)のなかで計上しています。

534 屋上緑化などによるヒートアイランド現象※の緩和

公共施設の屋上緑化を推進するとともに、住宅等整備事業における基準等に関する条例※に基づいた民間敷地内の緑化、屋上緑化、駐車場設置部分等に透水性舗装※、保水性舗装※を誘導するとともに省エネルギー機器設置住宅に対する容積率の緩和をすることにより省エネ住宅の建設を促進し、ヒートアイランド現象の抑制を図ります。また、雨水貯留槽の設置を誘導することにより、水資源の活用を促進します。

えどがわエコセンター※が商店街、学校等と連携を図りながら実施する、再利用水を活用した打ち水キャンペーンを支援します。

※ ヒートアイランド現象:都市中心部の都市活動の結果として生じる気温上昇現象。

※ 住宅等整備事業における基準等に関する条例:中高層共同住宅、一定規模以上の土地利用の基準等を定めたもの。

※ 透水性舗装:雨水の地中への浸透により、雨水流出抑制、雨天時の歩行性の向上等に効果がある舗装。

※ 保水性舗装:道路の舗装断面に保水機能をもたせた舗装。雨天時に吸収した水分を晴天時に蒸発させ、気化熱を奪うことにより路面の温度が下がる効果が期待できる。

※ えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

施策コード	534	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
雨水貯留施設の整備	1基(300m ³)	同左	同左	
事業費	28,350千円	28,350千円	28,350千円	
公共施設の屋上緑化	3施設	4施設	3施設	
事業費	21,000千円	28,000千円	21,000千円	
民間屋上緑化の促進	促進件数 100件	同左	同左	
	見本園の活用及び広報	同左	同左	
		パンフレット等の作成		
事業費	100千円	300千円	100千円	
打ち水キャンペーンの実施 再掲 501	打ち水大作戦の実施	同左	同左	
事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円	

「—」:事業費は、エコセンターとの協働(施策コード:501)のなかで計上しています。

第5節

活力を創造する産業づくり

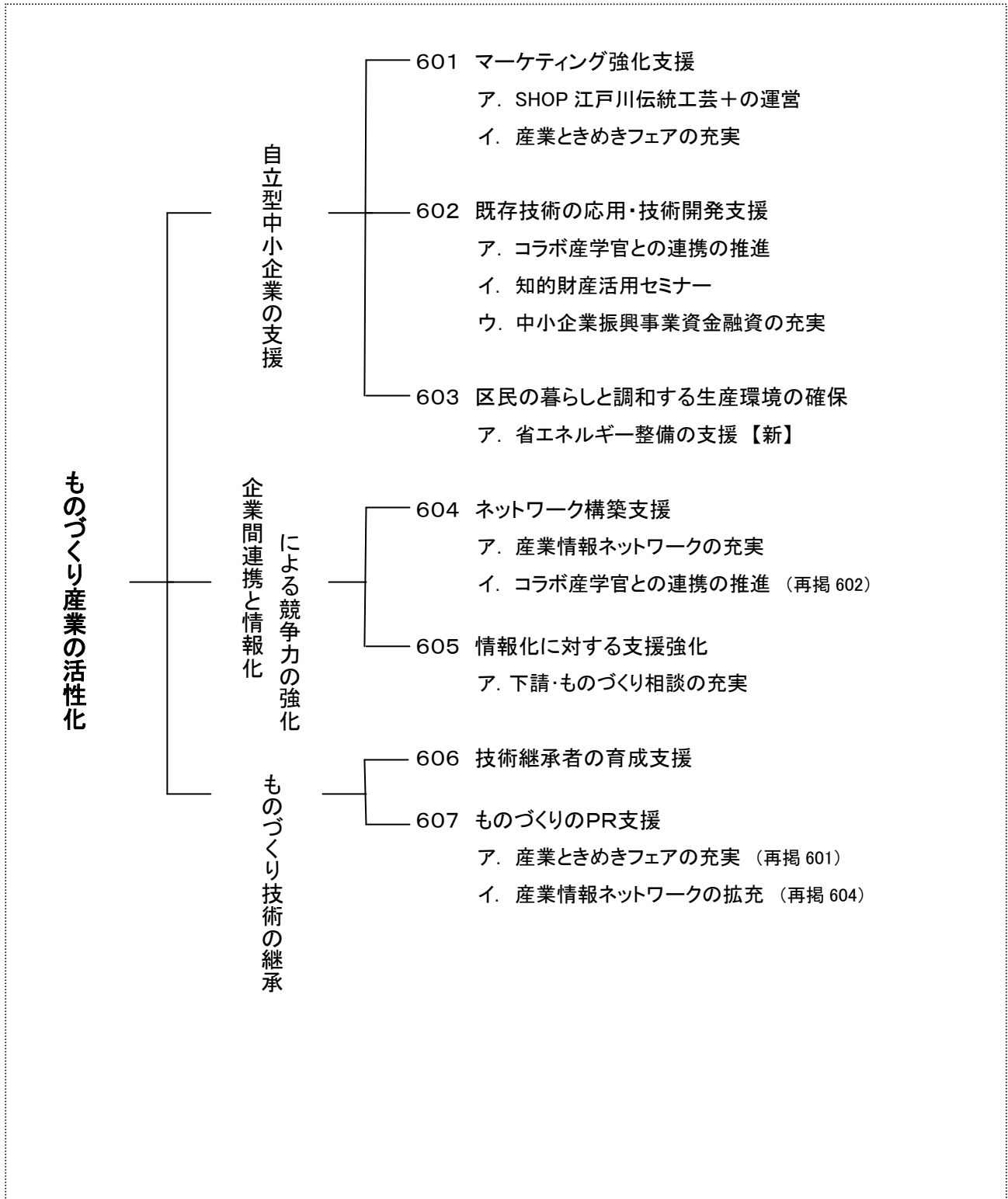
- 1 ものづくり産業の活性化
 - (1) 自立型中小企業の支援
 - (2) 企業間連携と情報化による競争力の強化
 - (3) ものづくり技術の継承
- 2 商業・生活サービス業の活性化
 - (1) 新しい商店街への経営革新
- 3 情報産業・都市型ビジネスの育成
 - (1) 情報産業などの起業・育成支援
 - (2) 新たな都市型ビジネスの育成
- 4 都市農業の継承
 - (1) 特色ある都市農業の展開
- 5 伝統的地場産業の継承、発展
 - (1) 江戸川文化としての伝統的地場産業の振興
- 6 次代の産業を担う人材の育成
 - (1) 学校と地域の連携による産業教育の充実
 - (2) 次代を担う人材育成の支援
- 7 新たなパートナーシップの確立
 - (1) 産業界の主体性を重視した行政システム
- 8 働く意欲あふれる環境づくり
 - (1) 働く意欲あふれる環境づくりの推進
 - (2) 多様な就業の場の確保と支援

1 ものづくり産業の活性化

【施策の考え方】

不透明な景気の状態、技術革新等による経済・産業構造全体の大きな変化等により、区のものづくり産業にとって、厳しい経営環境が続いています。このため、区では、従来の下請加工型企業からの脱却を図り、高付加価値を生み出す企画・提案型企業としての自立を支援するとともに、企業間連携と情報化による競争力の強化、ものづくり技術の継承支援等を行い、ものづくり産業の活性化を図ります。

【施策体系図】



(1) 自立型中小企業の支援

601 マーケティング強化支援

「えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト」で生まれた商品の販売等を行う、インターネット上のショッピングモールである「SHOP 江戸川伝統工芸+」の適正な運営に努めます。併せて、篠崎文化プラザ内での販売活動等を推進します。

また、区内外の主に製造業を担う企業の展示実演等を行い、優れた製品及び技術力を広く紹介するとともに、ビジネス情報交換会を開催し、企業間の連携づくりの場を提供します。併せて、製作実演・体験コーナー等を通じて、産業教育の場としての活用を図ります。

施策コード	601	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
SHOP 江戸川伝統工芸+の運営		篠崎文化プラザとの連携による販売促進	江戸川区特産品の販売促進	同左
事業費		5,040千円	5,040千円	5,040千円
産業ときめきフェアの充実		ビジネスマッチングの場の拡充	同左	同左
		製作実演・体験コーナーの拡充	同左	同左
		産業教育の場の拡充	同左	同左
事業費		12,664千円	12,664千円	12,664千円

602 既存技術の応用・技術開発支援

区内企業とコラボ産学官参加大学との情報交流の促進を図り、区内企業と大学との連携を支援します。

また、区内企業の持つ優れた技術を知的財産として活用・保護を図る、ライセンス契約の方法等に関するセミナーを開催し、オンリーワン企業として販路の拡大、新規取引の確保等の一助となるよう努めます。

さらに、中小企業振興事業資金融資は、制度の適切な運営を図るため、手続きの見直しを進めます。

施策コード	602	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
コラボ産学官との連携の推進		コラボ産学官参加大学と区内企業のマッチング支援	同左	同左
事業費		13,473千円	13,473千円	13,473千円
知的財産活用セミナー		企業のニーズに沿った内容を付加して実施	同左	同左
事業費		260千円	260千円	260千円
中小企業振興事業資金融資の充実		中小企業からの融資相談・企業支援	同左	同左
事業費		1,392,179千円	1,392,179千円	1,392,179千円

603 区民の暮らしと調和する生産環境の確保

エコタウンえどがわ推進計画※に基づき、(仮称)省エネルギー支援融資制度を検討します。

※ エコタウンえどがわ推進計画:地球温暖化防止を図るため、温室効果ガス削減の数値目標等を定めた計画。

施策コード	603	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
省エネルギー整備の支援 【新】		(仮称)省エネルギー支援融資の検討	(仮称)省エネルギー支援融資あっせんの創設	(仮称)省エネルギー支援融資あっせんの実施
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円

(2)企業間連携と情報化による競争力の強化

604 ネットワーク構築支援

江戸川区の産業を担う工業・商業・農業・伝統工芸等を区内外に広く紹介するとともに、区内中小企業のマーケティング等を支援するため、産業情報の拠点としてEi-net※(えいネット)のコンテンツの充実を図ります。

また、区内企業とコラボ産学官参加大学との情報交流の促進を図り、区内企業と大学との連携を支援します。

※ Ei-net: 中小企業支援、農業・工業・商業・伝統工芸等の産業の紹介、関連イベント等の情報を掲載した区のホームページ。

施策コード	604	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
産業情報ネットワークの拡充		えどがわ伝統工芸ワールドの拡充・更新	同左	同左
		えどがわ花と野菜のゆめワールドの拡充・更新	同左	同左
		えどがわ商業ワールドの拡充・更新	同左	同左
		ものづくりMAPの拡充・更新	同左	同左
事業費		10,099千円	10,099千円	10,099千円
コラボ産学官との連携の推進 再掲 602		コラボ産学官参加大学と区内企業のマッチング支援	同左	同左
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円

605 情報化に対する支援強化

中小企業の技術、製品の開発・改善等に関する的確な情報提供を行うとともに、中小企業の相談支援等の周知を図ります。

施策コード	605	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
下請け・ものづくり相談の充実		中小企業相談室での相談受付・情報提供	同左	同左
事業費		29,198千円	29,198千円	29,198千円

(3)ものづくり技術の継承

606 技術継承者の育成支援

退職した熟練技術者等を技術継承のための研修会や講習会の講師等として活用する制度の設立に向けた調査研究を進めます。

607 ものづくりのPR支援

区内外の主に製造業を担う企業による展示実演等を行い、優れた製品及び技術力を広く紹介するとともに、ビジネス情報交換会を開催し、企業間の連携づくりの場の提供します。併せて、製作実演・体験コーナー等を通じて、産業教育の場としての活用を図ります。

また、区内の産業を担う工業・商業・農業・伝統工芸等を区内外に広く紹介するとともに、区内中小企業のマーケティング等を支援するため、産業情報の拠点としてEi-net(えいネット)のコンテンツの充実を図ります。

施策コード	607	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
産業ときめきフェアの充実 再掲 601	ビジネスマッチングの場 の拡充		同左	同左
	製作実演・体験コーナー の拡充		同左	同左
	産業教育の場 の拡充		同左	同左
事業費		12,664千円	12,664千円	12,664千円
産業情報ネットワークの拡充 再掲 604	えどがわ伝統工芸 ワールドの拡充・更新		同左	同左
	えどがわ花と野菜の ゆめワールドの拡充・更新		同左	同左
	えどがわ商業ワールド の拡充・更新		同左	同左
	ものづくりMAP の拡充・更新		同左	同左
事業費		10,099千円	10,099千円	10,099千円

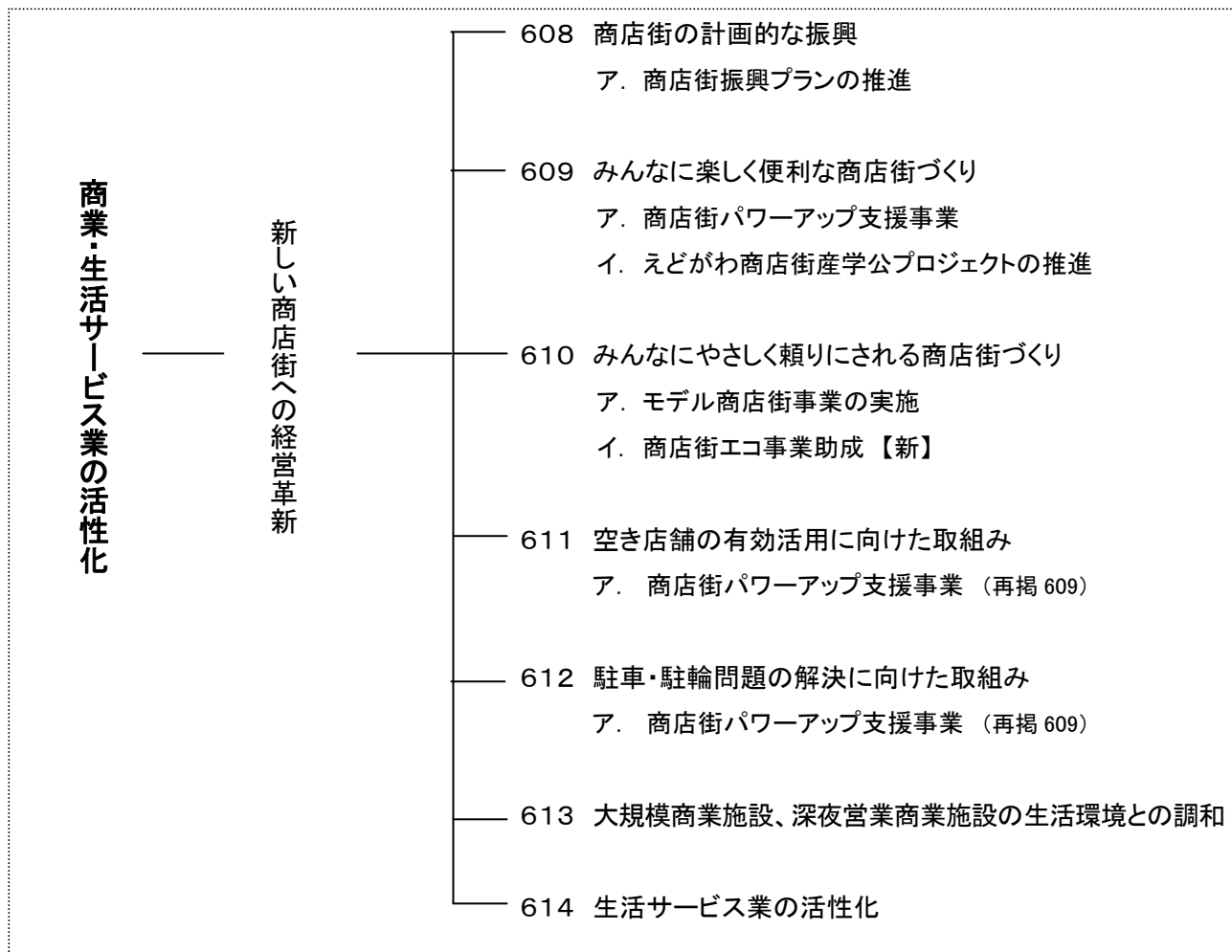
2 商業・生活サービス業の活性化

【施策の考え方】

区内の商店街は、消費の低迷、多様化する消費者ニーズの変化等の影響のため、売上の減少、経営不振による閉店等の厳しい状況に置かれています。

このため、区では、空き店舗の活用等による独自の積極的な取り組み、これからの商店街に期待される新たな社会的役割を担える商店街づくり等を支援し、商業・生活サービス業の再生と活性化を図ります。

【施策体系図】



(1)新しい商店街への経営革新

608 商店街の計画的な振興

中長期的な商店街振興を推進するため、商店街振興プランの着実な推進を図ります。特に「地域との協働による商店街づくり」を基本に、各商店街が地域コミュニティの中核として、区民生活の楽しみの場となり、商店街の売り上げも向上するよう支援します。

施策コード	608	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
商店街振興プランの推進		プランに基づいた計画的な事業の支援	同左	同左
事業費		174,406千円	※※※千円	※※※千円

609 みんなに楽しく便利な商店街づくり

商店街振興プランに基づく、イベント、装飾街路灯の設置等の計画的・継続的な活性化事業を支援します。

また、千葉商科大学、区及び区内商店街が連携して実施する「えどがわ商店街産学公プロジェクト」を拡大し、商店街の一層の活性化を図ります。

施策コード	609	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
商店街パワーアップ 支援事業の実施	イベント・活性化・ 商店街環境整備支援	同左	同左	
事業費	89,080千円	※※※千円	※※※千円	
えどがわ商店街 産学公プロジェクトの推進	小岩南支部での プロジェクト発足・実施	小岩南支部での プロジェクト実施	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

「—」:事業費は、モデル商店街事業(施策コード610)のなかで計上しています。

610 みんなにやさしく頼りにされる商店街づくり

地域振興につながる活性化策を主体的に実施する商店街を「モデル商店街」に指定し、総合的に支援するとともに、当該事業を広報します。

また、えどがわエコセンター等との連携を図りながら、「もったいない運動」等の商店街の環境に配慮した取り組みを支援します。

施策コード	610	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
モデル商店街事業	小岩南支部を モデル指定	新たなモデル商店街 の指定	事業の推進	
事業費	10,000千円	※※※千円	※※※千円	
商店街エコ事業助成 【新】	イベント・活性化支援	同左	同左	
事業費	3,000千円	3,000千円	3,000千円	

611 空き店舗の有効活用に向けた取組み

空き店舗を活用した商店街の振興を支援します。

施策コード	611	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
商店街パワーアップ 支援事業の実施 再掲609	イベント・活性化	同左	同左	
事業費	89,080千円	※※※千円	※※※千円	

612 駐車・駐輪問題の解決に向けた取り組み

駐車場、駐輪場等の整備及び利用者のマナーの向上を図るため、関係機関等と協力・連携しながら、各商店街の地域性を踏まえ、課題の解決に向けた取り組みの推進に努めます。

施策コード	612	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
商店街パワーアップ 支援事業 再掲 609		イベント・活性化	同左	同左
事業費		89,080千円	※※※千円	※※※千円

613 大規模商業施設、深夜営業商業施設の生活環境との調和

大規模商業施設、深夜営業商業施設等の出店に当たっては、大規模小売店舗立地法、住宅等整備事業における基準等に関する条例に基づき適確な指導を実施するとともに、江戸川区大規模小売店舗連絡会を開催する等、周辺の良い住環境の保持に努めます。

614 生活サービス業の活性化

地域コミュニティにおける役割の一端を担い、区民生活に密着した公衆浴場等の生活サービス業の利用を促進し、その活性化を図ります。

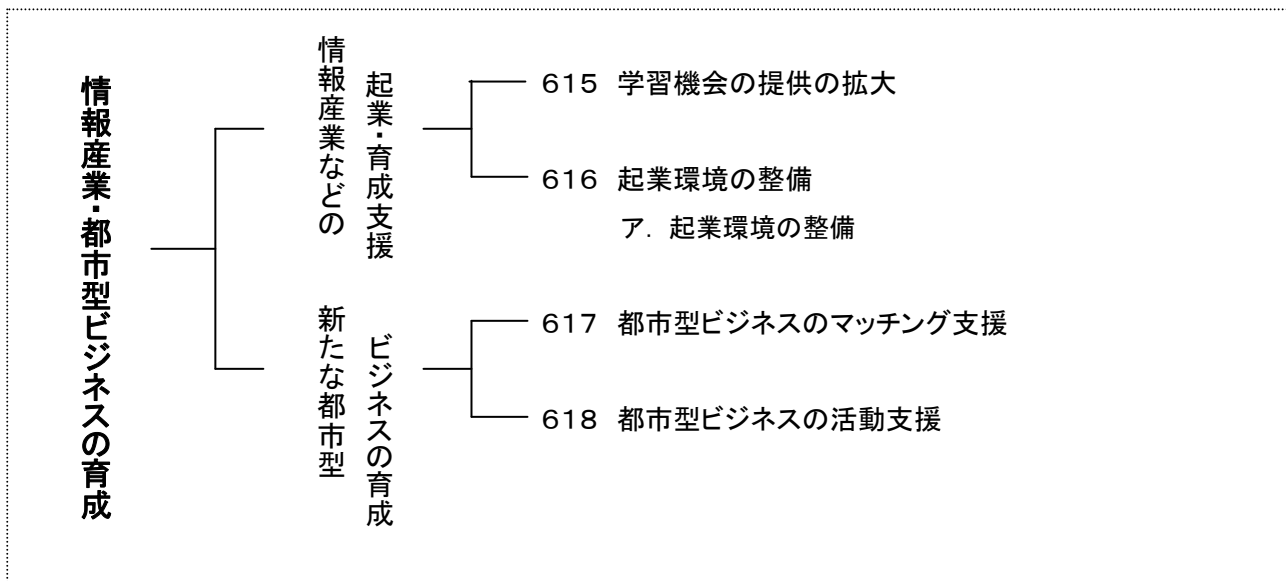
3 情報産業・都市型ビジネスの育成

【施策の考え方】

産業のソフト化・サービス化の進展により、情報産業をはじめ、環境関連産業、福祉サービス産業等の新しい都市型ビジネス(コミュニティビジネス等)が急成長しており、地域の生活者である区民自身が、自分たちの地域が抱える課題を解決し、地域の活性化に努めています。

このため、区では、情報産業等を区の新たな活力産業と位置づけ、重点的に支援するとともに、よりよい地域社会の実現のためにも、環境関連産業や福祉サービス産業等の新しい都市型ビジネスを積極的に育成します。

【施策体系図】



(1)情報産業などの起業・育成支援

615 学習機会の提供の拡大

情報産業等の起業を支援するため、実践的かつ効果的な学習機会等の提供に努めます。

616 起業環境の整備

学習機会の提供、相談体制の整備等の、起業に関する計画から起業後の活動に係る支援を一貫して行うことにより、区内の起業家の育成を図ります。

施策コード	616	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容	起業環境の整備	起業家ゼミナールの実施	同左	同左
		ビジネスプランコンテストの開催	同左	同左
		インキュベーションオフィスの研究	インキュベーションオフィスの整備	インキュベーションオフィスの運営
事業費		3,410千円	7,410千円	4,130千円

(2)新たな都市型ビジネスの育成

617 都市型ビジネスのマッチング支援

都市型ビジネスにおける優れたアイデアの事業化・製品化を支援するために、新たな分野への進出を図る企業、研究開発機関等との連携の場の提供に努めます。

618 都市型ビジネスの活動支援

都市型ビジネスのマーケティングを支援するため、中小企業診断士をはじめとする専門の相談員(テクニカルマネージャー)による製品開発、販路開拓、起業、事業継続の可否等を含めた、総合的かつ継続的な相談支援を行います。

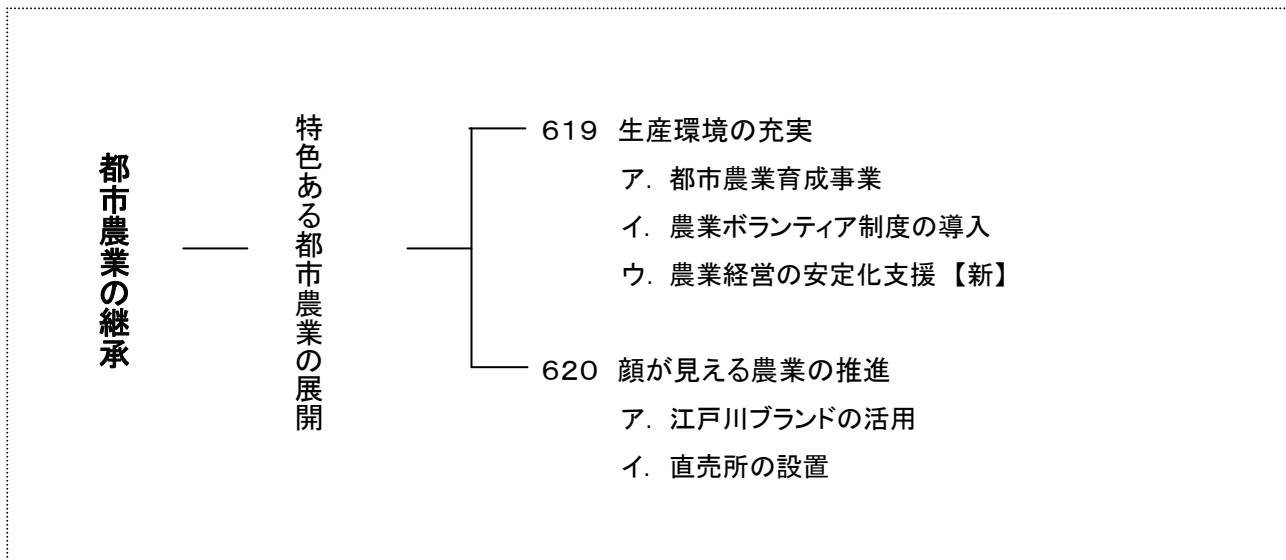
4 都市農業の継承

【施策の考え方】

区の農業は、小松菜や花卉等の特産物を有し、都市農業としては日本一ともいえる高い生産性を誇っています。しかし、農地面積は年々減少を続けているほか、輸入農産物の増加による競争の激化等、区の農業を取り巻く状況はいつそう厳しさを増しており、都市農業の存続が懸念されています。

このため、区では、農地の保全に最大限努めるとともに、小松菜、花卉等の特産物を貴重な地域資源として守り、特色ある地域産業として新たな展開を図ります。

【施策体系図】



(1)特色ある都市農業の展開

619 生産環境の充実

農地の保全及び安定した農業経営の継続を図るため、農業を支援する融資の斡旋を検討するとともに、生産緑地の維持及び新規の指定、税制の優遇措置の要望等に努めます。併せて、都市農業の高い生産性を維持するため、都市農業育成事業の充実及び環境に配慮した農業経営の推進を図ります。

また、高齢化、後継者不足等により十分な活動を行えない農家を支援するとともに、区民と農業者の交流を深めることに資するため、農業ボランティア制度*の充実等を図り、農家とボランティアの連携を支援します。

※農業ボランティア制度：高齢化や後継者不足等の理由により、十分な活動が行えない農家にボランティアを派遣する制度。

施策コード	619	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
都市農業育成事業	都市農業基盤整備事業・都市農業生産支援事業の実施	同左	同左	
事業費	26,000千円	26,000千円	26,000千円	
農業ボランティア制度の推進	各種メニューの提供	同左	同左	
事業費	896千円	896千円	896千円	
農業経営の安定化支援【新】	(仮称)農業支援資金融資あっせんの創設	(仮称)農業支援資金融資あっせんの運営	(仮称)農業支援資金融資あっせんの運営	
事業費	※※※千円	※※※千円	※※※千円	

620 顔が見える農業の推進

区の特産農産物について、農家、弘前大学及び区が連携して実施する「えどがわ農業産学公プロジェクト」、ロゴマーク、キャッチフレーズ等を活用しながら、江戸川ブランドの確立を図ります。併せて、「花と野菜のゆめワールド」において、都市農業の振興を区内外に広報します。

また、地産地消の推進を図るため、直売会・庭先販売所を支援します。併せて、都市農業に対する理解を促進するため、区民農園・ふれあい農園の活用等を図るとともに、保育園、幼稚園、学校等と連携しながら、農業の体験学習の推進及び学校給食における区内農産物の活用にも努めます。

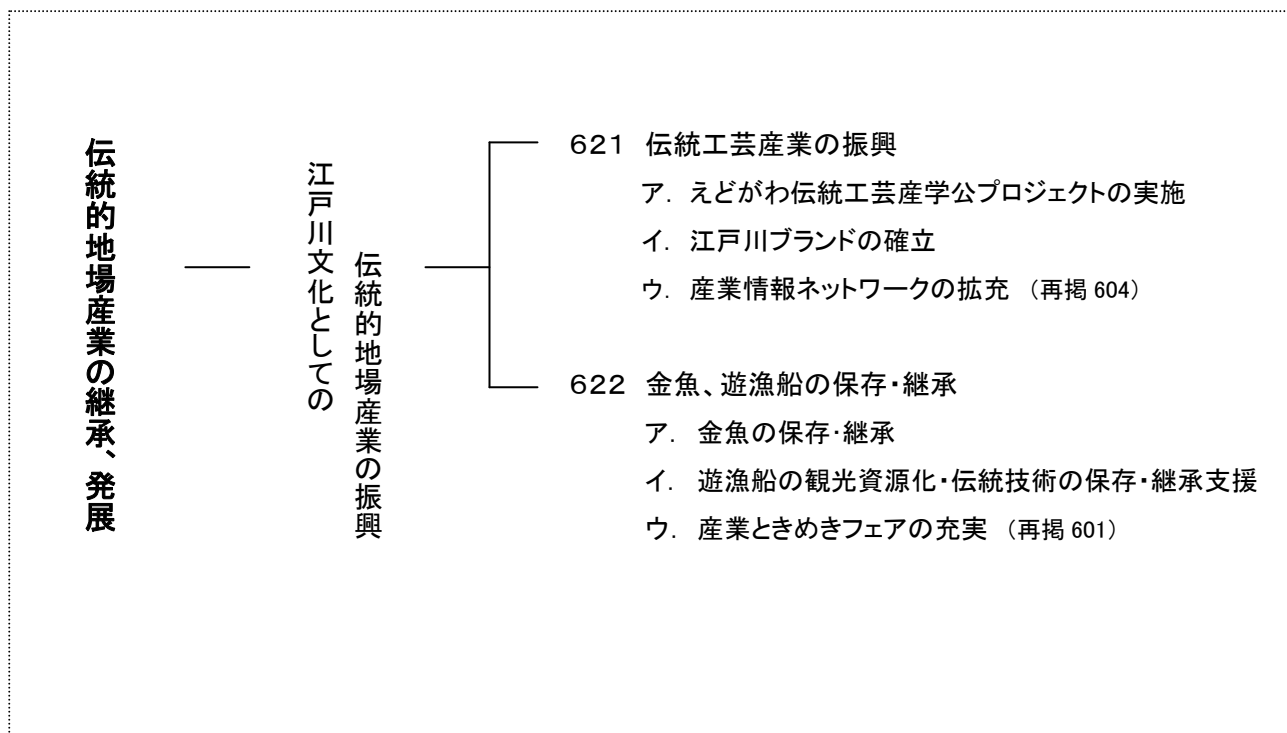
施策コード	620	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
江戸川ブランドの活用	市場出荷に活用	同左	同左	
	イベント等のキャンペーン活動	同左	同左	
	広報活動の強化	同左	同左	
事業費	1,626千円	1,626千円	1,626千円	
直売所の設置	直売会・庭先販売所のPRの充実	同左	同左	
事業費	1,046千円	1,046千円	1,046千円	

5 伝統的地場産業の継承、発展

【施策の考え方】

区には、伝統工芸品、金魚、花火等の長い歳月と人が織りなす伝統的地場産業が存在し、江戸川の独特の文化を形成しています。これからも、伝統工芸品の高度な技術と製品を次代に継承していくために、国及び都等との連携を進め、計画的な振興を図ります。また、金魚は区の伝統ある貴重な地域資源として保存・継承を図ります。

【施策体系図】



(1)江戸川文化としての伝統的地場産業の振興

621 伝統工芸産業の振興

新製品の開発、販路の拡大、江戸川ブランドの確立等「えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト」を推進します。併せて、区内の産業を担う工業・商業・農業・伝統工芸等を区内外に広く紹介するとともに、区内中小企業のマーケティング等を支援するため、産業情報の拠点として、Ei-net※(えいネット)のコンテンツの充実を図ります。

※ Ei-net: 中小企業支援、農業・工業・商業・伝統工芸等の産業の紹介、関連イベント等の情報を掲載した、区のホームページ

施策コード	621	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
えどがわ伝統工芸産学公プロジェクトの実施		新製品開発 広報・販路開拓	同左	同左
事業費		15,611千円	15,611千円	15,611千円
江戸川ブランドの確立		edogawa3の ブランディングを推進	同左	同左
事業費		15,611千円	15,611千円	15,611千円

産業情報ネットワークの拡充 再掲 604	えどがわ伝統工芸 ワールドの拡充・更新	同左	同左
	えどがわ花と野菜の ゆめワールドの拡充・更新	同左	同左
	えどがわ商業ワールド の拡充・更新	同左	同左
	ものづくりMAP の拡充・更新	同左	同左
事業費	10,099千円	10,099千円	10,099千円

622 金魚、遊漁船の保存・継承

特長ある観光資源として、区内外に広く紹介し、区民と生産者の交流を促進するとともに、伝統的な技法を保存・継承する団体の活動を支援します。

施策コード	622	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
金魚の保存・継承	金魚まつりの実施	同左	同左	同左
	観賞魚フェアの後援等	同左	同左	同左
	金魚マスコットの広報等	同左	同左	同左
事業費	3,739千円	3,739千円	3,739千円	3,739千円
遊漁船の観光資源化・ 伝統技術の保存・継承支援	広報活動の充実	同左	同左	同左
	団体支援	同左	同左	同左
事業費	192千円	192千円	192千円	192千円
産業ときめきフェアの充実 再掲 601	ビジネスマッチングの場 の拡充	同左	同左	同左
	製作実演・体験コーナー の拡充	同左	同左	同左
	産業教育の場 の拡充	同左	同左	同左
事業費	12,664千円	12,664千円	12,664千円	12,664千円

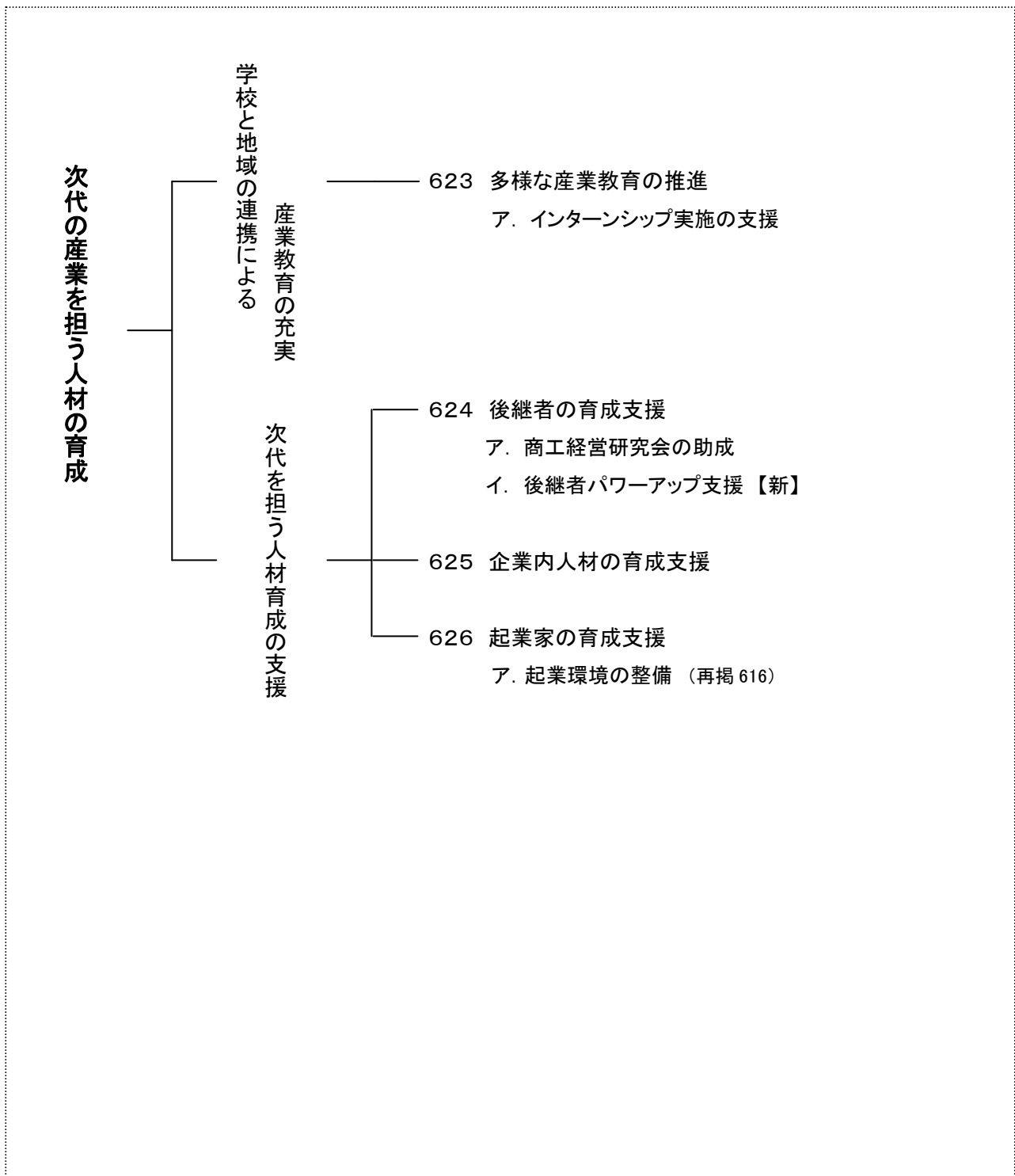
6 次代の産業を担う人材の育成

【施策の考え方】

経営者、技術者等の高齢化により、経営の後継者、技術の継承者の不足等が深刻化しています。優れた技術の喪失や後継者不足による事業所、店舗等の閉鎖はまちの活力の減退の一因となる恐れがあります。

このため、区では、区内産業の活力を維持、発展させていくために、学校と地域の連携による産業教育の充実を図るとともに、後継者の確保、新しい産業を創出する若手人材の育成、若い技術者への技術の継承等の次代を担う人材育成を支援します。

【施策体系図】



(1) 学校と地域の連携による産業教育の充実

623 多様な産業教育の推進

産業界、青年会議所・各種産業団体との連携を図りながら、インターンシップを受け入れる企業等を紹介し、その実施を支援します。

施策コード	623	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
インターンシップ実施の支援		インターンシップ 受入先の紹介	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

(2) 次代を担う人材育成の支援

624 後継者の育成支援

青年会議所と協力して、経営者となるために必要な知識の習得等を図る後継者のスキルアップセミナーを実施します。併せて、商店街連合会と協力して、商店会活動に必要な人材の発掘・育成を図るためのセミナーを実施します。

施策コード	624	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
商工経営研究会の助成		講師の派遣	同左	同左
事業費		1,000千円	1,000千円	1,000千円
後継者パワーアップ支援 【新】		スキルアップセミナー等 の開催	同左	同左
事業費		360千円	360千円	360千円

625 企業内人材の育成支援

実践的かつ効果的な学習機会の提供に努めます。

626 起業家の育成支援

学習機会の提供、相談体制の整備等、起業に関する計画から起業後の活動に係る支援を一貫して行うことにより、区内の起業家の育成を図ります。

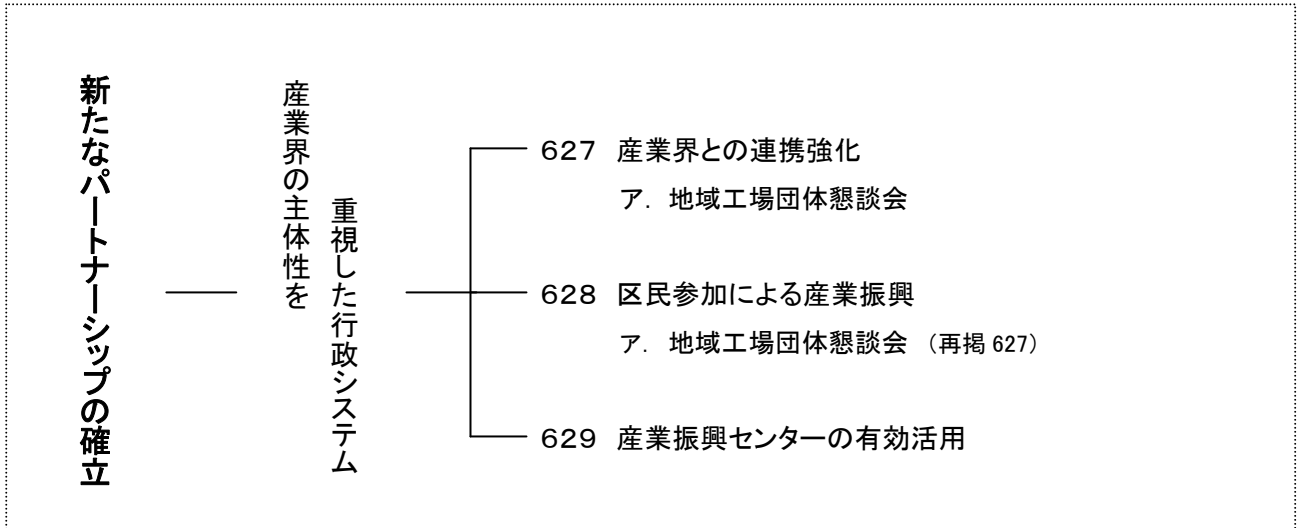
施策コード	626	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
起業環境の整備 再掲 616		起業家ゼミナール の実施	同左	同左
		ビジネスプランコンテスト の開催	同左	同左
		インキュベーションオフィス の研究	インキュベーションオフィス の整備	インキュベーションオフィス の運営
事業費		3,410千円	7,410千円	4,130千円

7 新たなパートナーシップの確立

【施策の考え方】

区では、多くの区民の声を活かしながら、産業政策の立案等を行ってきました。これからも、行政、産業関係者、各企業、消費者としての区民等を含めた、それぞれの立場での意見を交換しながら施策の方向を見出していく政策形成を進めるとともに、よきパートナーとして区内産業を下支えする効果的なしくみづくりを図ります。

【施策体系図】



(1) 産業界の主体性を重視した行政システム

627 産業界との連携強化

628 区民参加による産業振興

産業構造の変化に伴う諸課題の解決を図り、効果的な産業振興施策の企画立案を支援するため、区内企業の現状を把握する場を設けます。

施策コード	627・628	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
地域工場団体懇談会		課題等に応じて開催	同左	同左
事業費		409千円	409千円	409千円

629 産業振興センターの有効活用

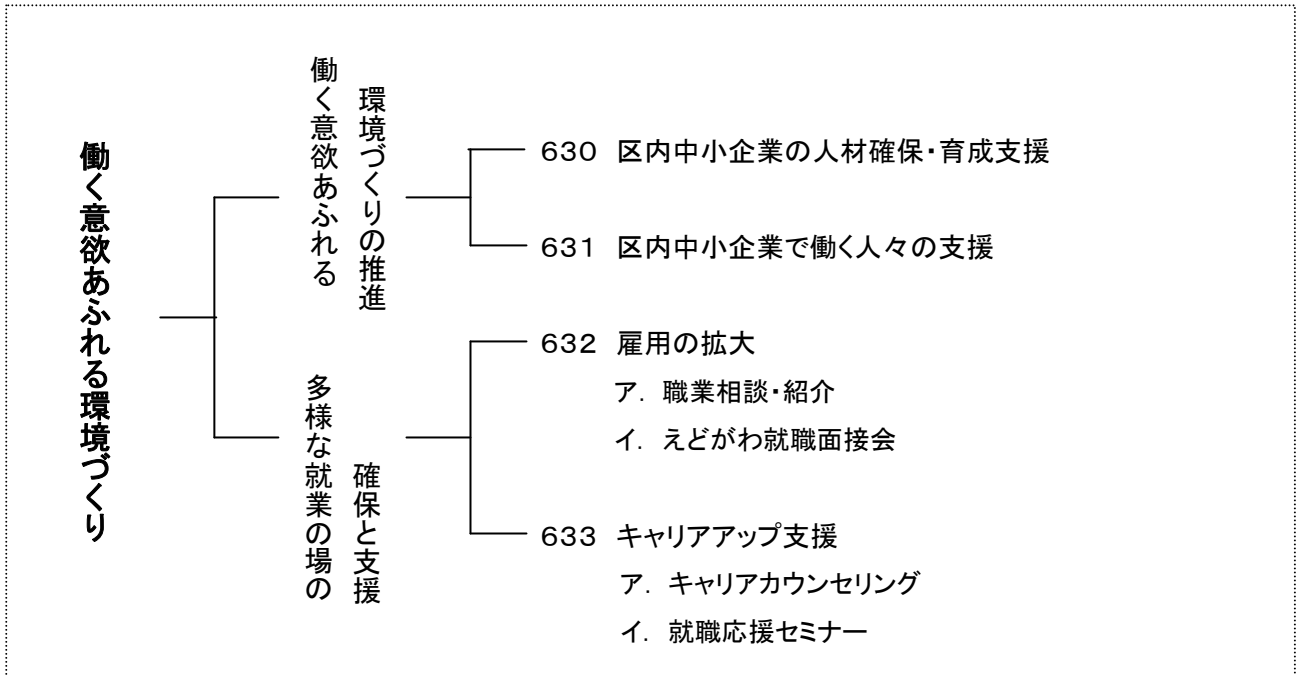
区内各産業関係者が有効に産業振興センターを活用できるよう運営の充実を図ります。

8 働く意欲あふれる環境づくり

【施策の考え方】

区内中小企業で働く人々が安心していきいきと働けることが、まちのにぎわいと活力を創造します。そのために、労働環境の改善、福祉制度の充実等を図り、働く意欲あふれる環境づくりを推進します。また、一部では厳しい雇用情勢が続いており、新しい時代に併せた、区民の就業の場を柔軟に確保するとともに、雇用を多様化させることが必要であり、多様な就業の場の確保と支援を図ります。

【施策体系図】



(1)働く意欲あふれる環境づくりの推進

630 区内中小企業の人材確保・育成支援

ハローワークとの連携を図りながら、えどがわ就職面接会の開催等を実施し、区内中小企業の円滑な広報及び求人活動を支援します。

631 区内中小企業で働く人々の支援

区内中小企業で働く人々の福祉の向上を図るため、企業の福利厚生事業における区の施設の活用の促進等に努めます。併せて、労働衛生の向上のため、江戸川地域産業保健センター等との連携を図りながら、労働環境の向上、職業相談の充実等に努め、区内中小企業で働く人々を支援します。

(2)多様な就業の場の確保と支援

632 雇用の拡大

ハローワークとの連携を図りながら、「ほっとワークえどがわ」の就業相談、中高年齢者・若年者を対象とした就職面接会の開催等の就労支援を行います。

施策コード	632	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
職業相談・紹介	フルタイム・パート・内職の職業相談・紹介	同左	同左	
	就職情報の提供	同左	同左	
	出張相談の実施	同左	同左	
事業費	15,654千円	15,654千円	15,654千円	
えどがわ就職面接会	対象年齢、業種等を絞った面接会及び小規模面接会の開催	同左	同左	
事業費	536千円	536千円	536千円	

633 キャリアアップ支援

「ヤングほっとワークえどがわ」において、若年層を対象としたキャリアカウンセリング等を実施します。併せて、ニート・フリーターをもつ保護者を対象とした就労支援セミナーを開催します。

また、独立行政法人雇用・能力開発機構及びハローワークとの連携を図りながら、若年者を対象とした就職応援セミナーを開催します。

さらに、「ほっとワークえどがわ」において、中高年齢者を対象とした就職ガイダンスセミナーを開催します。

施策コード	633	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
キャリアカウンセリング	キャリアカウンセリング (ヤングほっとワークえどがわ)	同左	同左	
	パソコンを利用した 適職診断	同左	同左	
事業費	5,953千円	5,953千円	5,953千円	
就職応援セミナー	若年者就職応援セミナー (ヤングほっとワークえどがわ)	同左	同左	
	ニート・フリーター 就労支援セミナーの開催 (ヤングほっとワークえどがわ)	同左	同左	
	就職ガイダンスセミナー (ほっとワーク)	同左	同左	
事業費	156千円	156千円	156千円	

第6節

区民の暮らしをカブよく 支えるまちづくり

- 1 都市基盤の充実・質の向上
 - (1) 土地利用と市街地整備の方針
 - (2) 区民発意のまちづくりの推進
 - (3) 木造密集市街地の改善
 - (4) 良好な市街地環境の創出
 - (5) 大規模公園予定地の整備
 - (6) 地域生活圏と中心核の整備

- 2 利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備
 - (1) 道路ネットワークの形成
 - (2) 鉄道の整備
 - (3) 楽しく快適に移動できる交通
 - (4) 情報通信ネットワーク化の推進

- 3 地域の魅力を高めるまちづくり
 - (1) 水と緑にあふれる都市環境の充実
 - (2) 美しい都市景観づくり
 - (3) 住みよく永住できる居住環境づくり
 - (4) 歩いて楽しめる個性あるまち
 - (5) 安心して生活できるまちづくり

- 4 安全で災害に強いまちづくり
 - (1) 防災まちづくり
 - (2) 防災体制の充実
 - (3) みんなで守るまちづくり

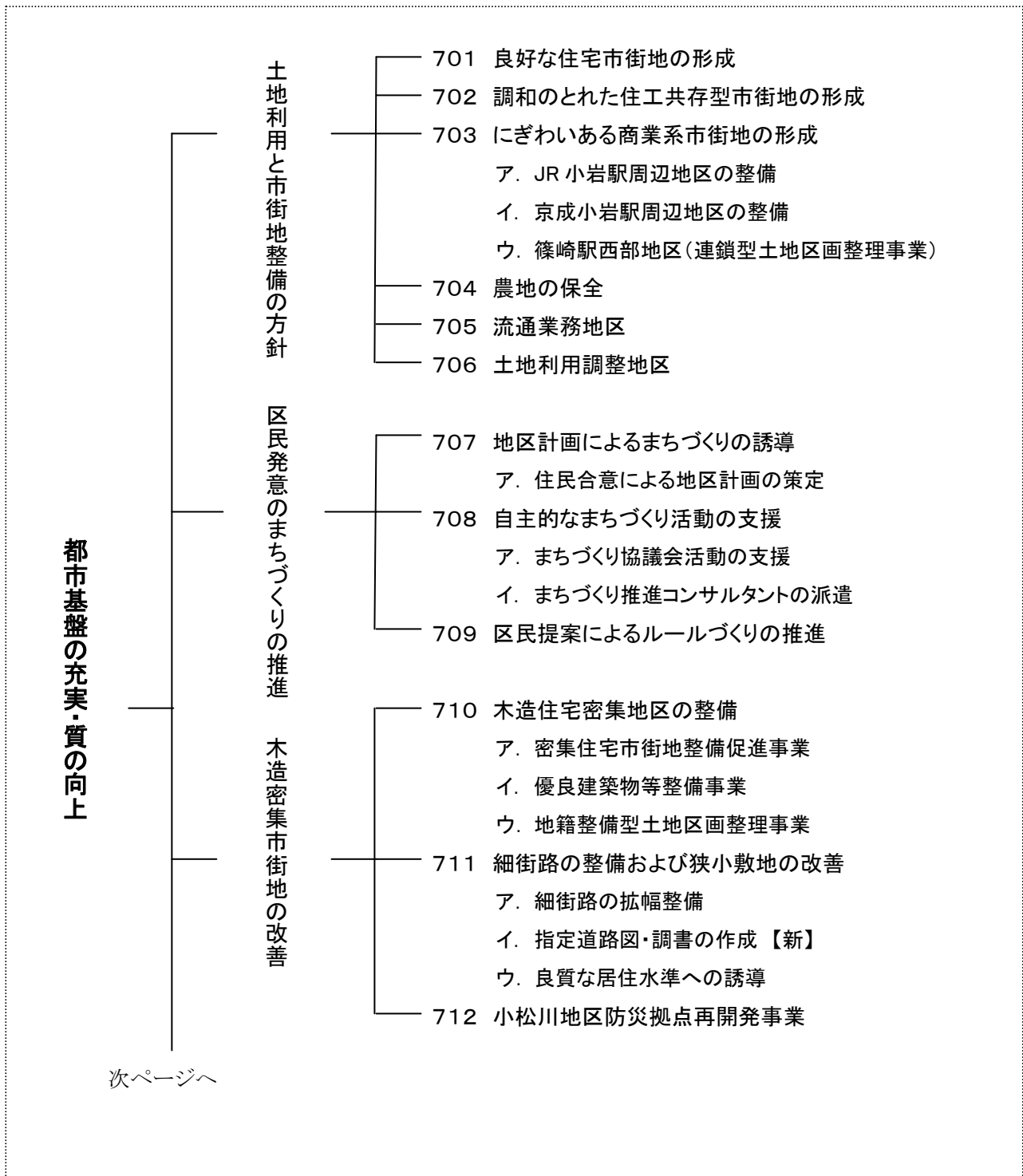
1 都市基盤の充実・質の向上

【施策の考え方】

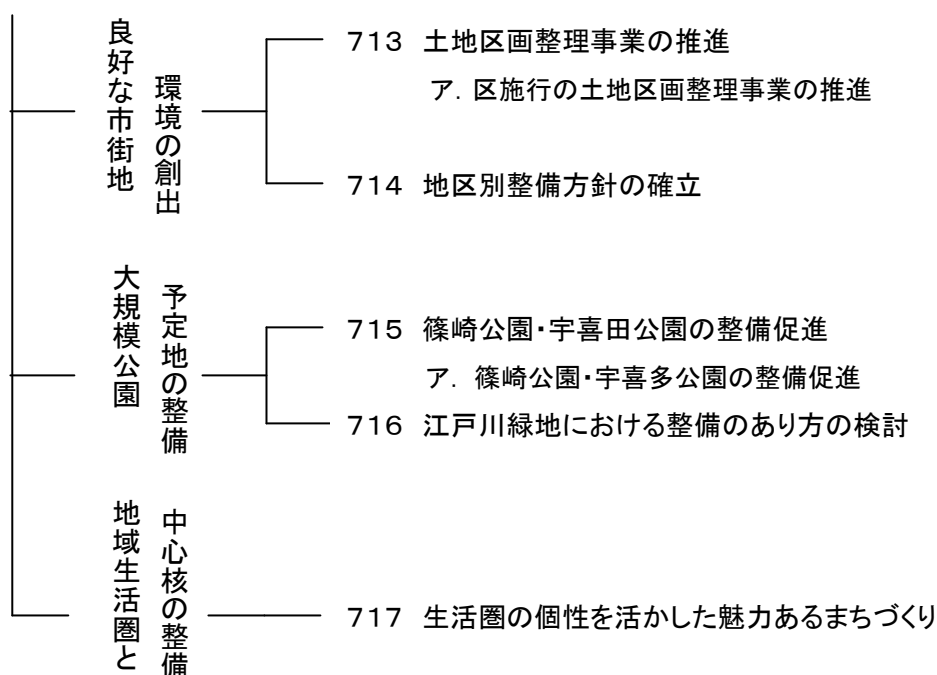
「江戸川区街づくり基本プラン」に基づき、安全で魅力ある都市の形成を目指して、計画的なまちづくりを進めます。特に、区民生活の質が高まるよう、社会経済状況の変化及び価値観の多様化に対応した、土地利用、市街地整備等に取り組みます。

併せて、これからのまちづくりにおいて、区民が主体的に活動するとともに、地域毎に将来のまちの姿について区民と区が認識を共有しつつ、地区の個性に応じた区民発意のまちづくりを進めます。

【施策体系図】



前ページより



(1) 土地利用と市街地整備の方針

701 良好な住宅市街地の形成

地域地区※指定、地区計画※等を活用し、土地の細分化防止、建物の高さ規制等によって、地区ごとの特性にあわせた良好な住環境の創出及び保全を図ります。

また、木造住宅密集地区※については、密集住宅市街地整備促進事業※を活用することにより、生活道路を拡幅し、安全な住宅市街地の形成を図ります。併せて、建替え更新時に狭あい道路の拡幅整備、狭小敷地の改善のための隣接敷地買い増しの誘導等を図るとともに、一定規模の土地の開発に当たっては、周辺の住環境と調和のとれた土地利用を誘導します。

※ **地域地区**：都市計画区域内の土地を利用目的によって区分し、建築物などについて必要な制限を課すことにより、土地の合理的利用を図るもの。

※ **地区計画**：小規模な地区を対象として、用途地域では決められない詳細な土地利用、建築の形態などを定める計画。

※ **木造住宅密集地区**：木造住宅の密度が高く、その中に老朽住宅が相当数含まれ、道路等の公共施設整備の水準が低く、防災危険度が高い地区。

※ **密集住宅市街地整備促進事業**：老朽木造住宅が密集している地区において、道路、公園等の公共施設、生活環境施設の整備、老朽木造住宅の建替え等を促進し、居住環境の向上、良質な住宅供給等を行う事業。

702 調和のとれた住工共存型市街地の形成

用途地域※、特別用途地区※、地区計画等を活用することにより、地区ごとの特性にあわせたきめ細かい地区ルールづくりを推進し、住工が共存する環境の整備に努めます。

また、工業系用途地域内での集合住宅等の土地利用の転換に当たっては、周辺環境との調和に配慮した建設計画を誘導します。

※ **用途地域**：住宅・商店・工場などが混在して立地するのを防ぐため、地域ごとに建てられる建物の種類を規制したもの。

※ **特別用途地区**：地域地区の目的を基本とし、これを補完するため、建築基準法に基づき地区の特性、課題等に応じて地方公共団体の条例で建築物の用途に係る規制の強化又は緩和を行うもの。（本区の場合は、特別業務地区、特別工業地区の2種類を指定）

703 にぎわいある商業系市街地の形成

主要鉄道駅の周辺については、商業、交通等の拠点となるべく、それにふさわしい土地利用を誘導し、にぎわいのある商業系機能、事務所等の業務機能等の充実を図ります。特に、JR 小岩駅周辺地区については、道路、駅広場等の基盤整備計画の早期決定及び地区別の事業を推進します。京成小岩駅周辺地区については、地域協議を促進し、早期に事業化を図るとともに、駅前広場等の基盤整備計画の策定を推進します。

また、篠崎駅周辺地区については、土地区画整理事業に併せた駅前の開発を促進します。

施策コード	703	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
JR小岩駅周辺地区の整備		事業計画の推進	基盤整備計画の決定	地区別の事業推進
事業費		39,397千円	※※※千円	※※※千円
京成小岩駅周辺地区の整備		地域との協議 基盤整備計画の検討	事業計画の推進	同左
事業費		3,150千円	※※※千円	※※※千円
篠崎駅西部地区 (連鎖型土地区画整理事業)		篠崎駅前街区 区民施設・駐輪場竣工		
事業費		— 千円		

「—」: 事業費は、区施行の土地区画整理事業の推進(施策コード 713)のなかで計上しています。

704 農地の保全

生産緑地地区の追加指定を行い、農地の保全に努めます。

705 流通業務地区

東京東部の流通拠点としての環境を維持するとともに、高機能な物流拠点としての適切な誘導を図ります。

706 土地利用調整地区

大規模な都市機能の転換に当たっては、地区の立地特性、機能特性等を考慮しながら、特別用途地区、地区計画等の活用を図り、都市の魅力と活力につながる土地利用の促進に努めます。

(2) 区民発意のまちづくりの推進

707 地区計画によるまちづくりの誘導

住民の理解と参加による地域の特性にあった地区計画を策定し、建築物、土地利用等の規制、誘導及び一部事業の導入によるまちづくりを推進します。なお、東京都が策定した「土地区画整理事業を施行すべき区域※」見直しガイドラインに基づいた都市計画変更を適宜行います。

※土地区画整理事業を施行すべき区域：戦災復興のもとに市街地の拡大を抑止するために緑地として整備することを指定された旧緑地地域を指定解除することに伴って、土地区画整理事業により基盤整備水準を上げる予定地域として指定された区域。

施策コード		707	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
住民合意による地区計画の策定	一之江三丁目南地区	地区計画決定	運用・実現	同左	
	中葛西八丁目地区				
	二之江西地区				
	篠崎駅西部地区 (七丁目その他街区)	地区計画決定(追加)	地区計画決定(一部)	運用・実現 素案策定	
	江戸川五丁目付近地区	地区計画決定(一部)			
	東葛西一丁目付近地区	素案策定	素案策定	地区計画決定	
	北小岩一丁目東部地区	素案検討			
	上篠崎地区	素案検討(一部)	同左	同左	
事業費		5,205千円	5,300千円	5,300千円	

708 自主的なまちづくり活動の支援

まちづくり協議会等の活動の支援、景観づくり活動支援のための必要に応じた専門家の派遣等を行うことにより、住民参加による自主的なまちづくりの推進を図ります。

施策コード		708	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
まちづくり協議会活動 の支援		6地区	同左	同左	
事業費		— 千円	— 千円	— 千円	
まちづくり推進コンサルタント の派遣		2地区	同左	同左	
事業費		300千円	300千円	300千円	

「—」:事業費は、地区計画の策定(施策コード 707)、密集住宅市街地整備促進事業(施策コード 710)及び区施行の土地区画整理事業の推進(施策コード 713)のなかで計上しています。

709 区民提案によるルールづくりの推進

区民提案による地区計画、建築協定*等の地区のルールづくりを推進します。

※ 建築協定：土地所有者等の全員の合意によって建築物の敷地、位置、構造、用途、形態、意匠等の基準を定めた協定。

(3) 木造密集市街地の改善

710 木造住宅密集地区の整備

主要生活道路及び防災生活道路、防災性を向上する公園、広場等の整備を促進し、老朽化した建築物の建替え、不燃建築物の誘導等を図ることにより、燃えにくい街の形成に努め、安全性及び防災性の高い市街地の形成を図ります。また、市街地環境の向上を図る優良建築物等整備事業*、地籍混乱の解消を図る地籍整備型土地区画整理事業*等の実施を支援します。

※ 優良建築物等整備事業：既成市街地において、土地利用の共同化、高度化等に寄与する優良建築物の整備促進を図ることにより、市街地環境の改善、住宅供給等を促進する事業。

※ 地籍整備型土地区画整理事業：都市部で地籍整備が緊急に求められる地域のうち、地籍混乱が生じている地域において、土地区画整理事業の実施により大きな整備効果が得られる事業。

施策コード		710	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
密集住宅市街地整備促進事業	南小岩七・八丁目地区	道路拡幅整備	道路拡幅・公園整備	同左	
	松島三丁目地区				
	下鎌田東地区				
	一之江四丁目南地区				
	春江町三丁目南地区				
	江戸川一丁目地区	道路拡幅・公園整備道	事業開始	道路拡幅・公園整備	
	一之江三丁目南地区	道路拡幅整備			
	中葛西八丁目地区	事業計画策定調査			
	二之江西地区				
事業費		667,354千円	700,000千円	840,000千円	

優良建築物等整備事業 上篠崎4丁目 22 番地地区	共同施設整備助成		
事業費	17,500千円		
地籍整備型 土地区画整理事業 西篠崎地区	換地計画助成 清算事務	清算事務 組合解散	
事業費	26,000千円	0千円	

711 細街路※の整備および狭小敷地の改善

区民及び事業者の理解と協力を得ながら、助成金制度の活用を図りつつ、細街路の拡幅整備を推進します。また、指定道路図・調書を作成し、閲覧に供することにより、建築行為全般を円滑に推進するよう図ります。

併せて、70㎡を超える土地の購入に対し資金を貸し付けることにより、敷地規模の拡大を促進し、居住環境の向上及び良好な市街地の形成を図ります。

※ 細街路:幅員4m未満の道路

施策コード	711	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
細街路の拡幅整備	区施工 2,400m	同左	同左	
	自己施工(助成)400m	同左	同左	
事業費	160,440千円	160,440千円	160,440千円	
指定道路図・調書の作成 【新】	指定道路調書作成	建築情報管理システム への取込等	閲覧開始	
事業費	44,195千円	※※※千円	※※※千円	
良質な居住水準への誘導	街づくり宅地資金貸付 5件	同左	同左	
事業費	40,000千円	40,000千円	40,000千円	

712 小松川地区防災拠点再開発事業

平成20年度の事業終了に向け、東京都と未着工街区の調整を進めます。

また、スーパー堤防※整備事業については、東京都及び国土交通省と積極的に調整を進めます。

※ スーパー堤防:河川後背地の再開発等と併せて堤防背面の盛土を行い、耐震性および親水性の向上を図った堤防。

(4) 良好な市街地環境の創出

713 土地区画整理事業※の推進

災害に強い住みよいまちづくりを推進するため、土地区画整理事業による都市基盤整備を推進します。併せて、組合施行及び東京都施行による事業については早期完成を要請します。

また、まちづくり協議会の活動を支援し、住民参加による自主的なまちづくりの推進を図ります。

※土地区画整理事業：土地所有者などから土地の一部を提供してもらい、道路、公園等に活用し、市街地を面的に整備することで居住環境を向上させ、一方で宅地を整形化し利用増進を図ることを目的とした事業。

施策コード		713	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
区 施 行 の 土 地 区 画 整 理 事 業 の 推 進	(篠崎駅西部地区) 連鎖型土地区画整理事業	篠崎駅前街区 区民施設・駐輪場竣工 換地処分	清算事務		
		上篠崎四丁目街区 共同化住宅竣工 換地処分	清算事務		
		七丁目4・5・8・9街区 公園整備 換地処分	清算事務		
		七丁目その他街区 事業認可	仮換地指定	移転造成工事 建物再建	
		まちづくり協議会 活動支援	同左	同左	
		事業費	197,400千円	1,000,000千円	1,000,000千円
	(瑞江駅北部地区)	換地計画・処分	清算事務 公園整備(400㎡)		
	事業費	61,400千円	50,000千円	千円	
	(一之江駅西部地区)	換地計画 公園整備(1,200㎡)	換地処分	清算事務 公園整備(400㎡)	
	事業費	401,800千円	50,000千円	20,000千円	

714 地区別整備方針の確立

住民の理解と参加による地区計画を策定し、適正な土地利用の促進を図ります。

(5)大規模公園予定地の整備

715 篠崎公園・宇喜田公園の整備促進

篠崎公園・宇喜田公園について、周辺道路及び市街地整備と整合を図った整備の促進を都に要請します。

施策コード	715	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
篠崎公園・宇喜田公園 の整備促進		整備促進要請	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

716 江戸川緑地における整備のあり方の検討

スーパー堤防[※]等の基盤整備、周辺市街地における一定のみどり率の確保等を踏まえつつ、地域の実態を踏まえた整備のあり方を検討します。

※スーパー堤防:河川後背地の再開発等と併せて堤防背面の盛土を行い、耐震性および親水性の向上を図った堤防。

(6)地域生活圏と中心核の整備

717 生活圏の個性を活かした魅力あるまちづくり

区民生活の多様化を踏まえつつ、区内6つの地域(中央、小松川・平井、葛西、小岩、東部及び鹿骨)がそれぞれ快適性、利便性及び安全性を高め、区民が誇りと愛着をもって生活できるよう、個性的で魅力的なまちづくりを推進します。

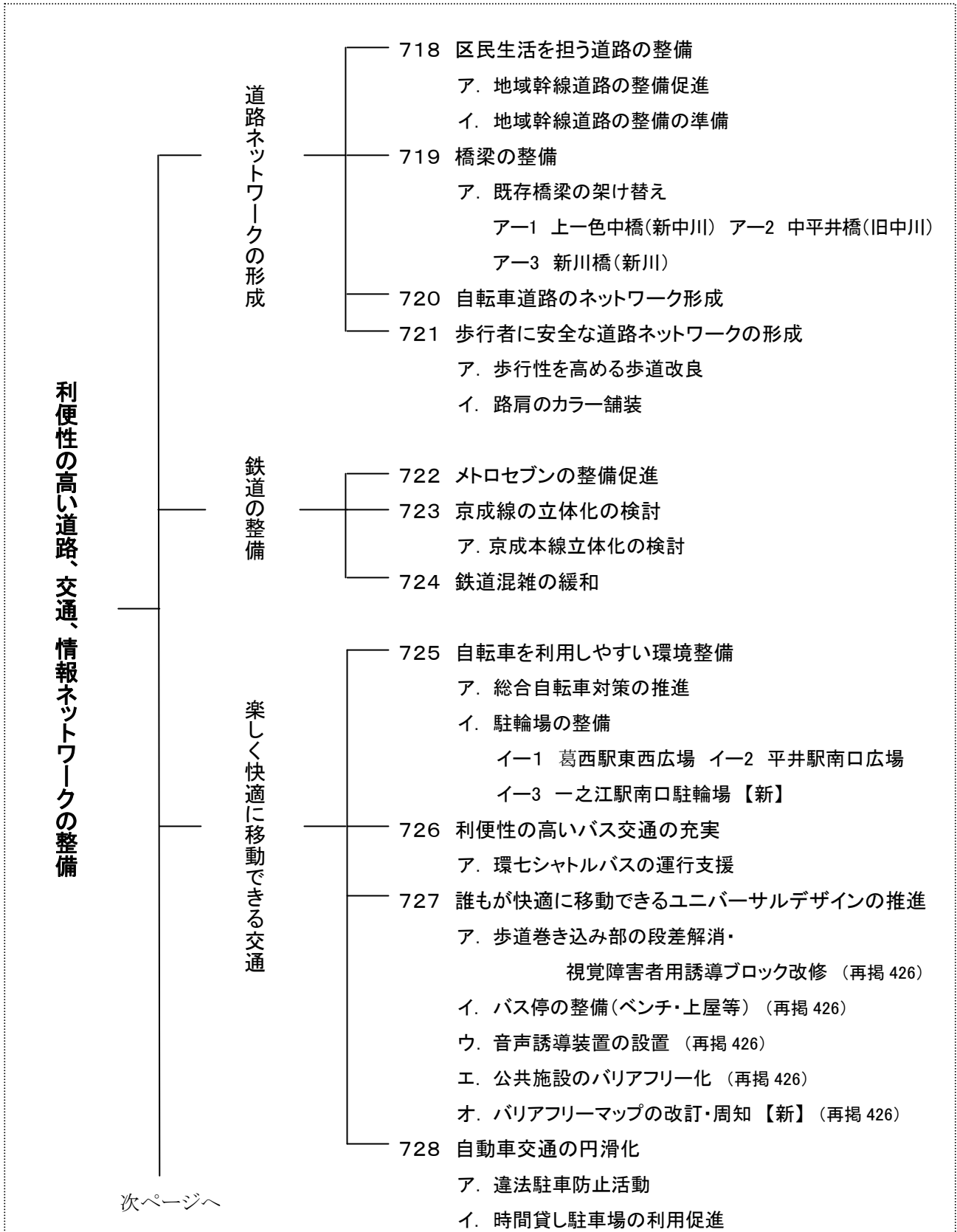
2 利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備

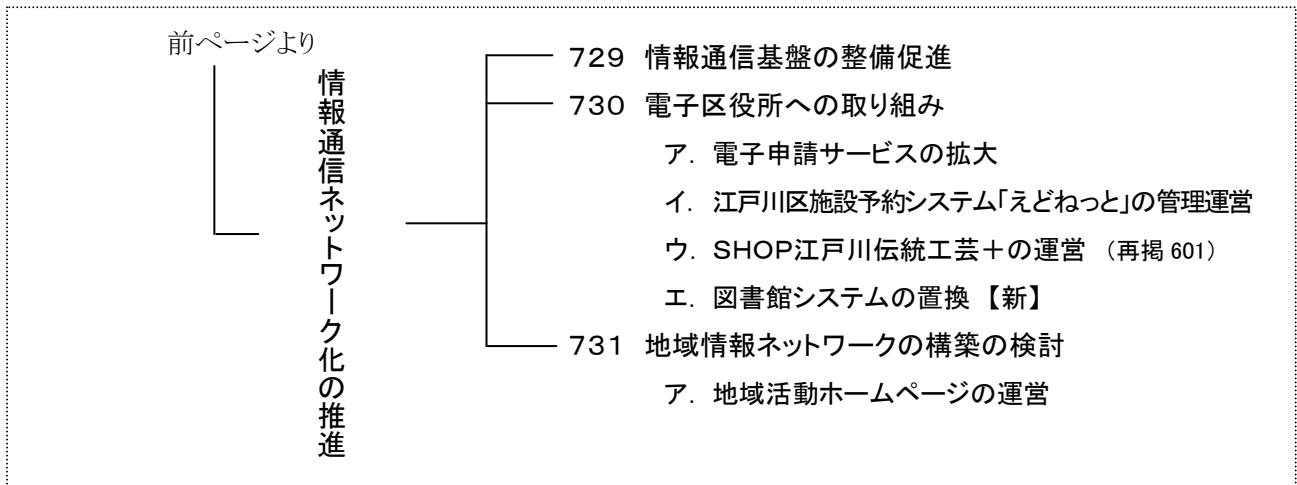
【施策の考え方】

都市計画道路、主要道路、橋梁の整備による道路ネットワーク、公共交通機関、自転車交通等を効果的に整備及び活用し、誰もが安心・快適に移動できるまちづくりを進めます。

また、高度情報化に対応した情報通信の利便性の高いまちを目指します。

【施策体系図】





(1)道路ネットワークの形成

718 区民生活を担う道路の整備

都市計画道路及び地域幹線道路の整備を推進し円滑な道路交通の確保及び質の高いまちづくりを推進します。併せて、電線類の地中化の推進を図ります。

特に都市計画道路補助第143号線(篠崎街道～旧江戸川護岸)については、その早期完成を図るため、区受託事業として推進します。また、都市計画道路補助第286号線及び補助第288号線(上篠崎)のルート変更を行い、スーパー堤防との一体的な整備を推進します。

施策コード		718		
計画事業内容		年次計画		
		20年度	21年度	22年度
地域幹線道路の整備促進	補助第264号線 (北小岩)	建物調査・算定 用地買収	建物調査・算定 用地買収	用地買収
	補助第284・288号線 (中央)	建物調査・算定 用地買収・道路整備	用地買収 道路整備	用地買収 道路整備
	補助第286号線 (中央)	建物調査・算定 用地買収	用地買収	用地買収
	補助第288号線 (南篠崎)	用地買収 道路整備	用地買収 道路整備	用地買収 道路整備
	補助第288号線 (上篠崎)	用地測量 建物調査・算定	建物調査・算定 用地買収	用地買収
	補助第288・290号線 (一之江)	用地買収	用地買収	用地買収 道路整備
	補助第289号線 (船堀)	用地買収 道路整備	道路整備(完成)	
	補助第289号線 (春江)	建物調査・算定	建物調査・算定 用地買収	建物調査・算定 用地買収

地域幹線道路の整備促進	補助第 289 号線 (江戸川)	建物調査・算定	建物調査・算定 用地買収	建物調査・算定 用地買収
	補助第 289 号線 (東葛西)	用地測量	建物調査・算定	建物調査・算定 用地買収
	区街 12 号線 (春江)	建物調査・算定 用地買収	道路整備(暫定完成)	
	事業費	2, 652, 119千円	3, 200, 000千円	3, 600, 000千円
	補助第 143 号線 (区受託事業)	用地買収	用地買収	用地買収
	事業費	364, 630千円	400, 000千円	400, 000千円
地域幹線道路の整備の準備	補助第288号線 (上篠崎)	事業認可	建物・調査算定 用地買収	用地買収
	事業費	11, 340千円	638, 170千円	1, 620, 000千円
	補助第286号線 (上篠崎)			地元説明 現況測量
	事業費			4, 840千円
	区画街路25号線 (上篠崎)			地元説明 現況・用地測量
	事業費			3, 480千円

719 橋梁の整備

老朽化した上一色中橋及び新川橋の架け替え工事を推進します。

また、区と千葉県を結ぶ計画の橋梁(補助143号線、放射16号線及び補助286号線の橋梁)等については、関係機関に対して早期整備を要請します。

施策コード	719	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
既存橋梁の架け替え	上一色中橋(新中川)	仮人道橋・旧橋撤去	橋台・橋脚工事	橋台・橋脚工事・ 桁製作
	事業費	166, 404千円	463, 000千円	675, 000千円
	中平井橋(旧中川) (墨田区と共同事業)	仮橋撤去・護岸工事 (橋は 20 年 3 月完成)		
	事業費	65, 101千円		
	新川橋(新川)	仮栈橋・橋台工事・ 桁架設工事	仮栈橋・橋台工事・ 桁架設工事	仮栈橋撤去・ 上部仕上工(完成)
事業費	536, 500千円	346, 000千円	137, 400千円	

720 自転車道路のネットワーク形成

利便性及び安全性の向上を図るため、自転車歩行者道路等の整備を推進し、自転車道路ネットワーク化に努めます。併せて、レクリエーション活動が身近に行えるよう、河川堤防上通路等の利用を図り、サイクリングロードの充実に努めます。

721 歩行者に安全な道路ネットワークの形成

老朽化した歩道及び街路樹の根上がり箇所等の補修を実施し、より安全で安心して歩ける歩道の整備に努めます。併せて、区内の交通事故減少を図るため、警察と連携しながら、交通事故多発路線を重点として安全対策等に取り組みます。

施策コード	721	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
歩行性を高める歩道改良		7路線 2,300m	同左	同左
事業費		256,000千円	256,000千円	256,000千円
路肩のカラー舗装		2,400m	同左	同左
事業費		47,000千円	47,000千円	47,000千円

(2) 鉄道の整備

722 メトロセブンの整備促進

「今後整備について検討すべき路線」として、運輸政策審議会答申に位置付けられている中、その実現に向けて、導入空間、システムの選択等について調査及び検討を行い、諸課題の解決に取り組みます。

723 京成線の立体化の検討

京成本線立体化について、東京都、葛飾区及び京成電鉄と、鉄道連続立体高架方式の調整を進めます。併せて、京成小岩駅及び江戸川駅の駅前広場の整備、再開発事業等の周辺まちづくりの検討、他の事業との調整等を図るとともに、地域で具体的なまちづくりに関する意見交換を行います。

施策コード	723	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
京成本線立体化の検討		京成本線立体交差化実現に向けて東京都等と調整		
事業費		6,650千円	※※※千円	※※※千円

724 鉄道混雑の緩和

各路線における通勤・通学の混雑緩和策の検討を、鉄道事業者に要請します。

(3) 楽しく快適に移動できる交通

725 自転車を利用しやすい環境整備

地域拠点にふさわしい交通処理機能及び美しさ、快適さ等をあわせもつ駅前広場の形成を図るため、葛西駅東西広場の修景工事及び平井駅南口広場の整備工事を推進します。また、一之江駅南口に駐輪場を新設します。

併せて、駅周辺の放置自転車防止活動をより効果的なものとするため、駅別の一括業務委託等を柱とする「総合自転車対策」を推進します。

施策コード		725	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
総合自転車対策の推進		駐輪場運營業務等の 駅別一括業務委託 10駅で実施	同左	同左	
事業費		1,251,090千円	1,260,000千円	1,262,000千円	
駐 輪 場 の 整 備	葛西駅東西広場 (20年4月から 駐輪場供用開始)	広場修景工事<完成>			
	事業費	284,280千円			
	平井駅南口広場	円形躯体築造工事 機械式駐輪 施設設置工事	機械式駐輪 施設設置工事 広場修景工事<完成>		
	事業費	509,250千円	30,000千円		
	一之江駅南口駐輪場 【新】	円形躯体築造工事	機械式駐輪 施設設置工事 広場景修工事<完成>		
事業費	624,750千円	31,500千円			

726 利便性の高いバス交通の充実

区内南北交通状況の改善を図る基幹的な公共交通軸の形成を目的として、平成19年度に実証運行を実施した環七シャトルバスの運行を継続して支援し、その運行の安定化に努めます。

併せて、バス利用の利便性の向上を図るため、既設路線の維持、新規路線の整備等事業者と協議及び調整を行います。

施策コード		726	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
環七シャトルバスの運行支援		運行支援			
		走行環境・魅力づくり支援	同左	同左	
事業費		51,518千円	※※※千円	※※※千円	

727 誰もが快適に移動できるユニバーサルデザイン※の推進

バリアフリー※のまちづくりを進めるために、歩道巻き込み部の段差解消・視覚障害者用誘導ブロック改修、音声誘導装置の設置、バス停の整備等を推進するとともに、エレベーター、自動扉の設置等のバリアフリー化を推進します。また、バリアフリーマップの改訂版を作成し、その周知及び活用に努めます。

併せて、誰もが利用しやすく快適に移動できる駅の整備を、鉄道事業者に要請します。

※ユニバーサルデザイン：年齢、性別、障害の有無などにかかわらず、どんな人でも使えるように設計されたデザイン。

※バリアフリー：人が生活する上で妨げとなる障害(バリア)が、街、施設、道路、住宅、人々の意識、社会等から取り除かれた状態。

施策コード	727	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
歩道巻き込み部の段差解消 再掲 426		道路改修箇所 にあわせて改修	同左	同左
視覚障害者用誘導ブロック改修 再掲 426				
事業費		25,500千円	25,500千円	25,500千円
バス停の整備(ベンチ・上屋等) 再掲 426		3か所	6か所	同左
事業費		8,600千円	17,200千円	17,200千円
音声誘導装置の設置 再掲 426		8基	同左	同左
事業費		8,400千円	8,400千円	8,400千円
公共施設のバリアフリー化 再掲 426		エレベーター設置 2施設	エレベーター設置 1施設	同左
事業費		90,000千円	45,000千円	45,000千円
バリアフリーマップの改訂・周知 【新】再掲 426		バリアフリーマップ 改訂版作成・周知・配布	周知・配布	同左
事業費		3,885千円	0千円	0千円

728 自動車交通の円滑化

区民との協働による違法駐車防止キャンペーン、パトロール等を実施し、平成22年度には瞬間違法駐車台数2,000台以下の実現に努めます。併せて、「時間貸し駐車場マップ」の作成及び普及に努めるとともに、(財)東京都道路整備保全公社との連携を図りながら、駐車場の空き状況等、適切な情報提供に努めます。

施策コード	728	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
違法駐車防止活動		違法駐車防止キャンペーン、 パトロール等の実施	同左	同左
事業費		11,155千円	11,155千円	11,155千円
時間貸し駐車場の 利用促進		時間貸し駐車場マップ の作製・配布	同左	同左
		満空情報端末機の普及	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

(4)情報通信ネットワーク化の推進

729 情報通信基盤の整備促進

情報通信基盤を活用することにより、快適な情報提供環境を促進します。

730 電子区役所への取り組み

申請・届出等の各種手続きの電子化の取り組みを計画的に促進するとともに、施設予約システム、「SHOP 江戸川伝統工芸+」等の適正な運営を図る等、利便性の向上に努めます。

施策コード	730	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
電子申請サービスの拡大		対象の拡大	同左	同左
事業費		5,000千円	5,000千円	5,000千円
江戸川区施設予約システム「えどねっと」の管理運営		検討及び管理・運営	同左	同左
事業費		47,325千円	43,861千円	43,861千円
SHOP 江戸川伝統工芸+の運営 再掲 601		篠崎文化プラザとの連携による販売促進	江戸川区特産品の販売促進	同左
事業費		5,040千円	5,040千円	5,040千円
図書館システムの置換【新】		システムの選定	移行作業・運用開始	新システムの運用
事業費		0千円	※※※千円	※※※千円

731 地域情報ネットワークの構築の検討

地域内の情報交流と地域からの情報発信を高めるために、関係機関と連携し、地域情報ネットワークの構築を検討していきます。また、地域活動ホームページの活用を図り、町会・自治会の活動の透明性の向上及び加入の促進に努めます。

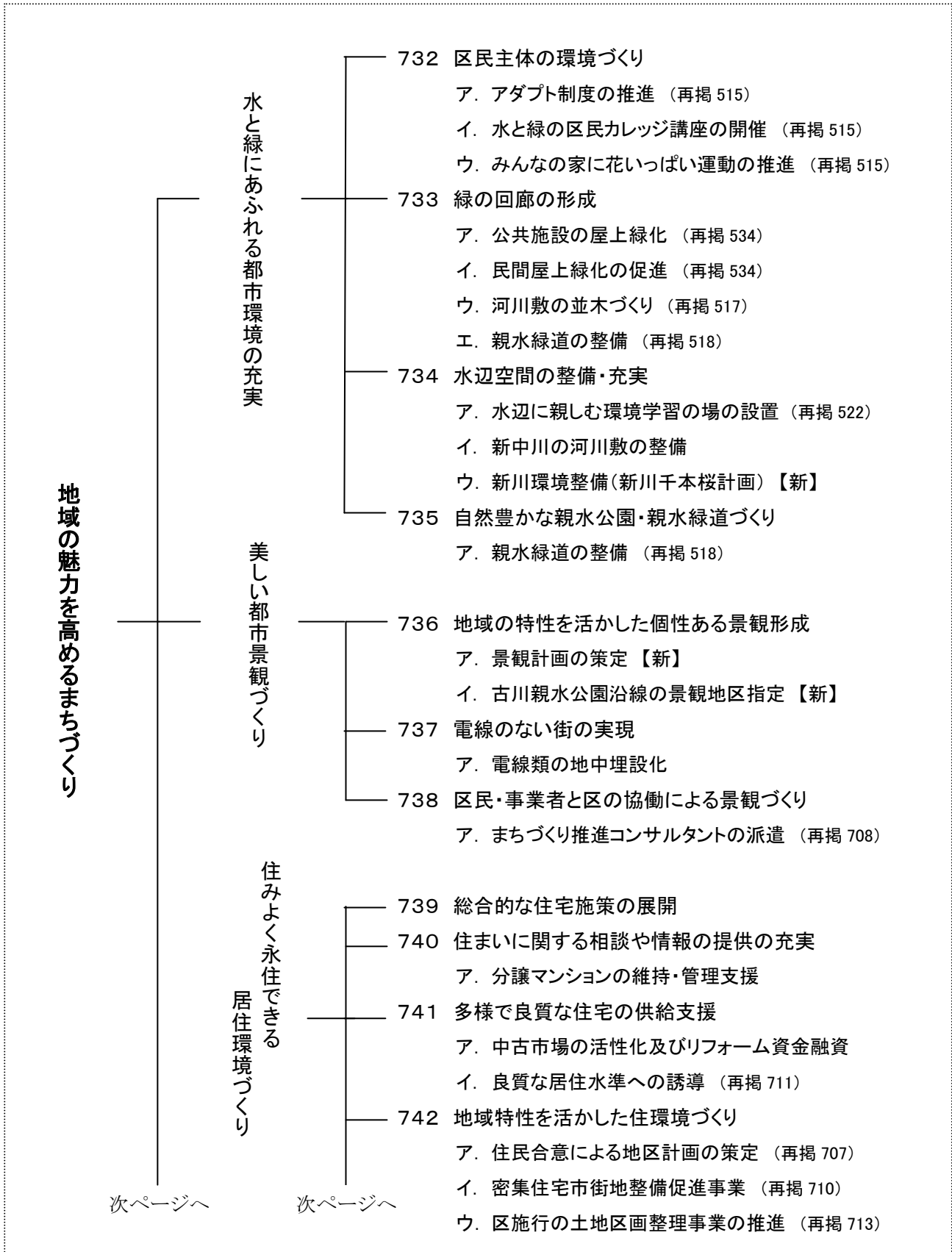
施策コード	731	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
地域活動ホームページの運営		随時更新	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

3 地域の魅力を高めるまちづくり

【施策の考え方】

水辺、緑等のさまざまな都市の資源と魅力を育て、まちづくりに活かします。また、事故、犯罪等を防止した、安心して暮らせる魅力の高いまちづくりを進めます。

【施策体系図】



前ページより

前ページより

住みよく
永住できる
居住環境づくり

- 743 安全で健康に配慮した住宅づくりの推進
 - ア. 住まいのバリアフリーの普及促進
 - イ. 耐震改修の支援【新】
- 744 高齢者などの居住支援策の充実
 - ア. 三世代同居住宅資金貸付（再掲 408）
 - イ. 民間賃貸住宅家賃助成（再掲 408）
 - ウ. 住まいの改造助成（再掲 408）
 - エ. 民間賃貸住宅居住支援事業（再掲 408）
- 745 公営住宅への対応
 - ア. 公営住宅の有効活用

歩いて
楽しめる
個性あるまち

- 746 歩いて楽しめる水と緑の道づくり
- 747 魅力あるにぎわいの場づくり
 - ア. JR 小岩駅周辺地区の整備（再掲 703）
 - イ. 京成小岩駅周辺地区の整備（再掲 703）
 - ウ. 篠崎駅西部地区（連鎖型土地区画整理事業）（再掲 703）
- 748 親しまれ、受けつがれる地域の風物詩づくり

安心して
生活できる
まちづくり

- 749 交通安全の推進
 - ア. 交通安全の意識啓発の推進
 - イ. 交通事故相談
- 750 地域ぐるみの防犯対策
 - ア. 防犯活動の推進
 - イ. 自転車盗ゼロ作戦の推進
 - ウ. 安心して歩ける道づくり
- 751 通行支障箇所の改善

(1)水と緑にあふれる都市環境の充実

732 区民主体の環境づくり

区民相互の交流の促進、相談支援、情報の収集・提供などに努めるとともに、えどがわエコセンター※との連携を図りながら、講習会、自然観察会等の開催等を行い、環境づくりのための様々な区民の活動を支援します。

また、みんなの家に花いっぱい運動を推進し、四季折々の花と緑があふれるまちづくりを進めます。

※ えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

施策コード		732	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
アダプト※ 制度の推進	公園ボランティアの育成・支援 再掲 515	公園ボランティア連絡会の支援等	同左	同左	
	事業費	6,003千円	6,003千円	6,003千円	
	まちかどボランティアの育成・支援 再掲 515	活動の支援相談	同左	同左	
	事業費	101千円	101千円	101千円	
	緑のボランティアの育成・支援 再掲 515	アダプトサインの設置	同左	同左	
		活動の支援相談	同左	同左	
	事業費	3,111千円	3,111千円	3,111千円	
	水辺のボランティアの育成・支援 再掲 515	水辺の活動交流会等の支援	同左	同左	
事業費	2,660千円	2,660千円	2,660千円		
水と緑の区民カレッジ講座の開催 再掲 515		23講座	24講座	25講座	
事業費		8,617千円	8,820千円	9,020千円	
みんなの家に花いっぱい運動の推進	花鉢アレンジ講習会の開催 再掲 515	14会場	15会場	同左	
	事業費	614千円	657千円	657千円	
	庭木の手入れ講習会の開催 再掲 515	講習会 9会場	同左	同左	
		花と緑の相談所 12会場	同左	同左	
	事業費	188千円	188千円	188千円	
	ウェルカムガーティナーの育成 再掲 515	5会場	同左	同左	
事業費	765千円	765千円	765千円		

※ アダプト制度:道路、河川、公園等の公共スペースで実施する清掃等のボランティア活動。

733 緑の回廊[※]の形成

区内七つの河川の堤防天端及び河川敷への桜を主とした植栽を計画的に実施します。併せて、親水河川空間をネットワーク化し、地域の憩いの場となる利用を推進するとともに、生態系に配慮した、より自然に近い親水緑道の整備を図ります。

また、住宅等整備事業における基準等に関する条例[※]に基づいた屋上緑化を推進することにより、ヒートアイランド現象の抑制を図ります。

※ 緑の回廊：公園、河川、学校などの緑の核をなす施設を親水緑道、緑道等、緑豊かな道路で結んだ回遊性のあるネットワーク。

※ 住宅等整備事業における基準等に関する条例：中高層共同住宅、一定規模以上の土地利用の基準等を定めたもの。

施策コード	733	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
公共施設の屋上緑化 再掲 534	3 施設	4 施設	3 施設	
事業費	21, 000千円	28, 000千円	21, 000千円	
民間屋上緑化の促進 再掲 534	促進件数 100件	同左	同左	
	見本園の活用及び広報	同左	同左	
		パンフレット等の作成		
事業費	100千円	300千円	100千円	
河川敷の並木づくり 再掲 517	新川・旧中川他 桜等 120本	同左	同左	
事業費	22, 000千円	22, 000千円	22, 000千円	
親水緑道の整備 再掲 518	本郷用水(工事)			
事業費	177, 240千円			

734 水辺空間の整備・充実

新川については、新川千本桜計画の推進に併せた「塩の道」に相応しい江戸文化を醸し出す修景整備を、地域との協働を図りながら推進します。

また、新中川については、東京都の暫定整備の実施状況を踏まえながら、利用の促進を図ります。

施策コード		734	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
水辺に親しむ環境学習の場の設置 再掲 522		環境学習の場として活用 3か所	同左	同左	
事業費		0千円	0千円	0千円	
新中川の河川敷の整備		河川敷緑地の管理	同左	同左	
事業費		2,350千円	2,350千円	2,350千円	
新川環境整備(新川千本桜計画) 【新】	耐震護岸整備(新川橋～新川口橋)	100m	450m	550m	
	人道橋	3橋	3橋	2橋	
	広場橋		2橋	1橋	
	船堀グリーンロード(新川～船堀駅)	地中化設計委託	地中化工事	道路整備	
	緑道整備(西水門～宇喜田橋)	整備	整備	整備	
	地域交流センター		用地買収	建設(23年度完成)	
	江戸風修景整備	整備	整備	整備(24年度完成)	
事業費		469,000千円	2,517,000千円	2,567,000千円	

735 自然豊かな親水公園・親水緑道づくり

親水河川空間をネットワーク化し、地域の憩いの場となる利用の促進を図るとともに、生態系に配慮した、より自然に近い親水緑道の整備を推進します。

施策コード		735	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
親水緑道の整備 再掲 518		本郷用水(工事)			
事業費		177,240千円			

(2)美しい都市景観づくり

736 地域の特性を活かした個性ある景観形成

潤いと風格ある生活環境の創造を目指した新たな景観形成の創出を推進するため、景観計画を策定します。併せて、古川親水公園沿線の水と緑が溢れる魅力ある景観づくりの推進を図るため、沿線の周辺住民との合意を得ながら、「景観地区」(都市計画決定)指定を行います。

施策コード	736	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
景観計画の策定 【新】	景観計画策定委員会の設置 景観計画案の作成	区民説明会 都市計画審議会諮問	景観計画策定 条例の制定	
事業費	9,386千円	6,000千円	0千円	
古川親水公園沿線 の景観地区指定【新】	住民説明会 都市計画決定	個別建替え等に併せた 景観誘導(認定)	同左	
事業費	300千円	0千円	0千円	

737 電線のない街の実現

都市計画道路、土地区画整理事業等の推進に併せて、電線類の地下埋設化等を関係機関に要請し、快適な都市景観の形成を図ります。

施策コード	737	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
電線類の地中埋設化	270m	450m	530m	
事業費	139,700千円	157,500千円	185,500千円	

738 区民・事業者と区の協働による景観づくり

区民の自主的な景観づくり活動を支援するために、情報提供、専門家の派遣等を行います。

施策コード	738	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
まちづくり推進コンサルタント の派遣 再掲708	2地区	同左	同左	
事業費	300千円	300千円	300千円	

(3)住みよく永住できる居住環境づくり

739 総合的な住宅施策の展開

社会状況の変化、住まいに関する法整備等を踏まえながら、適宜、「住まいの基本計画」の見直しを図り、生涯生活都市の実現に努めます。

740 住まいに関する相談や情報の提供の充実

居住者自らが実施する分譲マンションの維持・管理に関する取り組みの充実を図るため、「マンション通信」の発行を支援します。併せて、学習会等への専門家派遣、マンション問題に関する研究活動等の支援を行い、管理組合のネットワークづくり等を推進します。

施策コード		740	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
分譲 マンション 維持・管理 支援	マンション通信発行の支援	年4回	同左	同左	
	マンション交流の支援 専門講師の派遣	年4回	同左	同左	
	マンション問題 に関する懇談、 研究活動等の支援	研究活動等の支援	同左	同左	
事業費		876千円	876千円	876千円	

741 多様で良質な住宅の供給支援

既存の住宅資源を有効に活用し、老朽化した住宅の改修・建替えを促進するため、改修に係る資金の融資あっせんを行い、住宅の質及び防災性の向上並びに住宅産業の振興を図ります。併せて、70㎡以上の土地の購入に係る資金の貸し付けを行い、敷地規模の拡大を促進し、居住環境の向上及び良好な市街地の形成を図ります。

また、開発事業者に対しては、江戸川区住宅等整備事業における基準※等に関する条例に基づき、より良好な共同住宅及び戸建て住宅を供給するよう適確な指導を実施します。

※住宅等整備事業における基準等に関する条例：中高層共同住宅、一定規模以上の土地利用の基準等を定めたもの。

施策コード		741	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
中古市場の活性化及び リフォーム資金融資	住宅リフォーム資金の融資	20件	同左	同左	
	利子補給件数	120件	利子補給件数 135件	利子補給件数 140件	
良質な居住水準への誘導 再掲 711	街づくり宅地資金貸付	5件	同左	同左	
事業費		41,751千円	42,400千円	42,900千円	

742 地域特性を活かした住環境づくり

コミュニティの機能を活かしながら、住民合意に基づいた地区計画制度を活用するとともに、密集住宅市街地整備促進事業の導入、土地区画整理事業の推進を図り、魅力ある良好な住環境を形成します。

また、住まいづくりワークショップを活用し、隣接住民と協調した住まいのルールづくりを推進します。

施策コード	742	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
住民合意による 地区計画の策定 再掲 707		7地区	同左	同左
事業費		5, 205千円	5, 300千円	5, 300千円
密集住宅市街地整備促進事業 再掲 710		9地区	同左	同左
事業費		667, 354千円	700, 000千円	840, 000千円
区施行の土地区画整理事業 の推進 再掲 713		3地区	3地区	2地区
事業費		660, 600千円	1, 100, 000千円	1, 020, 000千円

743 安全で健康に配慮した住宅づくりの推進

建物の新築、増改築に当たっては、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、東京都高齢者、身体障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例及び江戸川区住宅等整備事業における基準等に関する条例*によるバリアフリー建築を誘導するとともに、「江戸川区住宅改修ガイド」の活用を図り、バリアフリー化の普及を促進します。

また、「江戸川区耐震改修促進計画」に基づいた、住宅の耐震対策を支援することにより、災害に強いまちづくりの形成を図ります。

※ 住宅等整備事業における基準等に関する条例：中高層共同住宅、一定規模以上の土地利用等の基準を定めたもの。

施策コード	743	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
住まいのバリアフリー の普及促進		普及促進	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
耐震改修の支援 【新】		戸建住宅、分譲マンション等に対し耐震化支援事業の実施及び普及啓発		
事業費		241, 752千円	※※※千円	※※※千円

744 高齢者などの居住支援策の充実

熟年者が住み慣れた地域にいつまでも安心して住み続けられるよう、その状態に応じた多様な住まいの普及及び整備の促進に努めるとともに、三世帯同居住宅貸付※、民間賃貸住宅家賃助成※、民間賃貸住宅居住支援事業※等により、熟年者の住まいの確保・改善等を図ります。

※三世帯同居住宅資金貸付：熟年者と同居または同居しようとする人が、住宅を新築、購入又は増改築する場合、資金を融資することで、熟年者との同居促進とバリアフリー住宅の普及を図る。

※民間賃貸住宅居住支援事業：保証人がいないため賃貸住宅に入居できない熟年者に対して、民間会社の債務保証制度、緊急通報システム等を活用し、安定した賃貸住宅市場の整備を図る。

※民間賃貸住宅家賃助成：建物の取り壊し等で家主から転居を迫られた熟年者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、緊急処置として住み替え家賃の差額を助成する。

施策コード	744	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
三世帯同居住宅資金貸付 再掲 408		15件	同左	同左
事業費		91,107千円	91,100千円	91,100千円
民間賃貸住宅家賃助成 再掲 408		305件	同左	同左
事業費		120,658千円	120,658千円	120,658千円
住まいの改造助成 再掲 408		120件	同左	同左
事業費		43,786千円	43,786千円	43,786千円
民間賃貸住宅居住支援事業 再掲 408		15件	20件	同左
事業費		170千円	170千円	170千円

745 公営住宅への対応

区営住宅の施設管理及び計画修繕については、指定管理者制度を活用し、効果的かつ効率的な管理・運営に努めます。

また、大規模団地の建替えに当たっては、円滑な建替えの実施、効果的な敷地の活用、都営住宅の再編成と集約等に向けた調整、協議等を行います。

施策コード	745	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
公営住宅の有効活用	区営住宅の管理・修繕 3団地65戸		同左	同左
	大規模団地建替え調整		同左	同左
事業費		39,855千円	18,200円	24,000千円

(4) 歩いて楽しめる個性あるまち

746 歩いて楽しめる水と緑の道づくり

地域の水と緑の資源を活かし、沿道の魅力を高め、ゆったりと過ごせる道空間の創出に努めます。

747 魅力あるにぎわいの場づくり

主要鉄道駅の周辺については、商業、交通等の拠点となるべく、それにふさわしい土地利用を誘導し、にぎわいのある商業系機能、事務所等の業務機能等の充実を図ります。特に、JR 小岩駅周辺地区については、道路、駅広場等の基盤整備計画の早期決定及び地区別の事業を推進します。京成小岩駅周辺地区については、地域協議を促進し、早期に事業化を図るとともに、駅前広場等の基盤整備計画の策定を推進します。

また、篠崎駅周辺地区については、土地区画整理事業に併せた駅前の開発を促進します。

施策コード	747	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
JR小岩駅周辺地区の整備 再掲 703		事業計画の推進	基盤整備計画の決定	地区別の事業推進
事業費		39,397千円	※※※千円	※※※千円
京成小岩駅周辺地区の整備 再掲 703		地域との協議 基盤整備計画の検討	事業計画の推進	同 左
事業費		3,150千円	※※※千円	※※※千円
篠崎駅西部地区 (連鎖型土地区画整理事業) 再掲 703		篠崎駅前街区 区民施設・駐輪場竣工		
事業費		— 千円		

「—」: 事業費は、区施行の土地区画整理事業の推進(施策コード 713)のなかで計上しています。

748 親生まれ、受けつがれる地域の風物詩づくり

地域のイベント、地域のボランティア活動等を情報提供し、地域住民のふれあいの場づくりを図ります。

(5) 安心して生活できるまちづくり

749 交通安全の推進

交通安全運動等の啓発活動、学校等における交通安全教育等を実施し、自転車マナー、ルール等の啓発活動を強化することにより、平成22年度末に交通事故件数2,000件以下の実現に努めます。

また、関係機関等と連携しながら、交通事故当事者が円滑に解決できるよう相談等の支援を行います。

施策コード	749	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
交通安全の意識啓発の推進	交通安全意識の啓発	同左	同左	
	交通安全教室の開催	同左	同左	
事業費	31,597千円	31,597千円	31,597千円	
交通事故相談	交通事故相談	同左	同左	
事業費	4,023千円	4,023千円	4,023千円	

750 地域ぐるみの防犯対策

「安全・安心まちづくり運動大綱」に基づき、区民が日々安全で安心して暮らせるまちづくり実現のため、区民、区及び警察等関係機関が一体となって、犯罪防止を図っていきます。

具体的には、①総合的な犯罪抑止対策として、町会・自治会員、民間企業、委託警備会社、公用車・自転車を用いた区職員等によるパトロール及び安心して歩ける道づくりを推進します。②身近な犯罪抑止対策として、自転車盗ゼロ作戦の実施、イベント会場におけるPR活動、防犯メールニュース及びMCA無線を活用した不審者情報の配信、広報紙及びホームページの活用等により、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

施策コード	750	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
防犯活動の推進	11,000件 (犯罪件数)	10,750件 (犯罪件数)	10,500件 (犯罪件数)	
自転車盗ゼロ作戦の推進	3,400件 (自転車盗件数)	3,300件 (自転車盗件数)	3,200件 (自転車盗件数)	
事業費	47,299千円	47,299千円	47,299千円	
安心して歩ける道づくり	PRによる合意地域の拡大	同左	同左	
	街路灯、街路樹の見直し	同左	同左	
	歩道照明の設置	同左	同左	
事業費	3,000千円	3,000千円	3,000千円	

751 通行支障箇所の改善

安心して安全に利用できる歩行空間の形成を図り、段差、電柱等の交通支障箇所の改善を推進します。

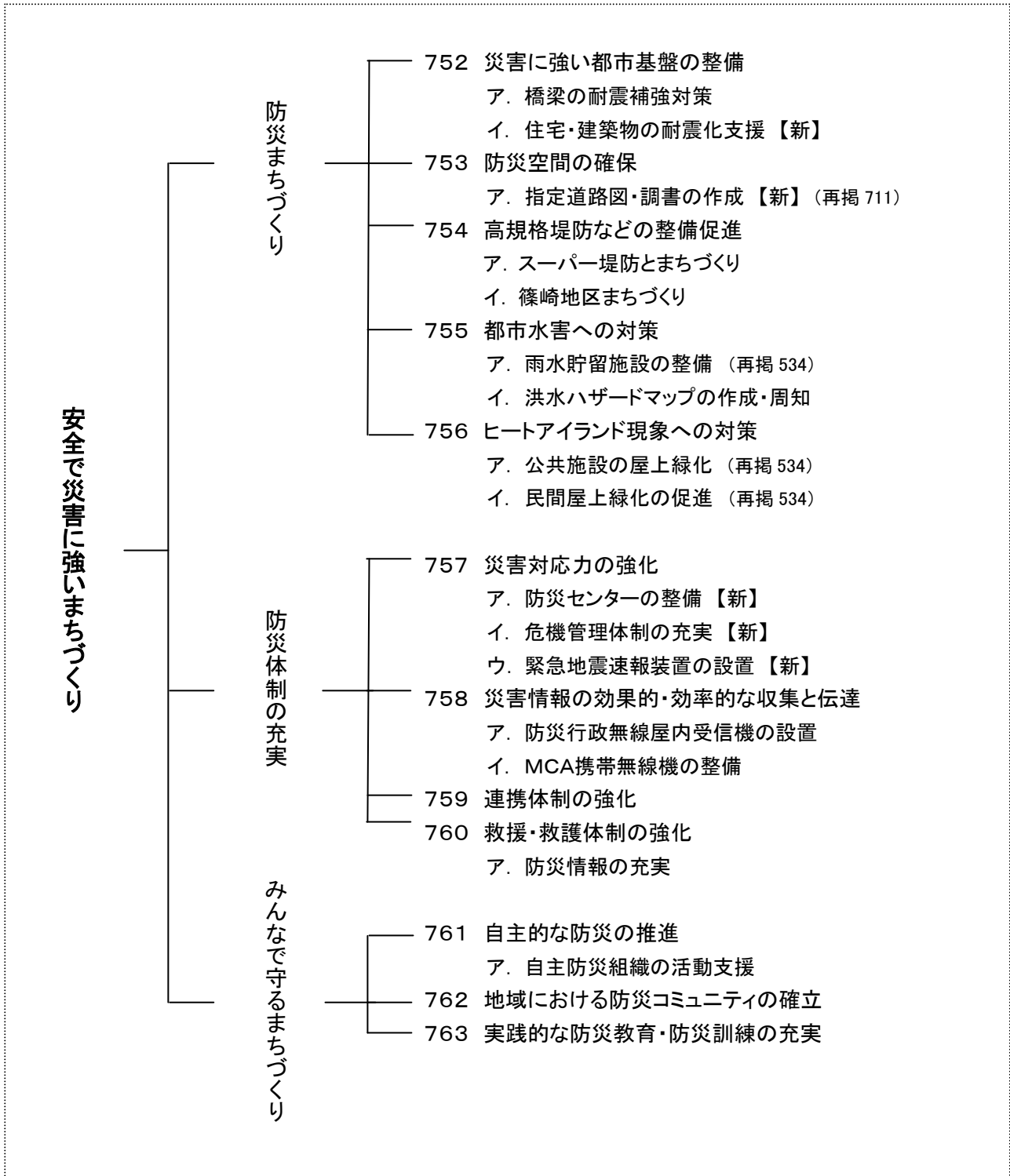
4 安全で災害に強いまちづくり

【施策の考え方】

「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を高め、区民と区の役割を明確にし、区民、関係機関等と一体となった災害に強いまちをつくります。

また、安心して住み続けられるよう、木造密集市街地の整備等の都市基盤の整備を進め、都市化の進展による都市型水害、ヒートアイランド現象の対応等を推進します。

【施策体系図】



(1)防災まちづくり

752 災害に強い都市基盤の整備

土地区画整理事業の実施、都市計画道路及び木造住宅密集市街地の整備等の都市基盤の整備を着実に推進します。

また、大規模地震の被害を最小限に抑え、緊急交通網及び避難路の確保を図るため、橋梁の耐震補強工事を実施するとともに、緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進します。併せて、住宅及び私立幼稚園・保育園の耐震診断、耐震改修設計及び耐震改修工事に係る費用の一部の助成等を実施し、耐震化を促進します。

施策コード	752	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
橋梁の耐震補強対策	落橋防止・橋脚補強等 5橋	落橋防止・橋脚補強等 4橋	落橋防止・橋脚補強等 4橋	
事業費	1,078,670千円	1,367,000千円	701,000千円	
住宅・建築物の耐震化支援 【新】	戸建住宅耐震化支援	同左	同左	
	分譲マンション耐震化 支援	同左	同左	
	緊急輸送道路沿道 建築物耐震化支援	同左	同左	
	私立幼稚園・保育園 耐震化支援	同左	同左	
事業費	269,222千円	※※※千円	※※※千円	

753 防災空間の確保

区民及び事業者の理解と協力を得ながら、助成金制度の活用を図りつつ、細街路の拡幅整備を推進します。また、指定道路図・調書を作成し、閲覧に供するこにより、建築行為全般を円滑に推進するよう図ります。

施策コード	753	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
指定道路図・調書の作成 【新】再掲 711	指定道路調書作成	建築情報管理システム への取込等	閲覧開始	
事業費	44,195千円	※※※千円	※※※千円	

754 高規格堤防(スーパー堤防)などの整備促進

北小岩地区及び篠崎公園地区の高規格堤防の整備を促進するためのまちづくり事業を推進します。

施策コード		754	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
スーパー堤防とまちづくり	(北小岩一丁目東部地区)	区画整理事業 (都市計画決定)	区画整理事業(認可) 用地買収 建物調査	用地買収 移転交渉	
	(北小岩地区)	合意形成	合意形成	同左	
	(篠崎公園地区)	区画整理事業(認可) 緑地事業(認可) 用地買収	用地買収 建物調査 移転交渉	同左	
事業費		1,133,000千円	3,099,000千円	2,867,000千円	
篠崎地区まちづくり		基本構想作成	基本構想作成	基本計画検討	
事業費		15,750千円	12,600千円	29,400千円	

755 都市水害への対策

既設歩道部の透水機能の改善を図るため、透水性舗装[※]の整備を推進し、その洗浄を強化します。併せて、雨水の有効利用を図るため、雨水貯留施設の整備を推進します。また、住宅等整備事業における基準等に関する条例[※]等に基づく、民間開発における透水性舗装、緑地の確保及び雨水貯留施設の設置を誘導します。

洪水ハザードマップを全戸に配布し、洪水等に対する防災意識の向上及び避難活動等における活用を図ります。

※透水性舗装：雨水の地中への浸透により、雨水流出抑制、雨天時の歩行性の向上等に効果がある舗装。

※住宅等整備事業における基準等に関する条例：中高層共同住宅、一定規模以上の土地利用の基準等を定めたもの。

施策コード		755	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
雨水貯留施設の整備 再掲 534		1基(300m ³)	同左	同左	
事業費		28,350千円	28,350千円	28,350千円	
洪水ハザードマップ の作成・周知		作成 35万部・周知	周知	同左	
事業費		33,440千円	0千円	0千円	

756 ヒートアイランド現象※への対策

公共施設の屋上緑化を推進するとともに、住宅等整備事業における基準等に関する条例に基づいた民間敷地内の緑化、屋上緑化、駐車場設置部分等に透水性舗装、保水性舗装※を誘導するとともに省エネルギー機器設置住宅に対する容積率の緩和をすることにより省エネ住宅の建設を促進し、ヒートアイランド現象の抑制を図ります。また、雨水貯留槽の設置を誘導することにより、水資源の活用を促進します。

※ ヒートアイランド現象：都市中心部の都市活動の結果として生じる気温上昇現象。

※ 保水性舗装：道路の舗装断面に保水機能をもたせた舗装。雨天時に吸収した水分を晴天時に蒸発させ、気化熱を奪うことにより路面の温度が下がる効果が期待できる。

施策コード	756	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
公共施設の屋上緑化 再掲 534		3 施設	4 施設	3 施設
事業費		21, 000千円	28, 000千円	21, 000千円
民間屋上緑化の促進 再掲 534	促進件数 100件		同左	同左
	見本園の活用及び広報		同左	同左
			パンフレット等の作成	
事業費		100千円	300千円	100千円

(2)防災体制の充実

757 災害対応力の強化

災害時に迅速かつ的確な災害対応を行い、被害の低減を目的に、地域防災計画の着実な推進を図ります。

このため、防災センターを整備するとともに、庁内危機管理体制の整備及び職員の危機対応能力の向上を図ります。併せて、区民との協力体制の推進及び関係機関との連携強化に努めます。

また、地震発生時に適切な避難行動をとれるよう、緊急地震速報装置を区施設に設置し、区民の安全・安心の向上に努めます。さらに、被災時の円滑な都市復興に対応するため、都市復興マニュアルの活用、被災建築物応急危険度判定員及び判定コーディネイターの増員等を図り、都市復興体制を整備します。

施策コード	757	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
防災センターの整備 【新】	地図情報システムの導入	地図情報システム 操作訓練	同左	
	防災センターを活用した 職員訓練の実施	防災センターを活用した 職員訓練の充実	同左	
事業費	42,000千円	10,000千円	10,000千円	
危機管理体制の充実 (国民保護計画に基づく取組) 【新】	危機管理課題の検討	危機管理課題 の検討・実践	同左	
	危機管理意識の徹底	同左	同左	
事業費	858千円	※※※千円	※※※千円	
緊急地震速報装置の設置 【新】	緊急地震速報受信機 の設置	緊急地震速報受信訓練 の実施	同左	
事業費	120,977千円	10,534千円	10,534千円	

758 災害情報の効果的・効率的な収集と伝達

正確な情報を迅速に提供するため、区施設内の防災行政無線屋内受信機の設置を推進します。

また、移動系無線機を機能性・操作性の高いMCA無線に更新するとともに、その活用を図ります。

施策コード	758	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
防災行政無線屋内受信機 の設置	6基	同左	60基(買い替え)	
事業費	2,400千円	2,400千円	60,000千円	
MCA携帯無線機の整備	防水携帯無線機器 の更新	無線機の活用・習熟	同左	
事業費	1,500千円	300千円	300千円	

759 連携体制の強化

応急物資等の即時調達と多様な調達先を確保するため、協力協定を拡充します。

760 救援・救護体制の強化

正確な防災情報を周知するため、ホームページを充実し、適切な防災関連情報の提供に努めます。

施策コード	760	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
防災情報の充実		ホームページの充実	地域防災計画の改定	ホームページの充実
事業費		0千円	200千円	0千円

(3) みんなで守るまちづくり

761 自主的な防災の推進

地域の自主的な防災活動を支援するため、地域防災訓練の実施、地域相互支援ネットワークの形成等を推進するとともに、町会自治会等における防災マップづくりを通して、防災に関する自助・共助の意識啓発等を推進します。

施策コード	761	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
自主防災組織の活動支援		地域防災訓練の充実	同左	同左
事業費		1,300千円	1,300千円	1,300千円

762 地域における防災コミュニティの確立

災害時に、必要な情報を迅速かつ的確に把握し、適切な対応をとることができるよう、区、地域、ボランティア等が相互に連携し、支援できる体制づくりを推進します。

763 実践的な防災教育・防災訓練の充実

子ども、保護者等が災害発生時に適切な対応がとれるよう、あらゆる機会を通じ、より実践的な防災教育及び防災訓練の実施に努めます。

第3章 計画の実現のために

- 1 信頼と協働による推進
- 2 区民本位で効率的な区政運営

1 信頼と協働による推進

ボランティア、NPO等の活動の支援、情報技術を活用したコミュニケーション体制の整備等を通して、区民と区の多様で豊かな協働を築くための環境づくりを進めます。

2 区民本位で効率的な区政運営

(1) 電子区役所への取組み

現行の情報処理体制が抱える課題の解決を図り、区民サービスの向上及び事務処理の効率化を目的とする新たな情報処理体制の整備を促進します。併せて、江戸川区情報セキュリティポリシー※に基づいた適切な情報管理、職員の情報リテラシー※の向上等を図ります。

※ **情報セキュリティポリシー**：江戸川区情報安全管理対策要綱・同対策基準(平成14年4月1日 区長決定)江戸川区の情報セキュリティ対策について総合的、体系的に取りまとめたもの。

※ **情報リテラシー**：コンピュータやネットワークを活用して情報の検索、整理、発信等を行う能力のこと。

施策コード	802	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
情報処理体制の再整備	e-SHIP の構築・運用	同左	同左	同左
	業務システムの構築・運用	同左	同左	同左
事業費	3,045,000千円	2,720,000千円	2,192,000千円	
住民記録システムの再構築 【新】	業務管理体制の見直し 業者選定 システム設計・開発	システム開発 データ移行 業務研修 試験及び本稼動	本稼動	
事業費	220,000千円	220,000千円	90,000千円	
情報セキュリティ※対策	セキュリティ内部点検・ 外部診断の実施	同左	同左	同左
	セキュリティ改善計画に 基づくリスク対策の実施	同左	同左	同左
事業費	7,000千円	7,000千円	7,000千円	
職員の情報リテラシー向上	情報化研修等の実施	同左	同左	同左
事業費	23,000千円	23,000千円	23,000千円	

※ **情報セキュリティ**：情報システムとその取扱う情報についての機密の保持及び正確性、完全性の維持並びに業務等で必要な範囲でシステムの利用可能な状態(可用性)を維持することをいう。

(2) 区民への積極的な情報提供

区民への積極的な情報提供を推進し、より開かれた区政の実現を図ります。

高齢者、障害者等の、より多くの方が利用しやすいホームページの作成に努めます。また、映像広報については、デジタルハイビジョン化の動向を踏まえ、資機材の検討・整備を進めます。

施策コード	803	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
えどがわ区民ニュース 制作機器 HD※化【新】	機器予備調査	同左	機器更新 ハイビジョン番組制作	
事業費	0千円	0千円	78,000千円	
公式ホームページの拡充	ホームページ作成・運用 管理システム(CMS※) の導入	CMS※の運用	同左	
		コンテンツの拡充		
		よくある問合せと回答 (FAQ)システムの検討		
			e モニター制度※の検討	
			SNS※の検討	
事業費	— 千円	6,800千円	6,800千円	
意見公募手続の適切な運営	運営	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

※ HD: High Definition(テレビ等における高解像度(高精細・高画質)のことであり、BSデジタル及び地上デジタル放送におけるHD放送(ハイビジョン放送)がこれに相当)。

※ CMS(コンテンツ・マネジメント・システム): テキスト、画像等を統合的に管理するシステム。

※ e モニター制度: パソコン、携帯電話等のメールを活用した、区政に関するアンケート調査等を行うモニター制度。

※ SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス): 人と人とのつながりを促進・サポートするコミュニティ型サービス。

「—」: 事業費は、情報処理体制の再整備(施策コード 802)のなかで計上しています。

(3) 行政評価のしくみづくり

施策及び事業がどのように実施されているか等を区民にわかりやすく説明するとともに、施策の有効性、改善すべき課題、方向性等を明確にし、区民ニーズにあった施策を展開するため、行政評価制度を推進します。

施策コード	804	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
行政評価の適切な運営	実施	同左	同左	
事業費	225千円	225千円	225千円	

(4) 民間活力の導入

既に指定管理者制度を導入した24施設(平成20年3月31日現在)に加えて、民間の経営手法、柔軟な運営体制等を活かすことが可能な公の施設については、指定管理者制度の導入を図ります。

施策コード	805	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
指定管理者制度の導入	篠崎文化プラザ	さくらの家 水辺のスポーツガーデン	図書館	
事業費	0千円	※※※千円	※※※千円	

(5) 職員の能力開発と意識改革

施策及び事業を区民本位で、効率的に実施していくために、職員の能力開発及び意識改革に努めます。

(6) 財政基盤の強化

健全な財政運営を長期的・計画的に行うために、事務事業、執行体制のあり方等を探求するとともに、税収等の確保に努めます。

施策コード	807	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
債権確保の強化 【新】	公債権の徴収及び 滞納処分の強化	同左	同左	
	弁護士会との連携に よる私債権の整理徴収 及び強制執行の強化	同左	同左	
	インターネット公売	同左	同左	
	住民税のコンビニ 収納に向けた準備	住民税のコンビニ収納	同左	
		クレジットカード等 による収納の検討	同左	
事業費	175,495千円	※※※千円	※※※千円	

(7) 広域的な連携・協力の推進

災害時の対応、防犯対策、広域交通網の整備、自動車環境汚染対策等区だけでは対応、解決等が困難な課題について、国及び都に必要な働きかけを行うとともに、周辺自治体と連携・協力してその解決を図ります。